

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-151)、
廃棄物管理施設(126)、MOX燃料加工施設(2-103))」

2. 日時：令和6年2月16日(金) 10時30分～12時45分
13時30分～16時45分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他9名

九州電力株式会社

テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部 副本部長

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 部長 他1名

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年2月15日及び当日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方
- ・設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の設計項目の整理方針
- ・設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項のうち地盤モデルに係るもの)

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方については、当面の課題への対応に見通しが立てられず、次回以降の審査会合での説明方針を明確にしきれていなかったため、作業内容を整理して、これに応じて計画を立てる。また、類型して説明する際の代表設備選定の考え方を整理するとともに、再処理施設及び廃棄物管理施

設と MOX 燃料加工施設との説明内容の関係を整理する。

- ・設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の設計項目の整理については、第 36 条に係る基本設計方針間の関係性や設計項目の内容を設計基準対象施設での整理状況を踏まえて明確にして、設計基準対象施設の設計項目への紐付け等の整理を進める。
- ・地盤モデルの説明内容については、適切な手順を踏んで検討していることを、段階を追って説明できるように整理する。また、全般的に正確な表現で説明できているか精査する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

「設工認申請の対応状況について」

参考

- ・日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和6年2月15日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	それでは日本原燃ヒアリングを、
0:00:05	思います。本日は、令和4年12月26日に申請のあった、再処理施設及び関連施設、また、令和5年2月28日に申請のあったMOX直接の測定について、
0:00:21	昨日、2月14日、2月15日付、また本日、定数事業。
0:00:28	続いて、
0:00:31	です。規制庁側の出席者ですけども、会議室からオオノキシノハバサキアライ1で、後程コサク呉
0:00:43	調査官が、
0:00:45	ます。
0:00:46	みずから、ヨコヤマヤマグチコウ。
0:00:52	ちフジワラと。
0:00:53	まず、
0:00:54	それでは日本原燃、
0:00:56	これは、
0:00:57	出席者と、まず最初の説明方の資料ですね。
0:01:01	説明をお願いします。
0:01:05	日本原燃事務局の中浜です。
0:01:08	午前中ですね、日本原燃側の出席、
0:01:13	ヒアリング、及び、
0:01:15	ケットク、
0:01:17	ハセガワ君。
0:01:18	イシカワ。
0:01:20	ノモト。
0:01:21	イシグロタカヤ。
0:01:23	イシハラ。
0:01:25	あとウェブからの参加で、サポートメンバーといたしまして、セガワシミズ。
0:01:31	あと、MOX及び再処理の事務局参加させていただいております。
0:01:36	それでは今後の進め方の説明の方よろしくお願いたします。
0:01:43	はい、西原でございます。それでは2月15日付で提出をさせていただきました今後の進め方でございます。修正点を中性10時にご説明をさせていただきます。まず、2ポツの、
0:01:57	今後の審査会合での説明方針ということで、前回から、次回と言った2月5日を、
0:02:04	外して、それ以降の流れということで、

0:02:07	2 番のところ、
0:02:10	はい。2 番のところの修正ですけれどもちょっと前回先祖返りしたのは失礼いたしました。議会会合の
0:02:20	アイテム自体は前回ご提出ヤノから変わっておる、おらずに、as-isの設定設計結果と基本基盤ホテルの設定結果までお示するというこ とで、
0:02:31	変更してございますが、1 回の会合においてこれは基本基盤モデルによる入力地震の算定結果少なくとも一部について、ご提示したいと思っ てますけどこのときあわせて、
0:02:42	基本地盤モデルの、その設計の適用方法、考え方について頭出しを、 ここでやるという話を前回の進め方ヒライでやらせていただきましてそ このところを、
0:02:53	追加するというごさいます。以上、2 番のところの出席状況です。 はい。
0:03:01	はい。
0:03:03	はい。
0:03:04	あとは、その後の方で、リーカ以降ですね、最初に廃棄物管理の説明 グループ 1 の構造関係、
0:03:15	これは理事会とその後が違うのは、代表も含めた全体の話、プラス、代 表としての構造設計の示し方が、ボックスであったり、ガイドをとの関係 で、
0:03:29	こういうふうに示していきますということが、自治会、
0:03:33	中身の舞台の話がおそらく次の 5 ということで考えているということが前 提でございます。
0:03:42	はい。3 ポツ 3.1、2 ページ側でございます。はい。
0:03:52	V1、
0:03:53	行動についてですけれども、
0:03:56	下線部の修正ですが、
0:03:58	利便性の施工。
0:04:00	つきましては、先ほどお話ありました 2 月 15 日の提出して、今日の説 明なんですけど、一部、また月曜日、
0:04:11	代表選定の考え方、今回の資料設定に入れてございますが、御説明す べき、東北に戻すという考え方について説明すると。
0:04:22	共通の資料 3 につきましては、先週金曜日のヒアリングで、
0:04:28	不破であるというコメント、こちら次、我々 10 時と改めて反省をしたとい うところもありまして、
0:04:38	前回お出しした資料ですね。

0:04:41	結局設置許可の内容から逸脱していないようなものを出して、設工認手続き、
0:04:48	どういった仕様で物がいえるのか。
0:04:51	日本なもので、
0:04:52	説明しないと妥当性と。
0:04:55	できないというところは、ちょっと反省しているところでございまして、全体ではないんですけども、まだ一部ちょっと飛び出す形になるんですが、1度ちょっとまた見ていただく機会を設けたいという
0:05:06	考えてまして、月、提出 20 日の
0:05:12	内で、認識を合わせていくということをちょっとしたいというふうに考えております。
0:05:17	これ、こういった活動を通じて、説明グループ 1 に関わる構造設計では 3 月中旬、
0:05:25	#NAME?
0:05:34	はい。
0:05:36	説明グループ 2 のところですね最初に入ってますかね。
0:05:42	はい。はい。日本原燃の高井でございます。今回新規でございますね記載させていただきました御説明グループ 2 につきましても説明グループ医師同様にですね、
0:05:52	説明ということで記載させていただきました。設定をさせていただいた
0:06:01	まずはですね水、
0:06:03	特有という形になりますがこれまで論点となっている個別項目についてですね、昨年 12 月にヒアリングさせていただきましたが、どうしても設計の考え方が説明できていないと。
0:06:14	いう状況でございましてそこを整理してですね、3 月 7 日に資料を提出して、3 月 14 日日やという形で説明をさせていただければと考えております。
0:06:24	残りはですねグループ 1 と同様でございますが、1 点目としてはDBSAの要求事項の紐づけについても、説明グループ 1 を踏まえてですね、
0:06:35	提出をさせていただいて、併せて 3 月 14 日の日家で説明をできればなというふうに考えております。加えてこれも同様ですが代表の説明の間、設定の考え方、
0:06:48	踏まえてですね努力 2 の構造設計等については、3 月末目標で共通 12 を提出させていただいて、4 月よりヒアリングをさせていただく。
0:06:59	いう形で計画をしたいなというふうに考えております。
0:07:02	説明は以上でございます。

0:07:04	はい、西田でございます。最 2 ページの最後です。2-2 の解析評価等の話でございます。
0:07:13	木造説明グループ時の評価、評価パターン(1)(2)(3)とありまして評価パターン(1)(5)につきましては、
0:07:23	本日、ヒアリングさしていただきまして、その修正点を踏まえた資料を、昨日、お出しをさせていただいております。これ 21 日の日や、
0:07:33	いうことでももとの予定通りやらせていただければと思っております。
0:07:37	評価パターン(3)、耐震、共同、耐震評価ですね関係でございますが、これも先日、ヒアリングさせていただきましてそれを踏まえた、
0:07:50	資料を 19 日に提出して 20 日の日やこと、また、これ審査会合にもリンクしますんで、審査会合日ヤノ地盤が今日、
0:08:00	藤、次の打ち返しで二重に批判を入れようと思っておりますそこには、共通上位のやつも含めて、セットにしようと思っておりますんで、20 日の部屋の状況を踏まえて修正したもの 21 提出 21 年、
0:08:16	大変すいません窮屈ですけど、やらせていただこうと思っております。
0:08:22	それらを踏まえた評価パターン(3)、今の時点、今回の
0:08:27	次回の審査会合に向けた共通要因として示す範囲の、共通理解の反映を 2 月 28 ページ 3 月 7 日日や、12 日提出、15 日議案ということで、
0:08:39	少ないですが、2 回分はヒアリング何とか入れてやっていこうということで今考えております。はい。
0:08:47	2 ページの一番最後のところ、カセイデは前回、ヒアリングさせていただいた、まずは入口のところのコンセプトから順番にちゃんと説明しようということでやっていきたいということで、
0:08:58	加点をさせていただいているということでございます。はい。
0:09:05	丹治さん。
0:09:06	あります。
0:09:07	項目としての、
0:09:11	ステップ、これは変わってございます。
0:09:14	前回の進め方部屋で、どう、どこまでのデータはいつ、
0:09:21	ちょっと明示できておりませんでしたので、今回ですね、次回会合資料のスケジュールのところで、そのデータが、何が出るかということ、
0:09:34	というところでございます。本日の午前中に提出させていただいてもいつ午後に、ヒアリングいただく部分は、これAA級へ敷設周辺気液の類似してるというのでまとめた周辺グループ区域、
0:09:51	1 グループですけれども、このグループについてのマンションを下の方に通知を提出してヒアリングいただくことを考え、

0:09:59	残りのブロックをすべての、は数でございますけども、これ、江藤 21 日資料提出と 20 日部屋ということで、前回提起したものからですね、すいません行きつつ日程が、
0:10:14	ずれてしまっておりますけれども、これちょっと 19 日に
0:10:20	はい。解析結果は、ホソノってくるというスケジュールで、このスケジュールに少し直させていただいているというところでございます。
0:10:31	そのヒアリングを受けまして 26 日資料提出、27 日日アベまた、
0:10:38	いただいたコメント等も踏まえ、出席のものを確認いただくということを考えてございます。
0:10:44	で、タテの 08 の方ですけれども、前回もちょっと申し上げてございましたけれども、こちらですね。
0:10:51	介護資料の方にも、すべてデータはお入れする形でご確認いただくというふうに思っております、08 はですね新たに合格に立つべきような、
0:11:02	新しい情報はちょっと今回入らないという形でちょっと提出という形になると思います。こちらは予定通りに西来の提出を考えてございます。以上でございます。
0:11:15	はい。乳井西田でございます。別添 1、別添 2 はちょっと短期話で、別添 1 ですね。
0:11:24	で、4 ページ目は、すいません、5 ページ目が、今、最初に廃棄物管理の共通要因の説明グループ 1 を進めるにあたって、いろんなタスクが並行して走ってますので、その関係性と、あとは今後どういうふうに進めていくかと。
0:11:40	ということで、関係性をわか分かるように、スケジュール感も含めて進めていくと。
0:11:45	ということでございます。
0:11:47	本丸は当然ながら共通順位の差説明グループ 1 作成ということで一番真ん中にあるもの、そのインプットになるものとして現在やらせていただいているDBSAの整理、
0:11:57	あと代表設定の考え方、これがどうしても結局代表の話を共通ジノ資料 3 の①番で説明しますのでその関係でリンケージがあると。
0:12:08	ということ。平行になりますけども、今日、月曜日も含めてやらせていただくことも含めて、
0:12:16	3 月の頭ぐらいまでには、その辺の整理も済まして共通順位の方にフィードバックさせていくということ。
0:12:24	を考えております。その代表が追加になる分、呉をどうするかっていうのはありますが、先ほど石黒が言った、

0:12:35	前回のヒアリングを踏まえて、共通要因としてどう示さなきゃいけないかという最初に廃棄物管理の方の修正というのをやります。
0:12:43	大枠のところを押さえて、2月のおエンドウから段階的に出すということも含めて考えていきたいと思っているところでございます。
0:12:53	実際のヒアリング進め方としてはまずは、構造設計、系統の代表設備に対して、基本設計方針とかの要求事項等の関係での妥当性を説明していくということを、
0:13:06	3回ぐらいの部屋でまずは論点をちゃんと抽出していこうということ。それを踏まえて、
0:13:13	資料二、三の継続、不具合と並行しながら、資料4側にも、フィードバックをかけながら、説明を並行してやっていくということもヒアリング体系としては、
0:13:25	目指していきたいということが、今書いてあるものでございます。これは、説明グループ1だけじゃなくて説明グループ2以降も同じような体系でやればというふうに考えているところでございます。
0:13:37	こういうやり方をするというを前提に、これまで作成の進め方と書いていたものを、資料の提出も含めて、どう再処理廃棄物管理に用いるページをとって、
0:13:50	説明を進めていくかというのを、
0:13:53	示したのが6ページでございます。
0:13:55	前からお話ししてる通りどうしてもMOXの第2回申請っていうのは、対象が限定されてるのが多いので、全体は最初に進みながら、
0:14:06	目的としての個別案件であったり、申請対象であったりということ、タイミングがずれる場合には、先行的にやらせていただくということ。
0:14:16	ただしの再処理はどんなのっていうところにちゃんと答えられるようにヒアリング体制を組みながらやらせていただくというのが前提で今、6ページのようなシーケンスを組まさせていただきます。
0:14:26	いうことでございます。
0:14:28	7ページは、前の方とのリンクージュを図った時特に大きく変更はしており、
0:14:35	はい。
0:14:36	別添1まで説明一番取り組み出していただき
0:14:41	はい。
0:14:45	1審からハンチ用紙
0:14:54	まず1ページ。
0:14:58	形。
0:15:02	理事会で追加されてた。

0:15:08	地盤モデルの設計、
0:15:11	利用方法、
0:15:14	は、3 ページ目で
0:15:18	⑤番。
0:15:20	はい。そう。
0:15:21	の件です。⑤番をさしており、
0:15:27	はい。
0:15:28	⑤番の一部、
0:15:34	二部でございます。
0:15:35	05 万の一部ということだと。
0:15:38	思っておりますので、⑤番では、基本地盤モデルによって出てきた入力地震動を、具体、どういうふうにですね適用していくかの、もう本当に、
0:15:49	設計に用いる地震力としてこうやっていきますというところの、入力条件が明確になる必要があると思っております。ただ、この 10 回会合で書いておりますのは、
0:16:02	これはですね、具体のですねその説明の入力条件が明確になるところまでは、お示しはまだできないと思っておりますというのも、これ、この時点で、
0:16:12	入力地震の算定結果も一部であるということを踏まえるとその大井、建屋の基礎下までの入力の地震を踏まえて、
0:16:22	ここから施設への入力をどういうふうに設定していこうという私たちのちょっとコンセプトをお示しするのがここでは関田名取君。
0:16:34	規制庁です。
0:16:39	一部の、
0:16:41	日本時間まで入力地震動ができていくわけだから、
0:16:45	これを、じゃあ、この部分に関しては、どう、当てはめていきますかみたいな話是可以するんじゃないですか。
0:16:53	源でございます。そうですね。そういう、
0:16:57	形もでき、
0:17:00	そういう話を前もヒアリングしてきたと思うんですね。
0:17:05	初耳みたいに言われちゃうんですね。
0:17:07	麻生。
0:17:09	下の方です。私、そうですね。具体の適用方法までという認識で私ちょっと認識していなくて、
0:17:22	基本は基本基盤までに基づく入力が決まるわけですけども、
0:17:29	これを実際に具体で言うと、従前の設計の何を生かして読み上げていただいたというところをやっていくのかなと。

0:17:40	理解できない、整理して説明してください。はい。
0:17:45	普通になって考え方をやっちゃって、あとはライニング部分的な結果があれば、じゃあ、
0:17:52	この部分についてはどうなるのって普通わかるはずで、うん。それが全部そろわないといけないとか、うん、段階的にまだそこまで行けないっていう中途半端な話なんであれば、
0:18:06	何だろう、
0:18:07	全体としてこういうプロセスがあるんだけど、うん。あの段階でここまでのステップしか、話ができませんかとか、1 回回答で話をさせてくださいみたいなところを言ってもらわないとうん。うん。理解できないので、
0:18:22	整理をしていただくんですけどいずれにしても、
0:18:25	もう、
0:18:26	年度内っていうタイミングだと、ある程度、入力地震動を
0:18:32	これが出てきているんで、これが設計としてはどう扱いますかみたいな話があるのが、あるんじゃないかなと私は思っていました。はい。
0:18:44	はい。日本原燃決得でございます。ご指摘の通り 3 月 22 日は波をですねだけなのか中央だけではちょっとそこはまだわかりませんが一部波を出しますので、
0:18:54	当然考え方を言えばその波に、その考え方についてコナミではこうなり、この建屋ではこうなりますといった話ができるんじゃないかというご指摘の通りだと思いますんで、当然それは我々事業者の考え方として、
0:19:06	まずはご説明するといったところまでは、
0:19:10	できるかできないかというのができる、できる範囲だと考えてます。ちょっと、どこまでできるかもう一度今の整理して、お話するようにしたいと思います。
0:19:18	以上です。
0:19:21	はい、規制庁河津 ほか 2 ポツの会合絡みに対して何かありますか。
0:19:27	はい規制庁浜崎です。モリモトですね、理事会の設計への適用というところでは、まさに設計になるわけなんで、
0:19:36	基本ケースだけじゃなくて、全 13%。
0:19:41	さらにばらつきの扱い、或いはシンケン扱い等もですね、
0:19:48	後段で入ってくるわけなんで、そこら辺を含むのかはコガないのか。
0:19:53	その点をもう少し明確にしてもらえればと思います。
0:19:56	はい。
0:20:04	はい。規制庁菅です。あと番場南出さん。
0:20:09	もう、
0:20:14	建物 08 が、

0:20:17	22日に回すってなってるんですけど、中身としては会合資料と一緒にす ってなっていて、これは本当に一緒なんだっいたらいいんですけど、
0:20:28	どういう資料なんですか。県の方でございます。本当に評価というとほ んと一緒に一緒です。
0:20:34	ですね。
0:20:36	何で無理やり出そうとしてるかというと、08をお出しするのが必要な だろうなという、我々の表示に申しますと、思いでここを出しているという 位置付けのものでございます。
0:20:50	アノ。
0:20:51	本郷。
0:20:52	に向けて、その会合資料を積むだけじゃなくてちゃんと附属もう、
0:20:57	欲しいですっていう、前から伝えていて、
0:21:02	それなぜかという、補足説明資料というものを受領していることが大事な わけではなくて、
0:21:09	介護事業では表現しきれしていない。はい。情報としてあるから、介護で ちゃんと話が聞けるっていう趣旨なので、今初めて気づきました。
0:21:21	承知しましたそういう趣旨であればある意味ちょっと無意味な資料にな ってしまうということでもありますので、介護資料の中で全部語らせてい ただくと。
0:21:32	いうことかなというふうに思ってます。本来ですね、08ですね、井清とい うか、そうじゃなくて、今日午後もう中、話をしますから、
0:21:43	介護資料としてはこれがいい。
0:21:45	出してくださいっていう話もあるし、それで終わればいいですけど、これ ぐらいは補足で出しといてよという話もあるはずなんでそういうところを ちゃんともう1本を、
0:21:56	22なのか、少し後ありませんけど、ちゃんと進んでもらう。
0:22:03	間違いのないような、
0:22:06	はい、現像でございます承知いたしました。
0:22:10	はい。規制庁管です。他、一番関係になると。
0:22:18	特になければ、規制庁。
0:22:23	普通12の、
0:22:25	ローン。
0:22:28	ですが、
0:22:32	2ページ目の、
0:22:36	スポーツ、
0:22:41	評価普段(3)の
0:22:43	2月19ページ、この辺、

0:22:47	日付は開放し、
0:22:49	それでも、
0:22:50	2として、
0:22:51	イメージの会合資料の話を 1920 日 2120 には書いてました。
0:23:00	はい、規制庁。
0:23:01	交通事故 1 で、
0:23:03	2 月 28 ですね。
0:23:07	それは 3 月 7 日。はい。
0:23:19	そうなんです。
0:23:20	介護資料 2、今まで共通中に積ん出していたじゃないですか。それって今回どうする。(1)確認。
0:23:27	はい。乳井仁科でございます(1)(2)は別添で積むつもりです。(3)がちょっと
0:23:35	1920 日 2122 の審査会合でどこまで説明するか切り口で結局、
0:23:44	資料 3 の世界でかつ資料 3 から資料にちょっと足をかけたぐらいまでになるんだとすると、
0:23:52	共通のどこを直して、つけるかを、
0:23:56	まだすいません私も決めかねているところです 19 にお出して 20 日にある内容で、どこまでができる範囲だというのが示せないとなかなか、ちょっと切り口も難しいなと思って、
0:24:11	後、
0:24:12	3、2 月 28 提出の共通 12 っていうのは
0:24:17	2 月、
0:24:19	末までの、
0:24:21	要は、
0:24:22	一通りじゃなくて、概念的なところは両共通中に、
0:24:28	はい。はい、乳井瀬谷でございます
0:24:32	まずただこれも 2 月 28 の時点で結局 2 月の会合ってのはあれなので、3 月の会合に向けてどこまで説明するかを考えて、多分 2 月 28 の資料提出をして 3 月 7 日の日ヤスタと思ってますんで、
0:24:46	そこまで踏み込んで、2 月 28 の時には、共通 12 を作り込まないといけないとは思う。
0:24:53	規制庁ですけども、
0:24:55	2 月までの話では設計はセトないところで、
0:25:04	ほとんど介護資料 D アノ C クノという週末で、それを、
0:25:10	さっきの耐震でも言いましたけど、ほぼ同じような、月次に出てきて習慣を棄却する意味がないんで、多分それはじゃないんですね。逆に、

0:25:21	来週も、
0:25:24	話をします。
0:25:27	試験関係で、
0:25:29	何かその不足なんかがあると、逆にそっちを先に出して欲しい。
0:25:35	感じがします。
0:25:37	はい。人間事象でございます
0:25:40	前回個別補足の話でお話をしてこっちで、新しく起こすっていったらもともうちの維持のやつや、何だったんだって話があって、そちらに試験の内容とか、試験の出とったデータがどんなものがあるって、それが、
0:25:55	設計で考えてる部位とどういう関係なのかとか、加速度がどういう意味なのかってところの補足ですね。はい。それを、
0:26:03	はい。準備するべく、スケジュールに戻して、整理をします。はい。
0:26:08	はい。
0:26:10	そっちの方です。はい。さらに言うと、3月、
0:26:16	12提出のものが、
0:26:18	なるべく早く欲しいってことで、それはさ、2月の説明があってあまり宿題が残らなかったっていう、ケース。はい。はい。
0:26:31	28に出して3月なヒアリングみたいところで、
0:26:37	確認して、それであれば、12の方をなるべく、
0:26:44	使ってもらう。
0:26:48	はい、弓削西原でございますちょっとそれぞれどういうことを指定するの かっていうのをちゃんとかけて、はい。
0:26:54	スケジュール感も整理をしますはい。
0:26:58	そうですね。
0:26:59	ページ目、違うサイズ。
0:27:01	ローンです。はい。
0:27:04	についてのあわせ自治会という、これはどういう話なんですか。はい、 仁科でございます。ちょっとこれも、
0:27:12	ぜひ、かなり欲張って書いてるので、整理をしないといけないと思って
0:27:17	もともと評価パターン(3)で、グローブボックスが有限要素モデルで、そ れ以外に出店K-NETで排風機があって、あと配管の話があってと。
0:27:30	いうところで、
0:27:32	甘いから、話をさせていただきながら、これ再処理でやっても多分変わ らなくて、MOXでやる代表って一体何なのか含めて、全体。
0:27:42	やらないといけないので、ここも含めて一度ちゃんと整理をします。は い。
0:27:50	うん。そう。

0:27:52	それはちょっとまた来週ですね。
0:27:57	なんかもう普通の話の聞いてるのに最初の時にまたよろしくという終わり方もよくない。
0:28:03	はい。さらにはかといって失点系と配管だけで1回やるかって言っても、そんな、
0:28:12	はい。という説明です。
0:28:15	はい。
0:28:18	乳井西原でございます。いたしました。
0:28:23	規制庁側からDノダC、
0:28:32	なければ、
0:28:34	郵便アンリユウセンナ。
0:28:37	はい。規制庁の荒井ですけど。
0:28:39	まずは2ページ目の、
0:28:43	最初のところですかね。
0:28:47	2-1のところ、先週末にやった資料3の、
0:28:54	記載方針みたいなのがあったと思うんですけど、
0:28:57	あれって、今後、
0:28:59	来週月曜提出か要否やっていうところで、
0:29:04	あんまり19日は午後までヒアリングは行って見る時間とってもあんまりないと思うんですけど、20日2やらないといけないって言って何かあるんですけど。
0:29:15	日本原電、首藤でございます。
0:29:18	20日に入れさせていただいているのは、
0:29:25	別添1-2の
0:29:27	5ページですね、昨日入ってカセ賜ってるんですけど、
0:29:31	具体的には書いてないんですけども、
0:29:35	3月みどり提出。
0:29:37	順次出し、
0:29:40	早めに、
0:29:43	こちらの考えと、
0:29:45	規制庁さんの認識が、より近づいてるっていったところを、
0:29:51	認識しながらですね。
0:29:53	展開していく方が、
0:29:56	無駄が少なくできる。
0:29:58	ということで、早めさせていただいたというのが実態で、20日にしなければならぬという、バスという、その数、当然我々の考えなりに作業ができますから、

0:30:11	バストというところまでは、いうものではないんですが、
0:30:15	極力入れてもいいと思います。うん。こちらは、日本原燃端的に二つしましょう。はい。
0:30:22	これはツカベナゴは出せないのか、そこでナイトウアンリュウあるのかという質問です。
0:30:29	例えば数日ずれるぐらいであれば、全然、
0:30:33	許容できるっていうところであれば、ちょっとまた、日付をずらすっていうところもありなのかなとは思いますが。
0:30:40	資料の分量にもよるとは思うんですけど、例えば
0:30:44	外部事象等、安全機能とか、あといろいろその他安全避難通路とか、
0:30:51	全グループ1の条文を詰め合わせて、この前提示されたと思うんですけど、
0:30:56	サンプル的に木場区のやつはこういうふうに展開しますっていうものぐらいであれば、そこまで見る時間はないのかなあと思ったんで、
0:31:04	ちょっとその辺の規模感ってどうなってるんですか。
0:31:07	この前の資料をベースに全部展開しようと。
0:31:10	いえ、
0:31:12	物量としては、前回とアビル、かなり少なくして、
0:31:16	おりまして、
0:31:19	2例程度と、なぜそ、我々としてどういう活動を、
0:31:24	もう、
0:31:25	そういった活動をするとういった
0:31:28	移っていれば、
0:31:30	物量として、
0:31:37	対して、
0:31:40	わかりました。
0:31:41	その際に、前回コメントしたもっていうのが、当然考慮されて反映されてないといけないと思っていてですね、例えば僕そのやつ見てガイドを踏まえてどう直したかっていうところと、
0:31:54	あと外部事象関係は、第1回の設工認で、補足まで、
0:32:00	網羅的に示しているっていうところもあるので、
0:32:03	補足で、どういうものを示すのか添付でどういうものを示すのかっていうところが、
0:32:08	おそらく経験であると思ってて、一つの設備の適合性を示すに足りる、設工認上ですね。
0:32:16	詳細設計として足りるようなものを入れ込んだ形で資料3、

0:32:21	それに必要な構造の情報としてちゃんと入ってるかっていうところまで、見ていただいてですね。
0:32:28	例えばも、少し手の空いてる人にざっと目を通してもらうとかですね、提出する際に、
0:32:36	そういったところをしないと、原燃の者としてのクオリティーが一定に保たないのかなと思っていますので、石原さんがどこまで
0:32:48	手を回せるかっていうところもよるんですが、
0:32:51	社内のレビューっていうのがしっかりしてないとあんまりこっちで見て、同じことを伝えても意味がないので、
0:32:58	はい、その点をちょっと留意いただいて、準備いただければ
0:33:02	その上で 20 日っていうのは、ずれてるのであれば、照らしてもいいのかなと思う。
0:33:08	A4 の資料でございます。作業のレビューをしてもらった上で、
0:33:15	うちの、
0:33:16	どうして難しさ。
0:33:18	はい。
0:33:21	あとはですね 5 ページ目でちょうど、
0:33:26	言いたかったのは、
0:33:29	次の 3 月ミドルというか中下旬の会合をねらってるのかと思うんですけど。
0:33:36	最初に言って、結局、共通中には積まない予定なんですけど、ここでは、
0:33:43	人間でしょ。
0:33:45	予定にして、
0:33:47	予定でやるとすると、3 月ミドル提出っていうのは、
0:33:51	ちょっと遅いんじゃないのかな。
0:33:54	て思ってるんですけど。
0:33:56	15 日提出で 22 日。
0:34:01	会合っていうふうに今これ書いたような形で、
0:34:05	いつもだと。
0:34:08	共通中に 2 回ぐらい確認してから、
0:34:13	あわせて介護資料の方もちゃんと整合とれてるか、内容も充足化されてるかっていうところも含めて、
0:34:20	確認しているので、ちょっと 3 月ミドル提出っていうのはちょっと遅いんじゃないのかな。
0:34:26	と思っていますがいかがですか。
0:34:30	はい。両下よろしゅうございます。
0:34:35	こうなんですけど、

0:34:38	冒頭の説明で、2月末から順次に関するものという話をちょっと、
0:34:48	極力早くしたい。
0:34:53	ここで表して聞いてない部分があるというのは前提で話をしますが、今20、審査会合3月のところに、説明したと書いて、代表選定の考え方を説明するとかですね。
0:35:07	説明グループ1で代表設備をどういうふうに説明していこうかという話の骨格は少なくとも、
0:35:14	2月16と教頭、月曜日もやりますけど、代表選定の考え方、何を大説明グループ1の代表にするかっていうのを、をやっている、この状態で、MOXが出す共通上院時に合わせて、
0:35:28	本文とか添付2反映した状態でお出しをして、並行してちょっとヒアリングをやるってことも考えながら、そこは少なくとも、22日に会議の中ではお示しをすると。
0:35:39	いうことを、そういう流れを考えながら少なくとも、今、石岡達夢ってのはどこまで積むかは、
0:35:47	段階を踏んで積んでいくということで、テーブル少なくとも、その前にヒアリングだったら代表の考え方、説明グループの内容なんですが、どういうことを説明するんですかってのが、本文を含めて入っていると。
0:35:59	いうことを、その前にヒアリングや、何回かやって、この20日に向けていくということで考えてます。要するに共通12の資料1から4として済むものはないかもしれないってことで、その可能性はゼロではないかもしれないです。例示としてつく可能性はあるかもしれないですけど、
0:36:16	フルパッケージってなると、それはずれてくる可能性もありますが、要するに本文の方針ところまでははい。
0:36:25	共通してMOXと共通して、モリファイできるので、それは詰めるっていうことでは、
0:36:31	そうすると、もう少し厳密に、
0:36:34	ボックスで、
0:36:36	審査会合で何を説明するのかっていうのは、どういう資料を積もうするのかっていうのは、明示的に見えた方がいいのかなとは思いますが。
0:36:47	柳沼でございますはいちょっとその辺の共通に、本文であつたりと、資料3みたいな骨格みたいなものと全体の、どういう出し方を主導ヒアリング組んでいくかというのと、会合等の関係と見える化します。はい。
0:37:00	します。
0:37:03	もう一つは、2ページ目で戻っていただいて、多分これタカヤさんの部分だと思うんですけど、

0:37:10	グループ2の構造設計等の説明のところで、これまでヒアリングで論点となってる個別項目について云々だ。
0:37:20	それが3月7日提出3月14日っていうところで、
0:37:24	前回やったのは、11月後半とか12月の初旬とかで、
0:37:30	多様な気がするんですけど、
0:37:33	なんでそんな時間てるんですかっていうのを説明していただけますか。 はい、高井でございます。前回ヒアリングは去年の12月の間に、ヒアリングをさせていただきました。
0:37:44	そこで課題となってMICE以前、これまでの課題も一緒なんですけど、どうしても末の方は結果ありきの御説明という形になっていてですね。
0:37:54	全体の設計とその考え方ということを示せてなかったと。
0:37:59	いうところがございます。そこをきちんと補足説明資料も含めてですね、この共通中に向けて設計を説明するところの整理を行っております。
0:38:10	その確認とやりとりというところを逐次やっておりますが、少し全体の浸透に時間がかかっているというのが現状でございます。以上。
0:38:19	はい。
0:38:20	それはSAも含めてなんですか。
0:38:22	SAの設計も含めてやってるという理解でいいんですかね。日本原燃高井でございます。はい、SAの方もあわせて溢水の方でやらしていただいております。はい。
0:38:31	結局どういうメンバーで今やられてるんですか。
0:38:36	今まで
0:38:38	前のヒアリングを踏まえて、少し現年度まではまってしまったっていう話もあったと思ってるんですけど、
0:38:45	そのあとに、どういう体制でやって、規制側にどういう説明をすればいいのかっていうところの検討は、
0:38:53	どうされたんですかねっていうのが気になってですね。
0:38:56	今までのやり方と変えた部分であるんですか。
0:38:59	はい。日本原燃高井でございます。これまではですね綿Cが全体の指導というところをしていてですねあそこで行き届いかなかったところがあります。そこから変更点として、
0:39:11	かなりメーカーさんとかですねこれまでの審査経験者であるメーカーと電力関係者っていうところにも応援に来てもらって3、確認をしています。
0:39:22	加えてですね私の方もですねきちんとその沼にはまってないかというところの確認はですね、膨隆STの中でですねハセガワ部長とか石川部長にですね、

0:39:32	確認を取ってもらってですね、きちんと設計とか、その考え方が船籍できてることっていうのを確認してもらってると、その部分は大きく変わってる
0:39:42	はい。
0:39:43	体制はおそらくイシカワさんとか入られたんで、新基準の、
0:39:48	経験もありますっていうところでいろいろ見ていただいていると思うんですけど。
0:39:53	やっぱり電力と考え方が違う部分が、
0:39:58	あってですね。
0:39:59	そういう部分を頑なに違い。
0:40:03	違っているっていう、伝えても、同じ資料がずっと出てくるっていうところが、溢水については、
0:40:12	この前のヒアリングで単発的にやったやつあったじゃないですか被水の上記の設計とか、
0:40:18	あと
0:40:20	機器区分の話とかあったじゃないですか、おそらく多分電力関係者が入ってきて、何かおかしいぞっていうのを多分気づいたのが発端だと思ってるので、そういうアドバイスとか、
0:40:32	検討をいろいろ重ねてたらこんな時間かかったっていうのが実態なんですかね。
0:40:37	実際は何人ぐらい入っています。技術がですね、
0:40:43	次の通り、タカヤをちょっとST的に少し透明に外して、元の
0:40:50	まず、次付けてまして、
0:40:53	許可や玉エビナはつけているというのが、原燃の中の体制で、それを外から見るのに、
0:40:59	定期的に
0:41:00	レビュー会みたいな形で、毎週やってやるような年明けからやってまして、その
0:41:07	懸案の状況をずっとまわしながら、もう軌道修正かけてるってのが今、
0:41:12	状況になってる。
0:41:14	そこに関西からというササガワも、
0:41:20	入ってですね。
0:41:21	それはまた別の債務でとまわしている。
0:41:24	こんな体制。
0:41:26	ちょっとまだ、なかなかちょっと固まり切れないところがあって、ちょっと今時間かかっているのは地帯です。
0:41:32	要するにこの前の蒸気防護の話とかも、

0:41:36	遅れてるというか少し時間がかかっている。
0:41:40	一つの要素ですねということがいくつかありまして、
0:41:45	詳細設計を落としたときに、
0:41:48	どう固めていくのかっていうのも少し議論と調査をやりながら、まわしてるので、少しちょっと時間かかる。
0:41:55	はい。それで今まで高谷さんから説明いただいた溢水って四つぐらい項目挙げてたじゃないですか。いつか五つかな。
0:42:03	あれについては、電力レビューとしては、
0:42:08	どうなんですかねっていうところが、説明されるわけですかね、次の。
0:42:13	レビューを受けてどうしますっていうのが説明されるわけですかね。
0:42:17	あんまり論点っていうよりも、
0:42:19	考え方をしっかり示していただければあんまり問題ないような内容なのかなと。
0:42:25	思っているものばかりだったんで、
0:42:29	その技術的なところとかあんまりないので、
0:42:32	こう説明すれば終わるっていうのをしっかり電力レビューしていただければ、
0:42:39	済む話なのかなって思ってたんですけど、そこはどうなんですか。はい。日本原燃武でございます。おっしゃる通りです。ここですいません論点とちょっと変えてしまったんですが、論点があるというよりはきちんと設計 Gauss ご説明できてないというところが問題だということで、
0:42:55	ございますので、まさに今からこそきちんとそこを整理して、電力も含めて確認をいただいて、3月7日に提出してご説明したいと。
0:43:06	いうふうに思っております。具体的にここが論点ですっていうところもあまりないのかなとは思ってますが、はい。
0:43:16	はい。
0:43:17	最初の話に戻ると、3月7日っていうのは少し、
0:43:23	ある程度見えてきた部分があるんですかね。
0:43:27	それより前倒しとかできるできないもんなんですかね。
0:43:31	それとも3月7日って何、何かめどがあって決めたせ。
0:43:36	日程なんですか。
0:43:38	日本原燃の高谷でございます。
0:43:42	前倒しができるかどうかはちょっと検討しますがこの3月7日自体は、説明グループ1の個別の説明の後に、設定をさせていただいたということで特に、
0:43:54	グループ1との関係を踏まえて設定権を設定したということはそれだけだと。

0:44:00	はい。
0:44:01	要するに、
0:44:03	SAとのガッチャンコの中で、今日もこの後説明があると思うんですけど、
0:44:09	竜巻とかちゃんこしてる部分が、根拠は説明されて、前回だと、溢水についても環境受けた悪影響あるよねっていうところで、
0:44:18	そこら辺の整理されてるんですかね。
0:44:20	はい、犬塚でございます。はい。こちらの方は別メンバーで同時並行でやらせて、
0:44:25	はい。それも含めて3月7日、
0:44:29	はい。そう。
0:44:31	つもりでこのBSMということでは、そこで出させていただき、
0:44:35	うん。
0:44:38	了解。
0:44:55	とりあえず最後のやつは、もう少し、
0:44:58	他の工程とか説明グループとの兼ね合いで、本当にここでいいのかどうかっていうのは、日時を確認した上で、
0:45:06	どうしてもここじゃないと駄目っていうことであれば、また説明いただければと思います。
0:45:11	はい。はい。はい。ありがとうございます承知いたしました。
0:45:19	設備側で確認等ありますか。
0:45:25	規制庁岡ですちょっと次回の会合の評価パターン1、2、1について、
0:45:33	昨日資料が出てきて次、来週中旬ヒアリングなんですけど、
0:45:40	会合資料
0:45:43	結局月曜の午前中に、どう、どんなものが設定。
0:45:49	それは僕ヒアリングっていう形になってるんでしょうか。
0:45:52	はい、三井田でございます19日同じ審査会合資料ですが、
0:45:58	この共通要因脳評価解析評価のところの説明する議会、前、
0:46:05	前展開、前回、非整理方針について説明を前々回ですね説明させていただいてそれに基づいて、
0:46:13	どういうことを解析評価等の中で整理をしてきたかということ。それもその中でさかのぼって資料3の構造設計のところを直しに行かなきゃいけないっていう部分も見えてきているのでそういった拡充も含めてやってきましたよという、
0:46:27	全体の、前回、前々回の整理方針からどういう整理をしてきたかという話と、

0:46:32	それぞれの評価パターン(1)括弧に対して、評価の内容だったり、構造設計とかに対してどういうことを追加拡充してきたかということと、
0:46:44	実際に資料4の中身ということで、整理をしようということで今作ってます。
0:46:51	はい、規制庁からわかりました。はい。で、ちょっと気になってるのは結局表パターン3は、19日の朝一井の資料には含まれないということですか。はい。上西でございますあとだけ。
0:47:05	すいません19日の夕方出して時20日の午後やるやつで、それに代えさせていたかどうかと思ってました。はい。
0:47:13	はい。正当化Sわかりましただから、月曜日号は、もう表パターン1に特化したような説明の、
0:47:22	更新統を、はい。確認するということですね。承知しました。
0:47:28	以上です。
0:47:34	はい。他よろしいでしょうか。
0:47:38	規制庁神戸です。
0:47:45	代表の考え方みたいな。
0:47:49	今日、
0:47:50	別添
0:47:54	で、これは、
0:47:55	耐震も含めて、
0:47:57	ね。はい、功刀西原でございますはい。
0:48:03	はい、そういうところですけど、昨日の今日でこれを見て、どう、どうする。
0:48:08	はい。
0:48:09	はい。しましう。はい。
0:48:12	日本原燃石原でございますこういう形で今、やらしていただいているという状況説明にしかなくてないので、これ自体は19日の午後にもヒアリングをさせていただきますが、少なくとも
0:48:27	共通12入れた形でヒアリングをセットすると、
0:48:32	いうことも含めて考えないといけない。
0:48:35	実際これと同じものの考え方が、昨日お出ししている共通要因も一応入ってはいるので、そこも含めて、
0:48:44	ヒアリングをどうやっていくかは、整理をさせていただければと思います。
0:48:49	規制庁からそれは資料4についても含めた代表選定って形で今から
0:48:57	任命者でございます代表選定の考え方が資料3、本文で言うと資料3のところとCEOのところ、それぞれ今書いてあって、

0:49:08	資料3の方には、再処理のパーツを入れて、代表の全体の考え方にしてあるんですけど、資料4がまだ片手落ちになっているという状況です。
0:49:20	はい、伊勢です。一方で、MOXの、
0:49:26	グローブボックスの耐震の資料4とか見ると、代表選定の方がすでにあって、そこの関係もよくわかんないんですけど、
0:49:35	はい、与儀西田でございますここはちょっといろいろ資料出しながら、全体見てないといけない私がちょっとベースをして、恐縮でございますこの間、まさしく、
0:49:46	ヒアリングさせていただいたときに、資料4について代表、野瀬ですね、或いは再処理が入ってない状態で作ってるところだったり、もう糞第3回申請も含め、第4回も含めて、全体がカバーできてなきゃいけないだったり、
0:50:00	修正しなきゃいけないポイントが多々あったと思ってますので、そこと抜け譲渡って多分この代表選定の、まさしく耐震の部分ですね、説明をしないといけないというふうには思ってますので、
0:50:13	そこの関係も含めてどう進めていくかはちょっとまた、整理をさせていただきます。はい。
0:50:19	規制庁で、今日の時点では、どうしようもないって感じだと思うんですけど、次、何か整理したものがいつ出てきていつ話が聞けるかみたいな、今表現されてるんですか。
0:50:32	はい。二本木西原でございます。今、22、これヒライカミヤですね。はい。
0:50:41	該当の小コウが再耐震部分のMOXの資料4の代表の話ですねそことどうコラボするかを、ちょっと整理をさせていただきます。はい。
0:51:03	まだ、
0:51:08	すいません。
0:51:11	はい。規制庁か。
0:51:13	なるほど。22 イイダ 21 に今そんな言い方出てきてっていう話でもないんだよねさっき
0:51:22	そういう話もです。
0:51:23	はい。
0:51:30	でも、とは言っても何か来週じゃその話しませんけれども今日でしょ。はい。そうしましょう。
0:51:43	はい。
0:51:57	こないだ話したのは、全体の不正整備ですね、方針ですか。
0:52:02	はい。

0:52:04	20 日だったり 22 日だったりも含めて、ちょっとどこで、
0:52:09	どういう話が、
0:52:10	整理、
0:52:12	見ます。はい。
0:52:22	規制庁の荒井ですけど今の話って、今、今日いただいた別添 2 を、
0:52:28	どう共通中に落とすかどうか。
0:52:31	落としたものを教えてるかどうか、
0:52:37	今、
0:52:40	協定でニワ中でも、結局先日出したやつって、資料寒川代表の話をこう します、しますって説明しながらも、資料 4 って今、最初の評価の項目 がやっと入ったぐらいで、
0:52:53	資料 4 での、まあ、MOX再処理とMOXのコラボをしながら代表をどうし ていくか。
0:52:59	一切書かれてない。
0:53:00	その中で一方で、共通要因の今のMOXの評価の説明グループ 1 の、
0:53:07	資料 4 の頭には、今、
0:53:10	どういうふうに代表を、にしてぐらいやってるグローボックス等の位置付 けなもんかみたいなことを説明をされていて、それが、
0:53:19	今MOXの第 2 回の申請だけを考えて代表でも、グローボックスです って書いたんですけど、それを、第 3 回第 4 回を考えなきゃいけないし 再処理のことも考えて、全体、
0:53:30	どういう代表の選び方にするかっていうのを、宿題でもらっているんで、 そこ該当しないと。
0:53:35	それが多分、
0:53:37	バラバラに今動いてるところを、コラボして、スケジュール感も含めて、 どこで何かによって全体をカバーするんだってところを説明しないと いけないよねってところの宿題今もらったと思ってます。はい。
0:53:50	代表を選定する箇所ってというのが所々にあるので、それらの関係性なり 紐づけをしないないと、結局全体としてまとまらないってところがあ るのかな。はい。
0:54:01	今日いただいたやつって、ここ全体の話をしてるんすよ。多分。はい。耐 震評価のところのパターン類型化の話ではなくて、
0:54:10	耐震も含めて全部、
0:54:13	これが柱になるんですかね。そう。はい。柱になると言いながら、結局 は、今、あくまで、
0:54:22	そうですね例えば耐震のところていくと建物構築物とかの分類とか屋外 じゃないかとかそういう分類で、かつ、有限要素が、

0:54:36	配管系かみたいな話をしてるんですけど、結局、牧草資料4で出てるやつっていうのは、大正記念程度。
0:54:44	13でしたっけ、なんでしたっけ、言ったらいいけど、耐震設計のプロセスのいろんなパターンを見ながら、一番多く丸がついてるやつを代表にしましょうとか、やってるやつとメッシュが全然合っていないので、
0:54:55	そこをちゃんと考えて、1週間も含めて合わせて代表の考え方ってそうだよねみたいな。
0:55:02	話をしないといけない。
0:55:04	今、ミスマッチが、
0:55:06	実際これ、すごい大枠で書いてますけど、やるときには当然資料3での説明の内容も含めて、
0:55:13	考えなきゃいけないんだけど、同じような目しかやらないといけないと。
0:55:27	物騒な、常に
0:55:29	パートパートなんで、全体像で、
0:55:33	1回説明してもらって、
0:55:37	はい、杉西浦でございます。はい。
0:55:41	はい。そうですね。はい。
0:55:44	点検今回付けてくるのは、一つは、あくまで最初に廃棄物管理のことを考えて、説明グループ1にターゲットを絞ってやりましたと言いながらそれもまた、
0:55:53	非常にパッチ当て的な感じになってるので、そういう場合、ボックス燃えたらどうなんの。
0:55:58	全額耐震だと他のことも考えて、第1、第3回含めてどうだろう、木造の関係でどうなるんですかみたいなことも含めて、
0:56:08	整理をしないといけないところもあるのではい。全体のパッケージとして代表ってどう考えていくか、何が大事なのかっていうのを整理する。
0:56:17	ということで、認識をしました。はい。
0:56:21	要するに今回の別添2っていうのは、MOXの視点がまるっきり
0:56:26	抜けてるっていうところが、
0:56:28	本物は、
0:56:30	効率的な説明に向けては、少し、
0:56:33	手当が必要ということです。
0:56:35	はい。
0:56:36	はい、与儀西田でございますおっしゃっていただいとって
0:56:41	6ページで、差分打線コウダと言ってる話と、

0:56:45	あと、その関係のタナカってところも、全然2ページとれてなくて、これ、こっちはこっちあっちみたいになってるんで、そこも含めて全体ちょっと考えなきゃいけないという、
0:56:56	シマしましたっていうかしながらできてないってわけなんですけど、はい。
0:57:02	規制庁、菅です。ちょっと別になんか入ってますけど10、例えば10ページ
0:57:08	地域デイ組合を、
0:57:16	MOXのグローボックス今一生懸命やってる話とは関係ないって思ってるってことですか、最初に。
0:57:25	全く関係ないんですけど、そうではない、そういうふうに見えるっていうのは、おっしゃる通りだ。はい。
0:57:32	規制庁はその辺がやっぱりパッチ当てになって、全然わかりました。はい。はい。私からは、
0:57:43	そうすると今の共通住民の構成で添付1再処理廃棄添付2MOXってなってますよね。
0:57:51	そうすると、
0:57:52	結構破綻してるような気がしてて、はい。だから先にやったやつで同じようなやつは、リンクを飛ばすとかっていうやり方になっちゃうんですかね。
0:58:01	結局は、
0:58:03	はい。
0:58:05	後にやるやつは先の方に備考とか、これと同じみたいな。はい、仁科でございます。はい。今、
0:58:13	今回、全体を通して代表考える、設計も当然同じような設計が出てくるので、そこがこちらで説明したことと同じですっていうのを全体パッケージでピンクのところと、
0:58:26	先に出てきたものが、前項で話をして、後から来た人はそれは同じですっていう説明をしないと。
0:58:34	今の体系を維持するんじゃないですか。
0:58:41	なんで。
0:58:55	はい、他でって1枚。
0:58:58	わかりますか。
0:59:01	峯ハセガワです。ちょっと1点だけよろしいですか。我々ちょっと議論したいところがあって、
0:59:08	5ページって、
0:59:11	代表も、

0:59:12	選び方っていうやつなんですけども、
0:59:15	この中でちょっと議論したのは、代表選定の考え方っていうところで、
0:59:21	この別添 2 がいいかということのを置いて、パス。
0:59:25	この考え方にも選びましたと。
0:59:27	後ろに一覧がついてるを横軸のデータダイゴ 10 基ぐらいなってると思うんですけども、
0:59:33	これが我々今グループ時代だと思ってますと。
0:59:37	そのあと、この固め方なんですけども、
0:59:42	我々も、
0:59:43	ちょっと考えてたのは、共通 12 を出した後にですね。
0:59:48	資料 3 なり、そのあとシマ資料 4 なりで、その構造の話を進めて、
0:59:54	行った結果として最後またフィードバックさせて、50 が実は 55 なのか 60 なのかっていうようなフィードバックがあるのかなあと。
1:00:03	こういうプロセスをたどっていくのかなというふうに思って。
1:00:06	出るんですけども、
1:00:08	この 2 大前提は、
1:00:11	あれですかね社さん MOX も含めて、あってるってことですかね。
1:00:16	それと、
1:00:17	55 か 60 っていうのはどの段階できちっと固めにいくのかっていうことなんですけど。
1:00:27	代表が途中でかわ増えるようなことがあると。
1:00:31	資料 3 を最初からちゃんとつくれてないってことにも繋がるんじゃないのかなっていう危険があるので、
1:00:38	どこまでその設計として説明するかによっていろんな差分だったり、
1:00:44	違うものが見えてくる。
1:00:48	まあ、上辺をとれば、みんな忙しい。
1:00:51	そういえばっていう、
1:00:53	ごめんなさい、古作です。
1:00:56	これまでの流れがわからないので申し訳ないんですけど。
1:01:00	私の、
1:01:03	所でお話をとりあえずさせてもらおうと。
1:01:08	具体はちょっとこの後振り返りを聞きながら、コメントさせてもらえればと。
1:01:14	思うんですけど。
1:01:15	代表の考え方がまだ整理できてないと思って。
1:01:20	で、
1:01:22	もうちょっとちゃんと端的に、という、

1:01:26	趣旨で選ぶのかということを確認にさせていただいてそのときに、
1:01:31	視点は一つだけじゃないと思う。
1:01:33	てるんです。書いてるのが10個ぐらいのレ点があるので、
1:01:37	10個は多いと思うんですけど三つよ、三つぐらいに集約できんじゃないかなと思っていてですね。
1:01:42	集約した上で、どの視点でどれを選んでものかと。
1:01:47	いうことを明確にさせていただかないとその設備をどう見たらいいのかっていうのがわからん。
1:01:53	いうことがあるので、
1:01:56	上げていただいて、中心はこれで説明するけど、差分はどうしても出てくるよねと。うん。いうところの差分を説明する設備っていうのは、
1:02:07	必要なんですよね。
1:02:10	それもちよっと我々の令和2年のペーパーに代表、
1:02:15	設備を選定して審査すると言っているの、代表設備代表っていうふう
1:02:21	にずっと言われて、
1:02:21	いるんだと思うんですけど。
1:02:25	代表谷っていうのがちよっと、
1:02:28	言葉じりとしてわかりにくくなっちゃってるなと思ってて、書いた都合上言葉を変える必要はないんですけど、
1:02:37	その差分っていうのもちゃんと説明する設備を抽出するんだという意識をまずちゃんと持っていたきたい。
1:02:44	そうすると一差分っていうのはいっぱい出てくるんですよ。
1:02:48	資料3で具体を説明していくとこれもこれもあるし、
1:02:52	評価資料4を、
1:02:54	説明していけば、こういうことはないよねって話がどんどん出てくる。
1:02:58	ということなので、都度追加をするとか、
1:03:01	ということになるので、その点ではフィードバックをかけて資料2のところに、この時点ではこれをもって入れていけばいいし、
1:03:10	資料3も、資料4の中で、追加になったものはそういえば資料3に入っていないねとなれば資料3に入れればいいし、
1:03:20	ということで、拡充していけばいいんだと。
1:03:23	思います。最初からもう完成形目指してってやってても全然着手できないし、
1:03:29	どんだけやったって結局、
1:03:31	出てくると思うので、
1:03:33	そこは、
1:03:36	そういう形はそれで構わない。

1:03:38	思います。昨日出てきて共通中に、
1:03:44	見ると、その点でいろいろと入ってはいるんですけど、入っているがゆえ君とかわかるんですよ。
1:03:53	それも結局今のどれを中心にしていてどれが差分なのかっていうのが明確になってないので、
1:04:01	何か急に変な話が入ってきたぞみたいに見えると。
1:04:05	ということだと思うので、その点でもこの代表設備の設定の考え方として中心は何で、
1:04:14	差分は何で、どういうふうな構成で、資料作っていくのかと、いうことが明確になると、理解しやすくなるんじゃないかなと。
1:04:25	人間のハセガワです。よくわかりました。ありがとうございます。
1:04:29	同じようなことを我々も考えていて、
1:04:34	シマ、
1:04:35	どういう視点で選ぶのかっていうところは、ちょっとこれから考え方として議論だと思うんですけども、
1:04:42	このページのですね、このスケジュールに書いてる、
1:04:46	3月にどの提出という、例えばコウ仮置きしてますけども、これは一旦その中心になる設備を、
1:04:53	持って、今日通常一旦作ってですね、そのあと3月後半から、
1:04:59	始まっていく、資料3なりような説明の中でフィードバックさせながら、この資料、拡充させていくというか、一応そういうイメージでちょっとこれ、作っていたところでして、基本的なところは、
1:05:12	認識しようかなっていうふうに入って、差分の説明をやっていかないといけないなとちょっと思っていました。はい。ありがとうございます。わかりました。
1:05:21	はい、そうです。一方で、
1:05:24	5ページのこの矢印の方はよくなくて、
1:05:28	さかのぼっちゃいかん。
1:05:30	過去には戻れないので、
1:05:33	そんな、これあれですよ、実はこれシリーズですものを、一つ、
1:05:38	同じ行為をヤマシタコウ右軸のほうにコイケというイメージです。ただ2フェーズとして反映するフェーズが浅利層、
1:05:45	D層で書くのがまだできているかなというふうに思います。これが宗田第1フェーズ、次第2フェーズみたいな。はい。その気持ちはわかったんですけど。はい。
1:05:54	横浜支店も
1:05:57	考え方一緒です。はい。

1:06:05	ちょっとコサクです。つい、ついでにこのページ開いたのであれなんですけど、3月の会合って何やるつもりなんですか。
1:06:15	これだ、この表だと、代表の考え方を示すだけで、資料3を提出しませんというふうに見えるんですけど。
1:06:24	これまでの資料3を暫定でも、
1:06:27	有野
1:06:29	というか状態を示し、何が課題かを明確にしますというふうにお話いただいたと思うんですけど。
1:06:36	元ハセガワです。先ほど上出さんから同じような宿題いただきました阿部さんからもですね、
1:06:43	真ん中に書いてる、作成のところで、四角ですか、ちょっと2月エンドから3月ミドルにちょっと幅をとってるんですけども、
1:06:55	なるべく早く出してですね、会合の前にもヒアリングを入れたいっての我々思っているところです。
1:07:01	ちょっとそれはもう1回整理して、
1:07:05	お示ししたいなという。
1:07:07	要するに結論としてはツツミたいと思ってるんですけども、
1:07:10	あと、上流から来る、
1:07:12	Dsの整理とか、代表の考え方みたいなのところをどこまで反映できるのかっていうところは、ちょっとどっかでコウミキリが、
1:07:20	いるのかなと思ってまして、ちょっとそれで決めたいな。
1:07:24	そっコサクです。
1:07:26	これまで話があったようなんですけど、
1:07:29	ミキリというか、都度その状況で話ができる。
1:07:34	ことをやっていけば、なるほどよくて、
1:07:37	膨大な資料になってると思うんです。
1:07:40	それをできてからドーンと見てみてください1週間でなんてありえないので、
1:07:46	現時点であるものを提示いただいて、ここは相手を加えてます或いは代表変えるのでここは暫定であって、差し替えます。
1:07:56	とかって言うてもらえばそこは体裁として、
1:08:01	おかしければその今や差し替えようとしてる資料作りもおかしいだろうから、
1:08:06	その点ぐらいはコメントしようかっていう見方をするし、ここは残すものですということであればそこをしっかりと見るしと。
1:08:13	ということで見方がわかるので、そういった形で提示いただければ、順次、

1:08:19	話をしていけるとか、そうしないとですね、差分の
1:08:24	議論が、
1:08:25	後ろ倒しになっちゃったそうです。
1:08:29	MOXでやってますけど、多分再処理の人はMOXをやっている状況を十分には認識できず、
1:08:37	我が身のことにならないと本当のことは理解できないんでしょうから、
1:08:42	理解して欲しいんですけど。
1:08:47	2月3月やらざるをえないのかな。
1:08:51	いうふうに思ってますので、
1:08:53	しっかり
1:08:56	そうするとですね、この図だと
1:09:00	真ん中にその作成ってということで引っ張っていて、暫定は2月エンドウ、うん。
1:09:07	完成版す。
1:09:09	現年かと思う完成は3月ミドル。
1:09:12	いうふうに書いていますけど、ヒアリングは、その下の資料23の説明っていうので3月ミドル絡み。
1:09:20	書きちゃっているんで、先ほど前倒しをって言っているところからするとその部分、順々に、
1:09:27	ヒアリングの場でそれはどういう範囲をヒアリングして欲しいみたいなことがわかるようになっていただけると。はい。須賀さんの承知いたしました。ちょっと調整して、
1:09:37	お示しするようにいたします。ありがとう。
1:09:45	規制庁管です。
1:09:48	別添1まではよくて、
1:09:50	あ、ごめんなさい、古作です。もう1点だけ言うと、
1:09:55	aとbの方にも若干あるかもしれないですけど、これ、資料23と4というのを分けて話してて、当然その資料のヒアリング自体は順々ではあるんですけど、先ほど言ったように、
1:10:08	資料4を念頭に置かないと代表設備の選定できない。
1:10:12	ので、
1:10:13	側溝の視点が大分抜けてる。
1:10:16	んですよ。
1:10:19	それは十分に周知してわかるような形で、
1:10:24	進めていかないといけないかな。
1:10:30	皆さん、承知いたしました。それ。
1:10:38	はい。

1:10:40	今、別添1まで。
1:10:44	はいつも前提にも、
1:10:48	イデ、
1:10:49	定年側で何か、
1:10:53	それらを踏まえてない。
1:10:57	はい。
1:11:01	いろいろ
1:11:04	いただきました。
1:11:05	はい。
1:11:06	特に追加で説明という。
1:11:09	ただいまの時点でですね少なくともまだ、
1:11:12	項目が抜けてしまっているとか、いうのもありますので、例えばですが、
1:11:21	構成も良くないんですよ。
1:11:24	中右下、
1:11:26	10、
1:11:29	12、11 ページから外部商品が始まって、
1:11:33	12 ページからですね、構造強度を確保するといってまず一旦、事象関係なくずらずら並べながら、
1:11:42	そのあといきなり予備品群とかですね、何の事象の話をしてるのかよくわからないものが並んで、16 ページに侵入防止で火山の話が出てきていて
1:11:53	ちょっと何を対象にしているかがよくわからない構成になっているので、ここをちゃんと整理をしますということと、
1:11:58	今これを眺めていったときにですね、一つは、敵対の外部火災への航空機墜落火災でいう、建屋の外壁だったり建屋の中の設備が大丈夫かどうかみたいな、
1:12:11	設計項目があるんですけど、そこが完全に今抜けていると、いうこと。
1:12:15	はい。あとは代表をどうしますって理由を書いているんですけど、何々等々、
1:12:21	合わせてって書いてるんですけど、頭になっているのと何、何が合わさってそうなるのかが全然読み取れないので、
1:12:28	ちゃんと丁寧に一応考えてることが書いていくことであるので、そこをまずちゃんと丁寧に、
1:12:35	考えなきゃいけないかなと。例えばですけど、
1:12:38	竜巻の外構部と設備の関係、配置設計で、外構部の影響ありませんというものだったり、あとは防護盤をつけて守りますというものだったり、

1:12:50	ありますし、同じ開口部でも外部火災で、開口部からの二次輻射じゃないですけどな熱影響でやられて1万設備がありますとかっていう、そういう配置の話をしないとイケない部分も、
1:13:02	いろんなものをちゃんと加味して、考慮してあげた上でいろいろ説明をしないといけないんですけどそういったものも、全然書ききれてないので、そういった考慮事項をちゃんと書くということで、
1:13:14	整理がまだできてないかなと思ってますんで、そういうことも考えるということと後は、
1:13:20	先ほど、
1:13:22	5 ページでMOXの外傷と関係しまして、
1:13:25	いうことを書きながらその関係が全く今消えてないので、そういったところもケアが必要だと。
1:13:30	いうところで、一度ちゃんと正式しますと、
1:13:34	ですね10分とどういったところが足りてないと思ってるかとか、どういうことを今考えたかっていうのは、説明はさせていただこうと思いますけど、少なくとも並行してそういった修正を、
1:13:44	やろうと思ってます。はい。
1:13:48	きちんと話してまた新しく資料、
1:13:51	直さないと、
1:13:54	前こっちはこれの状態、タダの説明、ちゃんと何が足りてないと思ってるか1個ずつ説明できるでしょうか。
1:14:12	今日午前中にあまり時間がなかったんで、事前にお話をさせていただいたのは別添2のところは、今日は9話をするけど細かい話は19日の日、審査会合日ヤノ後に、
1:14:25	時間とってやりましょうねみたいな会話をしていたと記憶してるんですけど、それをやらずに今の時点で根本的に足りてないところあるんで、それを1回直して、もう1回資料出して、
1:14:38	ヒアリングをセットするってことで考えたらいいですかって言うか、しました。
1:14:44	何かもう入学で人が足りてないっていう中で、
1:14:51	やはり少ないというか、どう整理するかという考え方がない中で、この資料で同じこと言ってもあんまり、
1:14:58	はい。意味がないのかな。
1:15:00	とは思って。
1:15:03	そうだとすると、根本的にちょっと資料作り直して欲しくて、
1:15:09	それは、代表設備、先ほど言った通り代表設備の選定の考えにのっとって説明して欲しいと。はい。

1:15:16	いう
1:15:17	ね、現状書いているのも、
1:15:20	数の説明項目を包含する。
1:15:24	なるべく多く説明できるものを抽出していきますということだったんで、
1:15:30	なのに個別でこれをこれこれはこれって言うってということ自体がおかしいじゃないですか。
1:15:36	それを、
1:15:40	参考のほうで説明するのかなと思いつつ、そういう表にもなってないんですよ。
1:15:47	latentの関係がわからない。
1:15:51	現場が振ってあってこれとこれに合致とかってところの紐づけがわかるとある程度ステージするかなと思ってます。これまでのその代表設備の選定のときの考え方としては前丸黒丸山岳とかとか、
1:16:06	久郷帰ってて、趣旨が見えるように、
1:16:09	していただいたと思うんですけど。
1:16:12	それが見えないと、結局なんて、
1:16:17	符号だけだとわかりにくいからっていうので、今作っていただいたような表を作り、この設備でこういうところを説明する、これだとかこういうところが説明足りないからこういうのをサポートして追加する。
1:16:31	その作業としてはこの中、この所説明事項についてやっぱり、
1:16:35	実はこれっていうふうにしていただければ、
1:16:39	ということだと思うので、
1:16:42	ちょっと、
1:16:43	羅列して、一気に肩をつけようとし、
1:16:48	はい。
1:16:50	うん。弓削ニシウラ
1:16:53	等、
1:16:56	明日、
1:16:58	くそ
1:17:00	さん。
1:17:00	お話を
1:17:02	どちらかというと確かにタテオク、
1:17:05	違ってて、設計とせず、
1:17:08	各設備がどこに丸がつくかということでそれで一番丸がつく人を代表にしましょうと。かつ、
1:17:16	火山と、

1:17:17	竜巻とか、同じような説明をしなきゃいけないものは、これを合わせてやりましょうねみたいなことが、設計項目との関係でリンクを取りながらこれはこっちと合わせてやりますみたいのもわかるように、
1:17:27	していたので、違うものを作る。
1:17:32	やっただろうという。
1:17:34	はい。
1:17:37	はい。
1:17:38	なのでまずその表をしっかりと作っ。
1:17:41	その時に説明。
1:17:45	抜け漏れのないように、はい。
1:17:47	先ほど抜けてあります。
1:17:50	内容。
1:17:52	衛藤。
1:17:57	今日の別添 2 の中にも少し書いてある以上、説明パターンという表現になってますけど、説明すべき項目という枠組みだ形だと。
1:18:09	それで一つの設備で説明できんのかっていうとそういうわけにいかない。
1:18:13	いうことがあって細分化する意識を持って書いていただいているんだと理解を、はい。
1:18:18	しますが、
1:18:19	これ書いてる人はそういう認識を持っていても、作業する人がこのパターンって何ぞやと。
1:18:25	いうところの制度があってないと結局話が通じないので、その辺り
1:18:33	先ほど言った評価の視点、
1:18:35	で、評価っ子評価方法が違ければ、
1:18:39	その違うものの説明としてのサトウを説明しなきゃいけないので、
1:18:44	いうことも、この時点で認識をしております。
1:18:49	ということなので、説明パターンというところを、より具体。
1:18:54	入ってもらえれば、
1:18:56	ただ表ですすねパターンまで書き下すやっぱり膨大なものになっていないと思うので、考え方は方針の中で明確にさせていただいて、
1:19:06	表はまとめてで構わないんで、その時の差分の説明っていうときに、少し何をちゃんと意思が伝わってくればですすね、そこまで考えてやってくれてるんで、
1:19:21	言った形で
1:19:26	そうすると先ほどカミデの方から言ったようにですすね、代表って、
1:19:32	どっちが本当の代表なのみたいな。
1:19:34	ゴトウがわかるようになるんだらう。

1:19:39	それで、
1:19:41	その上で代表中心となるものってどう選ぶのってということなんですけど、
1:19:47	何も数がきやいいってことでもないと思うんですよ。
1:19:51	やっぱり最初に何も降り特徴っていうのがあってですね。
1:19:56	その特徴をしっかりと説明するというのがやっぱり大事だと思うので、
1:20:02	その点では、耐震評価を、
1:20:06	ファンで説明しますっていうのがありますけど、
1:20:10	本当にカミデいいのか。
1:20:12	確かにK形式何て説明してもいいけどさ。
1:20:17	いうところが、
1:20:20	本当にこれが的
1:20:22	っていうところを感じる。
1:20:25	ここまで来てないんですね。
1:20:29	意識してる方もいるようには見えます。
1:20:34	かなって悩む。
1:20:38	この選定にあたっての視点として、
1:20:44	今日の一つ氷事項。
1:20:55	本店でいうと、
1:20:57	今回分離建屋を、
1:20:59	大分その中心に据えたいってなって、
1:21:04	それは何で、
1:21:07	乳井西原でございます。
1:21:11	正直、
1:21:13	どれでもいいって言いながら、従来事故としての、最終的な蒸発乾固とかいろんなパターンが出てくるよねも含めて、
1:21:25	昔から何となく再処理の中心ってどこよって言ったら、分離っていうのは
1:21:31	お決まりのように言ってたところもあったので、今回分0勝DのSM両方等で安重5Sm設備も屋内に配置されてますと言っても含めて、
1:21:40	選んだのは、
1:21:41	そうなんですけど、
1:21:44	他にもあるだろう。
1:21:46	いや、
1:21:48	いやほかにもあるだろう。
1:21:51	江藤現地確認させていただいて、
1:21:55	何より違いが多すぎると。
1:21:58	ということがあって、どれが標準なんだっていうのもわかんないんですよ。

1:22:03	すれば、
1:22:06	Bの方だって、
1:22:08	それぞれそれぞれといいかもしれないですけど、
1:22:14	どういうものが中心となって扱われているのか、っていうことだったり、
1:22:21	違いがあるんですね、先生の先伴は、やっぱり来る。
1:22:25	ていうところの時点だと。
1:22:28	八名。
1:22:36	方、
1:22:37	レベル廃液っていう関係だと片理から始まる。
1:22:42	そうですね、濃縮管が分離るのでそこでスタートです。
1:22:46	その点では、ここでっていうことかもしれませんが、
1:22:50	そういったところの視点をちゃんと、
1:22:52	認識をして選んで欲しいと。
1:22:56	同じG、
1:22:58	十、そんなに大きく違わないなっていうレベルであれば、そういう特徴の
1:23:03	ある、
1:23:04	を中心にしても、はい。
1:23:08	で、
1:23:10	神経で補強のなりの議論が、
1:23:16	なりそうなところかな。
1:23:20	の方がいいような気もするし、機能的な面等その改造なり評価でのです ね、論点と、
1:23:29	どう
1:23:32	どっちが中心がいいものなのかっていうのは今の評価の結果なりの状 態次第のところもあって、
1:23:41	あそこも
1:23:43	どっちを通るのが
1:23:45	トータルとしての説明として重要かと。
1:23:48	いうのを考えていただきたい。
1:23:50	いうのは
1:23:52	設計の考え方。
1:23:55	それをどういうふうに、先ほど表なり何なりで説明できる
1:24:00	いうことも、
1:24:05	読みしちゃう。
1:24:07	現地確認も含めて、建屋でいくと、前言われたダクト側の壁沿っている 落トダダクトと、防護盤ですか。

1:24:17	が風と現状と壁沿ってるような前処理だったかな、イセタカノ編、ちょっと 聞い特殊だよねみたいな。
1:24:26	話もあったり、
1:24:28	ていうのもあるので、そういった評価側で見なきゃいけない視点と、プロ セスみたいなものを見た視点というので、その特徴をとらまえていくかと いうのを整理をした上で、はい。代表の選定に結びつけていくと。
1:24:41	いうことで考えますはい。
1:24:44	はい。
1:24:46	で、
1:24:48	細かな話。
1:24:51	もし転換する。
1:24:53	やっぱり何となくしっくりこない。
1:24:56	先ほどネットの
1:24:59	もう一つ
1:25:11	評価としてはする
1:25:14	形だけでも出て、
1:25:19	はい。
1:25:22	さんざんこれまでも議論してました。はい。
1:25:27	これもしっかりと、
1:25:30	いらない。
1:25:39	ちょっと例示した。
1:25:42	平伊井。
1:25:44	設計において、
1:25:46	勤怠の生成。
1:25:49	を挙げていてですね、これも何だかよくわからない。うん。
1:25:53	ですよ。はい。
1:25:55	なんていう、ちょっと二つ挙げるのは
1:26:00	はい。はい。書いてましたけど。はい。
1:26:02	例えば、サクライについては、おそらく、
1:26:07	全体 270 受ける受けるもの受けないものだったり、
1:26:12	その人はイトウナカセにかぶってるやつ、そこからはずれてるやつで、 あとは、直接外でいくと今は意味があまりないのか、真実と休日のう形 で、
1:26:26	新しく作ったものともともと休日で、ほぼレベル 1 相当ですみたいな説 明をしてるところとの差分で、今は二つ挙げてたりと、
1:26:35	いうのがあります。
1:26:38	今言ったところで、

1:26:41	中心として挙げるものとしてこれとこれっていうものと多分とっていうので、
1:26:48	違いがあるなという認識いただけたんじゃないかなと。
1:26:51	思います。
1:26:52	諏訪で、これだけで言えばそうかもしれないけど、先ほど言った他の条文での説明事項との関係と、
1:27:01	いうことも含めて、トータルとしてどういくのか。
1:27:06	という考えをちょっと、
1:27:08	この部分ずれです。
1:27:10	トータルとしては分離ですって言っているわけね。
1:27:13	今、ヒライの関係だとその当時は、あんまり最初なんだっていう、これヒラガは8%になってる。はい。
1:27:21	そうだよ。はい。
1:27:23	で、それはそれでいいのかどうかと、いうようなところを、
1:27:27	代表選定の、
1:27:31	まあ、確かにそっち代表で聞いていた方がいいねということであれば聞いて、そうすると平岩8%になるからそれをこれはこれで個別に聞こう。
1:27:40	ということになる。
1:27:44	その考え方がパツと議論できる。
1:27:52	今の最初の表をつくれれば、
1:27:54	これで漏れるので、
1:27:56	漏れるのはこれで受けるんですね。
1:27:58	でわかる。
1:28:06	いえ。
1:28:08	もう、
1:28:12	支配と。
1:28:14	ない人は当然、
1:28:17	わかります。
1:28:19	北関東の扱いが非常にわからない。
1:28:23	で、鉄塔支持型、
1:28:27	制震ダンパーつき、
1:28:30	は、社外鬼頭鴉田神吉と一緒に。
1:28:36	いいですか。はい。
1:28:37	ただ、投信は一つなのか、4ですかね。はい。両方ですね。はい。
1:28:42	違いがあつて、その違いによって何か説明すべき。
1:28:49	あるかないかわかんなくて聞いているんですけど。はい。何となく不安なんです。はい。

1:28:55	はい。
1:28:59	学校と投信の関係とかですね、両方繋がってる部分がどうとめているのかも含めて、耐震とかいろんなこと考えると、その部分の構造がどうなってるかっていうところを、
1:29:11	聞かないと、いいのかどうかも多分確認できないというふうになるかなと思いますはい。
1:29:18	そうすると、構造は説明しておいて評価では、
1:29:23	こうしますってこともありえますんで、
1:29:29	そういうところで登場人物一通り上げ、
1:29:32	社内ではありがたいんで、明らかに包含する値っていうのはあんまり、
1:29:39	けど、
1:29:40	論点が少しでもありそうだなと思ったら、
1:29:44	それから何で入るのかっていうことは説明し、
1:29:48	或いは、
1:29:49	差分として説明し、
1:29:53	その辺は、
1:30:00	はい、乳井西尾でございます。はい。
1:30:03	実際今、
1:30:05	参考でつけてる表も、
1:30:08	普通にマルつけてますけど、差分のつもりで書いてる場合も行ったりするんで、そこをちゃんと明確にして、廃棄を分ける。
1:30:30	方策についてあと
1:30:33	選定スルー。
1:30:36	に、なるべく親切を入れようっていう発想が、
1:30:40	あるよ。
1:30:42	ですけど、はい。
1:30:44	これも新設だったらそりゃあそうだろう。
1:30:48	改造でちゃんとできる。そのようにできるのかよっていう論点はあって、
1:30:55	このスズキツツミしなくても、
1:30:57	新設町にある橋やってるから大丈夫でっていうことなんです。
1:31:01	ていうのは、
1:31:05	この段階で、
1:31:08	はい。
1:31:13	で、
1:31:15	新設を説明される構わないですけど、
1:31:19	改造で同じように改造します。
1:31:22	交換します。

1:31:24	宣言される。
1:31:25	或いは改造としてはこういう
1:31:27	特徴があるのでその部分差分で説明し、
1:31:31	他の状況
1:31:32	で、
1:31:34	丹羽会長、顧問中心として扱い、
1:31:40	わかりました。
1:31:58	あ、そうですね。ちょっと代表の話を、
1:32:02	ちょっともう一つ、
1:32:05	書いてる中で、
1:32:09	設備の、
1:32:11	選定っていうだけじゃなくて、
1:32:13	確かに構造とは言ってるけど、
1:32:16	システム設計、
1:32:18	構造設計は1セキ。
1:32:20	はい。
1:32:22	あと、確かに系統っていう意識は大事だよ。
1:32:26	その一つの系統を説明する中の設備で、なるべく説明したい。はい。
1:32:33	いうのも、
1:32:35	選定基準に、はい。あるんだろうな。
1:32:40	思いますんで、
1:32:42	この明確にしておく、あの時、今やろうとしてること自体が、しっくりきて、うん、だからこれなんですよっていう、先ほどアライ内田と思うんですけど、選定基準のどれに対してのものなのかっていうのはちゃんと、
1:32:55	紐付けをしていて、
1:32:57	それで系統、
1:32:59	御説明。
1:33:00	なんか、対象なんで、
1:33:03	いうことでも、
1:33:05	挙げられるんじゃないか。
1:33:16	はい。
1:33:20	そうですね共通商品でもガイドでも、予定事項をさかのぼっていく時にまず、系統全体で説明が必要かどうかっていうのを見ながら、
1:33:30	かつブレイクするのかがどうかっていうと、
1:33:33	をしてニワ考え、
1:33:48	アベっていう
1:33:58	なければ、

1:33:59	もう、もう1個資料ついてましたけど、
1:34:08	僕をあれ、
1:34:10	予定してあります。
1:34:14	じゃ、ちょっと時間オーバーしちゃいますけど、さらっとだけ。
1:34:20	押さえておいて月曜日というふうにした方がいいと思うんです。ちょっとスケジュールで1点だけ
1:34:27	最後のページに、次回の審査会合20日は、
1:34:32	その概要の資料の提出が3月13日。
1:34:37	いや、これ1週間前、前々回前回そうなんすけど、医師2週間前、特に耐震ですね、議会と自治会、どういう
1:34:47	説明内容なんか冒頭あったようにですね、その住み分けもここで関係してくるんで、
1:34:54	もう、次回の会合、次の週になっちゃいますけども、きちんとそこはターゲットとして考えておいてもらいたいと思いますので、
1:35:03	3月20日の最初の介護資料いつ出しますっていうのもちゃんとできて、
1:35:09	議事の方でございます。はい。承知いたしました。今そこまできちんと詰めてなくて申し訳ありません。
1:35:16	はい。
1:35:19	昨日、あと6ページって書いてある。
1:35:26	回収率もフジノ関係っていうので、
1:35:29	これも変わってくるっていう理解でいい。
1:35:33	それとも説明を入れるだけっていうこと。
1:35:44	はい。補足です。ちょっとですね、やっぱり葛西アノ。
1:35:50	7ページ目の先行。
1:35:52	個別って言ってるのとか、もうちょっと微妙だなと思う。
1:35:57	ていて、
1:35:59	一番微妙だなと思うのは、笠井ですけど、
1:36:03	グローブボックスの不燃難燃について、グループ2で選考しますですけど、これグループ1ですよ。
1:36:11	グローブボックスだから。
1:36:13	はい。
1:36:14	とか。はい。
1:36:17	どのグループで何を説明するのかっていうのをちゃんと整理できてないような気がするんです。
1:36:22	葛西なんだからここ笠野ポイントだよなってただ書いてるだけで、
1:36:29	特に最初に、それじゃMOXの方はそういう視点で考えないと。
1:36:34	おかしいんじゃないですかと。

1:36:36	いうこと。
1:36:38	です。
1:36:42	先行して個別の事故を説明しておいて、す。全体は再処理でと。
1:36:50	て言って、再処理聞いていく中で、MOX数等、何、セットで聞いていくってことになると思うんですね。
1:37:00	MOXもことも意識しながら聞いていく。
1:37:04	すると、いやモック数差分あるんじゃないかっていうことで話をすることも出得るわけですよ。
1:37:12	そうすると、それを踏まえて対応しますという形になって最終セット。
1:37:18	になると、
1:37:20	いうことだから、単純に矢印でヒアリングみたいになってますけど、その矢印は再処理の対応する部分、グループ、
1:37:29	と合わせていって最終 5 日後、
1:37:33	ということがわかるようにしなきゃいけないと思うんです。
1:37:38	葛西はすごいわかりやすいからなんですけど、次にわかりやすいかなと思うのは、重大事故。
1:37:43	うん。
1:37:45	MOXは重大事故ん、今回対象ガス軽いので、そんなに大きく影響しないんですけど、
1:37:52	ただ、全体像を最初に整理するので、そこは帳じりを合わせる必要がある。
1:37:58	いうことだと思います。で、MOXがわーわーものとするのと事故名の関係っていうことだから閉じ込めとセットでやりたいと。再処理側が、
1:38:10	ない。
1:38:12	建屋内の機器。
1:38:14	がやはり機能として、中心として説明したいということで、多分グループ 2 となるべくセットにしていきたいという、
1:38:22	ことなのかなと想像しますけど、
1:38:27	それとMOXの方とどう関係づけてやっていきますかということが、十分議論しきれてないんじゃないのかな。
1:38:34	そうすると、結構、
1:38:37	負荷が高いので、うん。
1:38:40	こんなに全部グループさん四、五、
1:38:43	再処理のグループ 567。
1:38:48	567 も、3、3cと並行してみたいな。
1:38:53	線の引き方になっていてですね。
1:38:56	そんなにできませんよ。

1:39:00	ということだから、
1:39:06	片付けるために関連するのはこれとこれとこれで、これはしっかりとセットでやっていきたいと。
1:39:14	いうことは明確にして、
1:39:16	いただいて皆さん対応するのに1ヶ月はかかるんでしょうから、
1:39:20	その間の週にこれもやらせてくれるというのは構いませんけど、
1:39:25	ただ羅列するのではわかりにくくなるんで、これとこれをセットで1番手でこれは2番目、このグループが2番手と。
1:39:32	いうことは分かるようにしないとせつかくグループって言ったのに、このグループ意味をなさなくなってるので、
1:39:40	またグループの中の統合っちゅうか、グループのグループ化、
1:39:44	していただければと思います。
1:39:48	そう考える等、その他は当然後ろ倒ししていいでしょうし、電気もちょっとあやしい。
1:39:55	うん。
1:39:56	MOXであれば蛍光遮へいあたりは少しずらしてもいけるんじゃない。
1:40:02	いう気がするので、その点も含めて、
1:40:11	はい。
1:40:14	今、
1:40:19	7ページ。
1:40:33	そあコサクそしたらDBSAの方ってどう進めます。
1:40:38	説明って言っても、
1:40:41	藤原さんどう進めたいですか。
1:40:44	藤原です。もう、一応見てるのでこちらから確認したいところ。
1:40:51	お伝えできたらと思ってますが、原則でいいですか。大丈夫。
1:40:56	はい。
1:40:59	はい。規制庁、
1:41:02	今日はこの資料
1:41:07	今の時点で確認しておきたいところをお伝えできたなら、確認できてるというふうには思ってます。
1:41:13	で、大きくは二つぐらいの整理は、確認しておきたいんですけど。
1:41:20	3ページ、この括弧ってなるといろいろとあるってあるんですけど、3ページ目の多様性職員
1:41:28	のところの整理の方針なんですけど、
1:41:32	上から三つ目ぐらいの話は読んでてこういうことが言いたいのかなっていったところでちょっと理解はしつつ、四つめと五つ目。
1:41:43	よくわからなくて、

1:41:45	衛藤多様性、位置的、独立性的分散後この二つについては、
1:41:53	機能と代替元のDBの機能との関係とか、配置情報を前提として説明すべき内容であることから書いてあるんですけど、これ、
1:42:03	該当すると思うんですけど、なぜここ分けてこれは、
1:42:06	どうしようとしているのか、簡単に説明いただけます。
1:42:13	日本原燃の瀬川です。志賀の方から、
1:42:16	解説させていただきます。
1:42:19	ですね、今藤原さんのご指摘の、位置的分散についても16番から、紐付けなきゃいけないんじゃないかという部分については、
1:42:29	すいませんちょっと表現があんまり、
1:42:32	ヤギらしいんですけども五つ目のポチで、
1:42:34	位置的分散はアノ16も含めて、全体から展開しますよと、いうことを宣言したつもりでした。
1:42:42	多様性と独立性の部分だけ、
1:42:46	ですね。
1:42:47	これは、外部衝撃という観点で多様性独立性というものを、論するよりもですね、事故、
1:42:57	事故対処との関係で、整理した方がよりわかりやすいだろうということで、事故対象の説明をするものがですね36条の16番なんですねここ
1:43:10	事故時環境を述べるどころ、陸自環境に対する設計を述べているところでして、熟児環境を述べるにあたっては事故対処の機能の説明もあわせて説明するという背景がありましたので、
1:43:24	この多様性独立性という部分で、
1:43:28	16番からは、
1:43:30	発信するというような整理をしたと、いうことを表現したかったものになります。以上です。
1:43:38	規制庁の財津アノ。
1:43:40	次のポツに市来防災について16番、
1:43:45	あとは認識してる
1:43:47	多様性と。
1:43:49	セイノところが16。
1:43:53	むしろ心配なんですけど、事故時の条件、事故が起こることによって、プラスで変動した分、
1:44:02	ていうところの共通要因。
1:44:05	事象だけを紐付けて、抜け漏れとかは発生しないんですか。
1:44:11	はい、日本へのセガワですこれはちょっと石原からも指摘があったところだったんですが、まず一旦、多様性独立性位置的分散の3、

1:44:21	3点をタツノきいだとか外相に1回しっかり義務づけた上で、
1:44:27	その上で紐付けた先の八条側で、このうちの多様性独立性に対する設計というのは、アンリユウ側。
1:44:38	伴湯川後個別事故条文の中で代表して説明しますと、というような対策です。
1:44:45	瀬川さん、それだと前回のヒアリング無駄になってるよ。
1:44:49	それじゃわからないから、ちゃんと36条で個別分解をして、36条まで説明することと、個別具体として外傷に、
1:45:00	束ねることというのを、36条で整理しましょうっていうのが、前回の合意事項だったんじゃないんですか。
1:45:07	石原さんどうですか。
1:45:10	はい、以上でございます。ちょっとですね今フェアの頭の中で構築してる3段飛びぐらいのやつを、多分1個でやっちゃってるところがあって、
1:45:20	多分丁寧にやしないと駄目だっていうのが前回のやりとりだったと思っ
1:45:26	ていて、多様性独立性で制御さんも含めて見なきゃいけないことがそもそも30何
1:45:41	何があってという交通整理をした上で、その中で、どれはこういう観点で、八条と紐付けますとか、これはこういう観点で、
1:45:53	個別条文との関係で整理をしなければいけないものみたくのを、交通整理をするってのが前回の約束をだったと思ってるんでそれが多分、全く
1:45:58	できないままいきなり16番に押し付けているところがちょっと整理まだ不十分。
1:46:00	だと思えます。ここ、ちょっと整理をさせますはい。
1:46:10	はい。
1:46:18	表だと前は上の方でば一つと細かくしたのはやめて、下の方に移っていたから、方向性は合ってるのかなとぱっと見思ったんですけど、
1:46:24	振り方として、やはりその概念が残っちゃってたっていうことだと思うので、しっかりと整理いただきたいと。
1:46:27	ます。
1:46:31	瀬川さんに認識を聞きたいところではありますけど、
1:46:41	一旦藤原さんに戻します。
1:46:42	規制庁の藤原です。ありがとうございます。
1:46:47	そうですねちょっと瀬川さんの認識も気になる場所なんですけど時間も
	あることもあって、ちょっともう一つ、その下の、
	次の分も、
	抜け漏れがないかこれも飛ばしが入ってしまったのかなんですけど。
	屋内野瀬

1:46:50	14 番 17 番 18 番に関係する
1:46:55	話がされて、これもえっと、何らか本当は真ん中に考えてることがあるのかもしれませんが、じゃあ 17 番と 18 番の設計って、SAIにないわけじゃないよねそこ。
1:47:07	どこに
1:47:09	このあたりもきちんと考えたことで、抜け漏れなくちゃんとやっていますっていうところを、
1:47:15	けど、その辺大乘
1:47:18	はい。日本原燃の瀬川ですご指摘の通りでまさに悩んでいるところでして、観点漏れがないかという観点で漏れがありませんというのを、
1:47:28	36 条側の前捌きでできるかっていうのがちょっとまだ、具体的なやり方が思い描けてないところですよまさに、3 ページの下から、
1:47:38	4 行目のところの検討事項って書いてあるところですね、一旦中も関連するもの全部にぶつけた上で、八条側で束ねるっていうやり方をした方がですね、
1:47:49	網羅的に考慮していますというのが通じるかなということも思いつつ、
1:47:56	思いつつですね、今回の提出資料としては、36、6 条側でちゃんといいわけ考え、表現できてませんけれども、前捌きした形で 14 番に紐づけるという整理をしてしています。
1:48:09	来ているのが現状でございます。以上です。
1:48:12	駄目ですけど、井沢さんそれもちよつとね、
1:48:17	あれなんですよ。多分、いろいろ考えてくれて話をしているとわかるんだけど、
1:48:23	結局 14 番に預けますって言ってるのが正しい姿だかどうかどうかわからないわけですよ。
1:48:29	14 番に行く前に 17 番は 17 番 18 番は 18 まで多分語らなきゃいけないことがあるはずで、それをちゃんと非語らなきゃいけないことがあるから紐付けた以上は、
1:48:39	そこで語らなきゃいけないことを語るC、Dその部分が共通だから 14 番に預けますんだったら、多分その仕組みを作らねないと、何か結果全部預けて抜けましたみたいな。
1:48:51	話があるのが怖い。
1:48:54	古作です。
1:48:56	14 番に飛ばした上D10782 展開しようって言ってるの。
1:49:03	逆じゃない。
1:49:04	生活という意味がわかんないんだけどそういうこと。

1:49:08	違います失礼しました。日本原燃の瀬川です。36 条から 10、14 番にも 17 番にも 18 番にもですね、位置的分散をやるっていう設計を、
1:49:22	飛ばした上で、
1:49:24	八条側の 141078 の位置的分散を語っている、三つ三触れ三ヶ所に井関分散の設計が登場して参りますけれども、その中で、例えば 17 とか 18 の、
1:49:37	観点を考慮しても、14 番の位置的分散のやり方と同じなので、代表 14 番に預けます。
1:49:43	というようなそういう整理の方が網羅的かなというふうにも考えてました。以上です。
1:49:51	基本検討、ごめんなさい。
1:49:55	17 番 18 番って、
1:49:59	説明、具体的に、
1:50:01	SAと接しなきゃいけない。
1:50:04	ものはしなきゃいけないし、しなくていいものはしなくていい。
1:50:08	ので、しなくていいものは 14 番にします。
1:50:11	しなきゃいけないものは 14 番と 17 番にしますと。
1:50:14	ただそれだけだと思うんだけど、
1:50:17	何か悩みの。
1:50:21	はい、日本原燃の瀬川です。
1:50:23	位置的分散。
1:50:25	もちろん環境条件としては 14 番も 17 番も 18 番の茂呂ひもづく設計が、SA側にもあるんですけども、位置的分散という観点になったときに、
1:50:37	1 時金皆様の健全性を確保するための手段の一つですので、やはりこういう気圧差という影響をきちんと考慮して、位置的分散を図るんだ。
1:50:47	開口影響というのをきちんと念頭に置いた上で一滴分散を図るんだという、設計上の概念は位置的分散においてもあると思っているんですけど。ごめんなさいコサクです。それって、
1:50:57	そもそも 14 番の配置設計の時にあるんじゃない。
1:51:03	はい。日本原燃の瀬川です。おっしゃる通りでして、
1:51:06	その位置的分散を語る上で最も受け、受け側として最もらしいやつが何だといったところで考えると、
1:51:16	柳井田崎です。だから、配置で対応できてるやつは、14 番なんですよ。
1:51:23	1078 はいらないんですよ。

1:51:28	配置がうまくいなくて或いは機能としてどうしても 17 番 18 番の対応をとらなきゃいけない設備は、配置としてそういう場所にしか行かないから、
1:51:39	1078 の説明も追加で必要になるんですよ。
1:51:46	はい。日本原燃の瀬川ですおっしゃる通りですデービー側の設計の立て付けもそうなっておりますので、
1:51:55	やはり位置的分散においてもですね、今コサクさんがおっしゃられた、
1:52:00	頭の整理で流せばですねおのずと、
1:52:04	18 番にもし問題があるのであれば、18 番にも紐付けますしなくて 14 番ですべてクローズするのであれば、14 番だけに紐づける、そんな整理というふうに
1:52:15	考えました。以上です。はい。補足です。そうすると、
1:52:19	36 条側の位置的分散のと機能域的分散の考えとして、
1:52:24	17 番 18 番みたいなものを避けるように配置しますというような設計と、
1:52:30	機能なり何なりの関係からこういうことにするものについては 17 番 18 番。
1:52:37	の対応をとりますという設計があって、それぞれ 14 だけに進むものと 1047 というものと、
1:52:44	いうことで
1:52:46	説明が不割り振られるという形に、
1:52:49	できるんじゃないかなと思っています。
1:52:56	日本原燃の瀬川さんありがとうございます承知いたしました。はい、古作です。多分その割り振るだけの詳細度で今書けてないから悩んでたっていうことだと思うので、
1:53:07	DBと同じようにちゃんと書き下しましょうと。
1:53:10	いうことだと思います。
1:53:12	藤原さんどうぞ。
1:53:15	はい。規制庁の藤原ですありがとうございます。おつき確認したかったところがそこら辺がまず 1 点目と、今ので少し整理がついたかなと思うので、もっと具体的に
1:53:28	整理を精査していただけたらいいかなと思いますが、次に
1:53:33	衛藤マツノ機能 19 番と 20
1:53:38	の話もまだ何かよくわからない状況かなあと思っていて、
1:53:44	まず、殊、衛藤達明の 19 と 29 の整理の仕方っていうのは、どういう考えに基づくのかみたいところで、19 は、
1:53:56	外で、もう設置をしてしまうものを設置してそのまま使うもの。

1:54:02	29 は、設置をして使うものではなくて、一旦そこにおいて使うときにはどこかに、
1:54:08	使います形だと思ったんですけどそこは整理
1:54:11	で合ってますか。西来。
1:54:15	はい。日本原燃の瀬川ですその認識が多分ずれてますね。ちょっと今、藤原さんがおっしゃられた認識は私の中にはなかった認識でして、
1:54:26	私の考え方を述べさせていただきますと、
1:54:29	19 は、まさに変える側、みずからが外部衝撃から変えるっていう視点が19 で、29 は加害者になる側、
1:54:42	悪影響を与える側という概念で、この整理を行っていたのが実態でございます以上です。
1:54:50	規制庁述べます。
1:54:53	の事象の担当の方はどう考えてたのかもちょっと
1:54:57	けど、
1:54:58	今、私の思ってる考え方が合ってるのか、それとも竜巻の事象側でも、本当はこういう考えのもとでしたみたいなことがあります。
1:55:11	日本原燃の瀬川です。すいません。香月。
1:55:15	日本原燃石田でございます竜巻の19。結局は
1:55:21	そこにおいて、湯屋外のいわゆる固定設備ですねそれに対する設計として語っているのが、19 番、29 番ワダタカトリウタ
1:55:32	設計飛来物以上の飛来物を出さないためにいろんな資機材とかを固縛すると言っているのが、29%、車両も含めてですけど、
1:55:41	それ移動して使う云々というのはもともと設計基準側では設備としてあまりいいと言っていないものを対象にしているのが29 番ではあります。
1:55:50	はい。
1:55:52	それを規制庁、はい。はい。
1:55:55	規制庁ノジマイチカワコウありましたで。確かにDPの方ではその資機材関係のものになってしまうんですけど、それを
1:56:05	気に井清のかは
1:56:07	ていうものをどういうふう
1:56:09	振り分ける。
1:56:11	で、私は考えてたのは、19 はその固定さ
1:56:16	アノなので上司
1:56:17	系、
1:56:18	19 番。
1:56:20	それ、そこ
1:56:22	外には置くんだけど、使うときには、

1:56:26	ばらしてっていうのは 29 なのかなと思ってたので可搬の屋外 2 コンテナとかで行うのは、やはり車両とかは、
1:56:35	29 だと思ってたんですけど、今そういう整理にはなってないのでちょっと私はずれちゃってるのかなと思ってごめんなさい、古作です。藤原さんちょっと。
1:56:46	一対一で対応つけなきゃいけないっていう意識でいるけど、そうしなきゃいけないんだっけ。
1:56:54	そうしなきゃいけない。
1:56:57	わけではないですが、
1:56:59	ただ、両方ともにで、
1:57:03	受
1:57:04	結局どう振り分けようとしているのかが、
1:57:09	文章としてもわからなかったので、
1:57:12	綺麗にそこを分けようとしているのか。
1:57:16	19 に行ってから、29 にいきます。7 日が、今、
1:57:20	資料の説明としては見えてない。
1:57:22	思って。
1:57:24	なのでそのあたりの考え方をちょっと整理したいと思って聞いてるところでした。
1:57:28	ごめんなさい。戸澤です。その上ではねやっぱり先ほどと一緒に、36 条の方で、どういう設計方針でいくのかっていうのを整理をすることがまず
1:57:39	入口だと思うんです。
1:57:41	その時に、当然固縛屋外でも固縛しますってのは当然で、
1:57:47	まずわあ、竜巻 29 のように、DB に悪影響を及ぼさないっていうことから、
1:57:55	そもそもこの設計方針を立てているので、これは適用しますと。
1:58:00	いうことが一つ。
1:58:02	なので、単純にここに飛んでいきますと、
1:58:05	いうことで一方で、
1:58:09	その場で使わないといっても、
1:58:12	過去、その後外して使えるようにしておかなきゃいけない。
1:58:16	という機能維持はあって、
1:58:20	そうするとその機能維持ってどういう設計にすればいいのっていう方針はまず 36 条で語らなきゃいけない。
1:58:27	それが、DB で言えば 19 番、竜巻 19 番になるんですけど、竜巻 19 番に飛ばしちゃうと、
1:58:35	その支店では、その場で使うしか出てこなくなっちゃう。

1:58:39	ですよね。なので移動させて使えられるようにどうするかっていうのは、おそらく36条で言わなきゃいけないんですよ。
1:58:46	行った上で、
1:58:48	D19に飛ばせばいいものなのか、何らかに行った上で結局木場空のところ、
1:58:56	そその支店も、だから、プラスアルファとして、
1:59:00	29に持ってけばいいということだとか。
1:59:03	いうところの整理なんだと思います。
1:59:07	ちょっと内容に応じて19がいいのか、29側でプラスアルファにした方がいいのかってのはわかんないんですけど、どんなもんですかね。今、それこそ、屋外にいるかは、車両みたいな。
1:59:19	その場で、環境条件、大変な議員。
1:59:24	ここは、このスタートを使えるようにそこで分もありますよと言っているものは、その手段が木場クラウドなんだろうと、19番預けてます。
1:59:34	ただ今は単純に固縛固定の話だから、29に降りますと言って振ってるんですけど、多分、
1:59:42	ナカ2個固縛だけで本当にいいよね、機能維持の観点でっていうところを、多分ちゃんと述べた上で、固縛の話はこうっていう話なんですけど、その責任はうまくできてないんですね。単純に私は飛ばすみたいな感じなんです、
1:59:56	そのスピードがちゃんとした意図で、
1:59:59	悪影響を及ぼさないってところは、単純に今、20分と飛ばしてイメージ。
2:00:07	はい。補足です。いずれにしても、36条でその辺りをちゃんと明確にしていたら、なるほどねっていう形で飛ばすと。
2:00:16	ということかと思い
2:00:18	ます。藤原さんどうぞ。
2:00:22	規制庁の藤村です。整理いただきありがとうございます。
2:00:26	この資料を見てる中気になってた多くの部分は、今の
2:00:34	クボさんあたりの部分と、ところの、
2:00:37	受
2:00:37	の29番の関係性だったので、
2:00:41	これ、今回のこのタイトウ
2:00:44	時の話もそうな
2:00:45	この資料って10、
2:00:47	9まで、
2:00:48	10件もこの資料でいきますかっていうのはどうされます。
2:00:54	日本原燃のセガワフタミシハラさんが回答に困っちゃうと思うんで私の

2:00:59	意思表示をさせていただきたいんですが、月曜日の
2:01:04	新たにですね、今いただいたコメントに対する考え方をもう一度再整理した、まさに、表のこの6ページ目までですか。
2:01:14	ちょっと後ろの方の
2:01:16	資料2の方の直してなるとちょっとしんどいんですけども、考え方の部分はしっかり再整理させて月曜の朝に、
2:01:25	最低させていただければなと思います。以上です。
2:01:30	規制庁の藤間です。わかりましたじゃ等、月曜日の朝一に、
2:01:37	夕方、
2:01:38	それまでのヒアリングが終わった後で、そのあと、こちらも、そのあたりの議論をさせていただくということで理解しました。私からは以上です。
2:01:53	とコサクです。
2:01:56	ちょっと今日の資料その文章部分大分、
2:02:02	いろいろと書いてあってわかりにくくはあるんですけど、今日話したようなこと、脳圧がいいをどうしていくのかってということがわかるように、
2:02:12	しといていただければと思います。
2:02:22	それですね。
2:02:25	どこでの気づきだったかを忘れてしまったんですけど、
2:02:30	そっかあれか。
2:02:35	そうですね。
2:02:48	ふうん。すこ。6ページの一番下。
2:02:52	アクセス性について溢水の内部ハザードに関する考え方は随時と。
2:02:59	なってて、
2:03:00	これわあ、そうじゃないでしょ。
2:03:03	ていうのを前のヒアリングでお伝えしてたと思うんですけど、その対応はいつになるんですか。やっていて、
2:03:12	3月の頭ぐらいにしてみましたけど、
2:03:17	考え、
2:03:20	ありがとうございます。はい。医師の方の事業でやっていて、
2:03:24	合わせてやらないと。
2:03:26	認識していません。
2:03:27	3月7日資料提出という形で、
2:03:30	前の本文に書いておりますそれも含めて、
2:03:33	はい。
2:03:34	追加。
2:03:35	はい、日本どうぞ。

2:03:39	瀬川です。少しだけ全く考えてないわけではなくて、どうしようかっていう検討をまさにしてる最中でして、
2:03:46	上の方に、操作性アクセス性っていうのは空間に対する波及影響っていう、大きな考え方に基づいて紐付けますと、いうことを宣言してるんですけども、
2:03:57	溢水っていうのはあんまり波及的影響っていう概念がそもそも基本設計方針で明確に現れていなくてですね。
2:04:05	どちらかというと、二つ目のポチのような、こういうばい煙が一空間に終わらせるみたいな観点で、それこそ
2:04:13	アクセス通路部だとか、防護区画だとかそういう区画空間に対する設計が述べられている。
2:04:19	というのが特徴としてありますそういったところに紐づけるのがベストかどうかといったところを、ちょっと考察しているというのが現状でございます。以上です。
2:04:31	社会の動向、
2:04:37	当然
2:04:39	方針として、
2:04:40	野瀬がありますので、そこら辺が明確になっていないところを今瀬川さんが、活性化の方が言ったと思ってますので、そこをきちんと認識、当然記載されているということを含めて、DB側も共通認識、
2:04:54	やらせていただきたい。
2:04:57	コサクです。
2:04:59	溢水が一番明確だと思うんですけど、加害者をSE支援ということで書いてあるし、被害者側対象設備っていうことでまず挙げて、その設計をしまとめられ、
2:05:11	配置、
2:05:14	そうすると、
2:05:17	明確だと思いますんで、
2:05:20	ご両名したりと対応付け、
2:05:25	SAIにおいてはそのときに条件つきになっている。
2:05:29	いうことだからその条件は何かっていうのはもうプラスアルファでやって、それをケースバイケース明確にさせていただいて、どの設備はどのケース、
2:05:39	いうことの中で、
2:05:42	いうことだ。
2:05:43	と思ってますので、
2:05:45	比較的グループにはSAの説明が多く、

2:05:52	UD、
2:05:54	今でも
2:05:55	うん。
2:05:57	今のSA側から、
2:06:00	どういうポイントを押さえなきゃいけないか。要は、Ss-Dで見てる設備だけではなくて、
2:06:06	部屋だったり、接続みたいな対処操作をする場所だったり、使用する場所だったり、空間アクセスルートみたいなもんだったりいろんなことを考えないといけないので、まず1回ちょっとテーブルに乗せて、
2:06:18	あとそれに対してどういうことを考えなきゃいけないのかっていう考慮事項も入れて、多分、
2:06:22	DGSNR議論しなきゃいけなかったところがなかなかセガワがうまくインプットが整理1点あったんで、対応がかみ合っていなかったのがスタートだったと思っています。少なくともそこは、
2:06:33	解消されると思っているので、はい、議論ができる土壌にはあると思われ ます。はい。
2:06:39	ちょっと今の話、古作です今の話聞いてて、
2:06:43	思ったのは、セガワさんが、
2:06:45	はっきりしていないと言ったのは、アクセスルートだったり操作性っていう意味での空間に対する防護っていうところは、DBのほうは設備の機能ってなっちゃってるんで、十分じゃないっていうことですか。
2:07:03	はい。日本原燃の瀬川です。
2:07:06	溢水は、すいません。今東京で議論された通りですね、ポンプ車な場所があると思っています。
2:07:14	その中に区画、区画だとかアクセス通路部っていうキーワードが必ず出てきますので、
2:07:20	そこにぶつけるんだらうなというところは思っ てはいるんですけど、
2:07:25	外傷とはやっぱりちょっと視点が違うなというので、ここで本日時点です ね、柿原瀬野を考えられたというのが実態でございます。
2:07:36	であれば次回、ちゃんとす、わかるようにしていただいて、ずれもあるで しょうから、議論すればいいと思いますんで、前から話したようにDBの 溢水側でもその空間の関係では少し認識を使った部分があって、
2:07:52	確かにあの文書化は不十分なんだと思いますから、どの部分でどうして いくのかっていうDB側の話を踏まえて、SA側がそれで十分なのかプラ ス、
2:08:04	αとして送るものっていうのを明確にしてということが必要なんで、次回 またそこら辺が議論できるよう、

2:08:38	さらっと。
2:08:40	この辺ですか。
2:08:44	いや、
2:08:47	BSM、
2:08:48	代表はさ。
2:08:53	江藤コサクです。ちょっと振り返りの前座ということで、
2:08:59	代表はす。
2:09:01	資料を少し整理をしてということですけど、一方であんまり時間かけられても、
2:09:10	根井イシグロさんが困っちゃう。
2:09:14	ことなんだろうなと。
2:09:20	何ですかね。
2:09:23	うん。
2:09:24	DSAが月曜に数枚物の考え方の整理だけっていうことであれば、
2:09:31	代表もその考え方だけでもう月曜日話を
2:09:37	多分、
2:09:38	私が言った通り書いてくれれば、
2:09:44	文章の浮力的なところで悩むところはあるんでしょうから、そこら辺は月曜日議論できる。
2:09:52	その上で、今日作りをしたり、ちょっとここ直そうかって話をしたりっていうのは、少し時間を算た方が確かにいいんだろうなと。
2:10:01	思うので、やっていただいてただそれも資料としてブラッシュアップする時間もったいないから、社内で議論して、
2:10:11	こういう視点でこういうもの金っていう意識ができたのであれば、それを議論できるだけのものとして作っていただいて、
2:10:23	来週中、
2:10:25	とかに、
2:10:27	議論できないかみたいな、うん。
2:10:30	スケジュール感で、
2:10:32	やらないと多分、
2:10:34	先ほど前倒しを考えながら順々にといったところのスケジュールもうまく引けないんだと思うので、
2:10:41	ちょっと考えても、
2:10:42	その上で、最終的に資料3まで、
2:10:48	どういうふうに、それもその3月の会合でどこまで、
2:10:51	その次どうするのかと。
2:10:53	ということがわかるように来週の

2:10:57	来週の進め方費用ってのあれじゃない、月曜日びっくりされたんですよ。
2:11:02	金曜日でいいんですよ。
2:11:04	木曜日ですね。
2:11:06	そっか、金曜日ですね。
2:11:09	ちょっと整理をしていただく。
2:11:11	もし何かほぼ振りましたけど、はいよろしくお願いします。
2:11:19	はい。
2:11:20	ミギタとなりますと、
2:11:22	それを見ながら、もう
2:11:27	ユフの説明フクイの評価の部分グローボックスのところですね。
2:11:32	今、資料提出審査会合資料と共通シートからまだ日付書いてある。
2:11:37	2月の会合に向けてという、
2:11:40	3月の会合に向けて、どういう資料をいつ出して、どういう、
2:11:45	ちょっと具体化して、
2:11:48	うん。
2:11:49	うん。
2:11:53	え。
2:11:54	は、代表の話は先ほど、
2:11:58	資料4含めて、全体アンドウ考え。
2:12:04	はい。
2:12:08	再処理MOX、
2:12:10	再処理とMOXも合わせて、
2:12:13	考えると、いうこともそれをどういうふうに整理をして提示していくか、グループROVですかっていうところをちょっと考えては、
2:12:22	はい。
2:12:29	資料3。
2:12:33	話で、
2:12:35	飛ばしてない。
2:12:42	火曜日。
2:13:13	あ、ごめんなさい、補足ですかね。今のグループ1の話でいうと、
2:13:18	まず一番大きな代表性って話は、今回、個別で出されたからいいんですけど、
2:13:24	それ以外にも幾つかありませんかっていうのを、今お話あったところで、
2:13:30	1921ってことですか。
2:13:34	私は、日本原燃、
2:13:38	ユキ1というのは、

2:13:41	資料 3 の、
2:13:43	前回、推進企業に、
2:13:45	無回答という形でお出しをしたんですけれども、そもそも必要な事項が全然書けないというところを、社内です、社内です、社内です、
2:13:58	改めてどのような形で、どんな内容っていうものをですね、例示とともに示そうとしていたものっていうのは、はい。21 年とですねそういう意味であれば論点もれなく一通り
2:14:13	これを解決していけば、
2:14:17	審査会合で、
2:14:20	まとめていけると。
2:14:21	いうところの案件抽出がされ、
2:14:25	対象方針として、3 月までにここまでやりますとか、その先に少し違うありますとかっていうのがわかるようになってくると思っていいですか。
2:14:36	人間のイングリッドです。その視点を、
2:14:40	考えてはい、お出しするようにしたいと思います。はい。どこまで明確にできるかはあれですね。
2:14:46	少なくとも、す。
2:14:49	21 は水曜日っていう、はい。
2:14:54	そこら辺がは話をしたいなと思いますので、資料の記載ぶりはともかく、
2:15:00	そういう議論すると思って、アノ社、
2:15:02	議論して、
2:15:04	逃げる所です。承知いたしました。
2:15:11	はい。
2:15:13	日本原燃阪井でございます。説明グループ 2 の方はですね、2 点、衛藤、これまでヒアリングで説明している個別候補
2:15:22	については、体制を強化してですねST内でも、
2:15:26	行つての設計とその考え方を十分整理をした上で資料提出するということ。
2:15:32	お示ししましたがどのタイミングでヒアリングを行うべきかというところで、かなり期間がありますので、そこを適切、適正化するというところで検討させていただきたいと思います。
2:15:45	DSAに関しましては先ほどの議論でありました通り考え方というところ、本部の数字というところで早急にやらせていただいてグループ 2 という形での全体の評価というところについてはまた、それも含めて
2:15:59	見て 3 月 7 日で今は結果資料提出、14 日で、
2:16:04	記載しておりますのでそれを適正化っていうところがあればさせていただきたいと。

2:16:12	以上でございます。
2:16:14	はい。
2:16:16	一番関係。
2:16:17	でございます。次回の審査会合で、ご説明するというふうに今日書いております。基本設計、教育マナベの設計の、
2:16:28	適用モードについて舞台、どういうふうにご説明して何も、何を、議会、議会にご説明するかというところのご提言話が、また今日できてなかったというふうに聞いてございます。ここ。
2:16:41	整理して、これを定義するのが時間一緒であるというふうに考えてございます。大きくは以上でございます。
2:16:51	はい。
2:16:53	営業センターの資料は当日の朝ですか。
2:16:57	ですよね。
2:16:58	資料作るとしたら、それと直前、
2:17:01	月曜日、10-1、
2:17:07	はい。はい。はい。
2:17:10	作りこみしながら、それを遂行するっていうのもあるかもしれないですけど、
2:17:17	わかりましたじゃ、
2:17:23	はい。
2:17:28	よろしいですか。
0:00:01	規制庁菅です。午前に引き続いて午後会合資料、
0:00:07	一番、
0:00:09	再開します。
0:00:11	資料出てきていて、ねえ。
0:00:15	前半コメント回答みたいところなんですけど、どちらかというと、
0:00:22	進捗があったと。
0:00:24	ていうと、4ポツ1。
0:00:30	そうですね、4、
0:00:32	都丸。
0:00:33	ずっとないんですっけ。
0:00:40	規制庁。
0:00:42	7ページ以降ですか。この辺りの、
0:00:45	結構、
0:00:47	はい。
0:00:49	はい。
0:00:50	ええ。

0:00:51	そしたら、はい。説明会。
0:00:53	ます。衛藤さん 17 ページ以降の、6 ですけどもこれちょっとステップ 5 というふうに書いておりますけれども、前回のゴコウⅡに相当する、
0:01:05	しっかり地盤の特徴と時間も構造モデル設定のアノウアノウに江藤層とするものでございます。ちょっと章番号がバラバラすると、役職なのでちょっとステップ名をつけさせていただきました。
0:01:17	ですね。ここで、今回ですねお示しておりますのは、周辺を含むグループについて、
0:01:27	一定のいわゆるas-isっていう
0:01:31	言い方をしますけれども、それが一通りのところをですね、まずご定義するというのがこのミッションにあるというふうに考えて今回まとめてきております。
0:01:42	衛藤さん 18 ページのところでは、えんポツリポツリぽつでポツのそれぞれの要素につきまして、このですね、設定の考え方を、
0:01:52	お示しいたしまして、とですね、概ねノダ考え方のところはこれまでお示したところでございますけども、おそらく今回ですね、重点的に、
0:02:03	ご確認いただかなくちゃいけないのは減衰のところかなと。
0:02:07	いうふうに思っております、40 ページのところはCポツ、岩盤部分の減衰定数に係る検討を複数手法による提案整理ということで、まとめてございます。
0:02:19	で、このページです。はですね、このですね、散乱係数最良減損両方が考慮された、データとしまして金さん肥後の説明。
0:02:32	はい。はい。はい。
0:02:36	本当。
0:02:37	はい。
0:02:38	もう少し端的に。はい。
0:02:40	ということで、資材費大井肥後のデータの整備をここはお示しているということで、右下のグラフがそれを表しているところでございます。そういうところ以降、どうぞ説明したいと。
0:02:55	はい。
0:02:56	はい。
0:03:06	で、今回のそしたら、
0:03:09	41 ページのこのグラフの赤の線が、それは堂々作ったのは確かなんですか。はい。規制庁の瀬川ですけど、そういう意味では、その前の方でさ、質問回答、これうちで後で見とく。
0:03:23	はい。
0:03:24	はい。土橋委員長。はい。

0:03:28	そうそう。
0:03:33	40
0:03:35	41 ページ。はい。
0:03:41	そう。
0:03:44	吉井。
0:03:45	34。はい。
0:03:59	この人も言ったけどさ。
0:04:01	ねえ。
0:04:02	データを共有する範囲って何。
0:04:06	恐竜って言葉がさ、はい。
0:04:18	ハイ共有ってどういう意味。
0:04:21	話。
0:04:24	としてはあれねもともと等、グループを、中にグループ分けたわけですがけれども、グループ間でデータ共有するっていう規制庁ですけど、審査会合、
0:04:37	読み直して、どういう表現する気力セのときだから、そういうてるんでこれもね、教育っていうのはね。そういう、
0:04:48	ていうか、一緒にしてもいいかどうかっていうのは実はこの前ややってるんだよね。その結果なんですよ。そうですねはい。はい。だから共有デモはどういうじゃないって。
0:04:58	あれじゃない。同じ論の、はい。地下構造として扱うっていうことなんじゃないですか。はい。そうですねはい。根井。
0:05:07	そうするとその 5 時 14 中なんだっけ。こっちでも個別に扱おうかっていうかさ、ここでも最終的にね、地下構造をね、
0:05:19	こういうふうに分けるなんだろうということなんじゃないの。はい。
0:05:24	これ、これ結論だよ。
0:05:26	最終 12 で、ある程度仮定したところもあって、はい。データ見たら、
0:05:32	この辺はもう一体だよ。一緒だよ。ただ、結局プレスは地下構造なんだろう。
0:05:39	萩原さん。
0:05:40	この間も言ったんだけどね。
0:05:46	このさ、理解しておかないと、言葉遣いが全体的におかしくなっちゃうよと。
0:05:52	なかった。
0:05:55	つまり、
0:05:58	時期が単年度の間も言ったけど、はい、続きました。

0:06:07	いえ、もって、また何か 4 ぽつとかこうコストも合わなくなってるのは何で合わなくなってるんだっけ。
0:06:16	新しいシステムを使わないでそれを前の要綱とステップ 4 という言い換えっていう統一。
0:06:22	なくならないしたっていうんですよ。
0:06:25	規制庁、菅野合わせてください。何をたたえたっけ。
0:06:29	ニイタニコウノイシイちゃいけないでしょ。2 ポツの信頼性がコマタ海田変わってしまってるやつなんだからさ、ね、コメントを、これさ、常に、
0:06:40	ね、これ最後が全部完成すると、最後のやつで、全部それが資料になっちゃうんだ。
0:06:48	でしょ。こういうのを入れちゃうと、これとこれとこれ見ないと。
0:06:52	わかんなくなっちゃうんじゃないでしょう。うん。だから全部上書きしてね、指摘事項にも回答も上書きすると、最後のセット版がそれだけ見ればよくなるでしょう。
0:07:06	そ、そういう点でいきますとすみません今回多分その方がいいんだよね。スポーツの中にもコメント回答も入れて、2 ポツは信頼性を置いとって、3 ポツにデータの割り振り入れて、4 ポツに分析、
0:07:17	で説明してくれば、指摘事項に対する回答っていうのは、別途作っておけばいいじゃん。はい、わかりました。そもそも多分 1 だよ。
0:07:25	ちょっとアノナガタでございましてはい。
0:07:29	そうしないと最終的に資料いっぱい見ないといけなくなっちゃうじゃん。
0:07:34	うん。でもこれがさ、ね、説明用の資料の、
0:07:38	募集体制に最後になるわけでしょ。
0:07:42	その方がいいと思うと、こういうこともできないんじゃないと、そこでちょっとすみませんいただいたご指摘プラス、そうずっと 4 ポツなんかのデータの
0:07:52	結局あれは、3 ポツで割り当てたということでこう分析されてそれを同じやつも再掲したりとか、或いはカリヤマから最終的にはそうなんだけど、審査会合みたいなやつは、時にはそこを割愛しといたって、
0:08:05	議論しないんだったらそれはいいんだけどっていう。
0:08:10	わかりました。乗っけるだけだったわけですね。はい。そんなめんどくさくなければそれでもいいっていう、その方が。はい。特にサポートの割り当てなんかもつけとつけた場合、ないところは、
0:08:24	私、基本は全部つけといた方がいいですか。だからどんどんこれ繰り上がっていくんで。はい。つける付けるもしくは 3 項の方で、別紙 3、また、
0:08:35	それはそれ見せ方の問題だから、最後のパパツというか基本はつける、毎回つけばいいんじゃない。

0:08:44	そういう点ではすみません今回、2 ポツのコメント回答って入れてしまって、これ、1 ポツに戻してにを信頼して、3 ポツは割り振り、4 ポツで分析して5 ポツの集約、
0:08:54	6 ポイントでas-is作って、7 ホデ設計、これはもう踏襲したいというふうに、資料じゃないのかなと思う。これ、つまんない話かもしれない。
0:09:04	はい。わかるよそうそう。
0:09:06	はい。
0:09:14	成長
0:09:15	じゃアノさん。
0:09:16	この資料で言う3 ポツの話をちょっとしちゃったんで、それで33 ページのその、
0:09:23	フジイ 16、36、14。
0:09:27	の、
0:09:28	ところ。
0:09:29	どうするのっていう方針があったと思うんですけど。
0:09:34	吉井。
0:09:37	神野でございます。ここはD10、当時14 グループといったところですけども、本整理においてこの三つのですね、建屋それぞれの一つの
0:09:48	グループ的な扱いとして、分けて考えるということで、これこの割り振りをですね、訳か。書いておりますけれどもここで、
0:09:58	えーとですね、前回からの変更点として、特出すべきところといたしましてはアノシノコウノイソダ検層、ここのデータ割り振りですね、これは事業力がある給与でGサンゴ6が、
0:10:11	ご協賛ですけども事業については、R593 とある五級よこれあの二つをこれからで考えると、こうやって考えるといった形で、を設定するといったような整理でここを記載するところでございます。以上でございます。
0:10:26	はい。
0:10:27	それは前の資料見たらわかるんですね。何でそうしたか。
0:10:34	衛藤シノハラのエザワ検層についてはここのですね、前科の少しちょっと変な時にも議論させていただきましたようにこれ断層を挟んでですね、
0:10:45	24 については上盤側と下盤側の地盤が入りまじってるという箇所に相当するのでこれ、この大江さ検層のデータの適用としては上盤側を適用した場合、下盤側を適用した場合と、
0:11:00	いったようなところで、整理を二通りでやって、見ていこうという考え方に基づいてこういう設定したということでございます。現にオカです。カセで

	すけど、ちなみにそちらの考え方 28 ページの方、資料を新たに追加しては、
0:11:21	多分、
0:11:23	次需要両方やってるから両方の両方ができる。
0:11:31	はい、規制庁ですよ。
0:11:34	当間。
0:11:36	28 ページの上の図で、
0:11:39	どちらかという下の方の図のところのピンク色の点線をご覧いただければな、28 の種豚図だけ見ても、両方使うべきかどうかってわからないです。
0:11:50	なのではいおっしゃる通りで、はい上の断面図の傾向を見たときに、はい。赤枠で書いてる通り、14 というのは混在する。
0:11:58	なので、そこはもう両方見ましょう。
0:12:00	になります。
0:12:02	規制庁、山下アノ。
0:12:05	その辺が、あと、追加したものは、これは追加だだなっていうのは、
0:12:10	いまいち明確でないので、うん。変わったところ、そうです。
0:12:14	わかりました。
0:12:15	前回、
0:12:17	とりあえずね、
0:12:19	はい、元オガセです先ほどの話で 1 回、前回と同じ構成で踏襲することなのでそういうふうにしますと当然前回からの追加部分ってのを多分示してあげたほうがわかりがいいと思います。
0:12:28	そういうふうにします。
0:12:30	はい、規制庁。
0:12:31	わかりました。
0:12:32	ニシウラサンポオザキ清木して、4、
0:12:36	いえ、技術、いや、まずは 38 ページで、
0:12:43	方針が書いてあるじゃん。
0:12:52	中身をまた読んでないんだけどね。そうするとさね。次、39 ページがいきなり C ポツになっちゃう。
0:13:03	はい。ポツっていうのがいるんじゃないのか。
0:13:08	はい。野本です。
0:13:13	算はこの後に、
0:13:15	記載するんですけれども、
0:13:18	ですねだからさ、ね。そうし、その方がいいと言ってる。
0:13:24	うん。

0:13:26	すいませんちょっと 38 ページで、宿題を残してるのがCポツ、ポツ、bポツ、ある所完結してしまってるんで、そこはわかりにくい。
0:13:38	38 だけでも 38 でもAPDは、
0:13:43	終わらして、そのつもりです。いや、でも渡した結果っていうのが読めないかっていう。だから、結果だけだ示していくとまず方針なんですよ。
0:13:53	方針があった結果がいるけど、結果がずっと飛んじゃってるけど、これはさ、まとめなんですよ。47 ページみたいなのは、
0:14:01	下の方です。ちょっとですね、方針の内数として 39 ページからシンボツの方針をですね具体的にちょっと述べないといけないので、という構成。
0:14:12	つもりで言ってるのはCポツが出てきていいんだけど、Bはないので、いきなり次にしになっちゃってるでしょ。はい。はい。規制庁、菅ですけど、33 ページなんかを、
0:14:24	35 ページなんかを持ってきたって、
0:14:30	これはもう、
0:14:32	へーコツはもうすでに、
0:14:34	はい。ステップ 4°Cまとまってるでしょ。うん。
0:14:38	Bとまとまってますよね、減衰だから、そこをまとめますよみたいな入口をしたら、
0:14:45	違うんだよ、これだからさ。
0:14:48	例えばさ、35 ページの話がくるわけでしょ。
0:14:55	はい。
0:14:55	なんですよ。参事、っていうのはさ、これはさ、データがこうあるけど最後の赤だけになるわけでしょ。はい。はい。そういうのがあるわけだよな。
0:15:06	ね、この 38 ページには、平均化した物性値を設定するとかサトウとか書いてあるけどサトウってなんだっていうのもあるけど、
0:15:15	多分この結構さ、ねこれはもうコウ所イシイなるとね、まだね手順があるわけだよな。
0:15:23	だからね、たくさんなってね。
0:15:26	いいわけだけど。うん。ていうことなんじゃないのいずれにしろだからAPの順番でやってくださいよ。わかりましたけども、38 ページは我々方針とか、
0:15:37	ですから、管理課おっしゃるやれば行くと、結果というのが、
0:15:42	西来たちましたので、白尾させていただきます。
0:15:52	強い。
0:15:53	39

0:15:55	で、4 中の話で結論は何なんだ。
0:16:01	はい。玄長瀬 40 の話といたしましては、いわゆる材料減衰だけを、わかってるから結論は 2、結論結論としては、
0:16:12	地盤の実態としては非線形性があります。
0:16:17	うん。
0:16:20	そのまとめは、
0:16:22	何だ。
0:16:26	立野です。ここの場で、これわかんないんだけど何でいきなりさ 40 ページにさ、次 14 とかって出てくる
0:16:40	いや、この話はどっかで話してんだよ。
0:16:47	ただ全体の中で、どこの話をしてるんだかわかんない。全体の話してるのこれ、おっしゃる通り、日本原燃の先生おっしゃる通り、全体のこと、いやだからね絶対値と個別のやつを、
0:16:59	分離していかないといけないんだよ。
0:17:03	わかりました。元に戻すこちらでまた 38 ページに戻るわけじゃないんで、38 ページにはすべてのものに対して、この考え方でやるんですと。うん。
0:17:14	そうすると今度すべての考え方でね、次からは何の話してるの。
0:17:20	すべてなのこれ。
0:17:23	41 ですか。よろしいですか。3930。
0:17:29	だからニシナヨシモトザイゼン、タダアノ全体なの。
0:17:36	そうですね。
0:17:38	江田。こっからだから個別にしないとけないんだよ。うん。
0:17:42	うん。
0:17:44	じゃないなきやいけない。はい。
0:17:49	問題、何百回も言ってるんだけどね、1 回位ねえと地下構造はもうこの何種類ですと。
0:17:57	ね、区別したのがねステップ 4 のまとめなんだよ。だからもう独立してんだよ。
0:18:05	同じ敷地内であるけれども、もう隣は見ない。
0:18:10	違う。
0:18:11	はい。
0:18:12	根井。
0:18:12	でもね、大きくりな方針としては一緒だからっていうだけなんだよね。あとはもうね、このエリアに対してをしてくっていうのを、
0:18:24	ね、整理してただけなんじゃないと。
0:18:27	はい。

0:18:31	そこが違ってるのは正しいです。全体伸びてからそれに基づいて個別をそれぞれ先生全体は何を述べたい。
0:18:41	はい。で、全体としての、そうですね。
0:18:45	今おっしゃったところで言うと今 40 とか 40 とかがその方針と結果と一緒にちょっと変えてやってるところというのは、若干ありまして、ありますので、
0:18:55	はい、ケツクツシマ、これ全体で区別されてるわけだよな。
0:19:04	そうですね。
0:19:06	繰り返し同じことがあってもいいんだよ。うん。うん。もうそうやってさ、やってた方が、
0:19:13	説明の資料としてはね。ていうか、わかりやすいね。もう、或いは場所地下構造を、
0:19:19	予定していくわけだからね。
0:19:22	その方がいいと思います。だから 38 でも全然話し終わってしまっても次は個別でそれぞれ述べているという。だから、今回の、
0:19:33	ねえ、岩盤部分の物性値は、最後どれなんだよ。
0:19:41	郷セイノ引地自然形成はどれな。
0:19:43	はい。
0:19:44	ていうふうにしていけばやって、イシイはね。一発で決められないから、ここに手順がいるわけだよな。はい。
0:19:53	ていうことなんですよ。はい。
0:19:58	だからこっち 2 番目んなったら、うん。平成の仕事と同様にとかってさ、書いていけばさ。
0:20:05	今度だからそれで 441 ページなんですよ、まず 41 ページ気に入らないのが。
0:20:13	結果がもうここに載ってんだよ。ありえないよね。
0:20:20	だからそれぞれの結果がいるんじゃないの。
0:20:23	で、ここにまたさ、S波検層の結果がいっぱい載ってんだけど、S検層の結果は皆さんどう見る。
0:20:33	ここは、先ほどドイツの 2 番としてみなすことの、
0:20:38	目指すこととしたところのdたのみを使えるような、はい。平均なのか。
0:20:44	ね、平均もん何もじゃなくて、全体の流れで、
0:20:50	見ていくのかとか、
0:20:53	だってよそはさ、例えばね、岩盤のさ、Vsなんて平均とってるじゃん。
0:20:59	ね。ここは平均なんですかっていう
0:21:02	だから、どういう手順でこの曲線引いたんだよ。

0:21:07	はい。現在のカセです。こちらにつきましては、取れてる個別の、エサ検層のデータと、あとそのリニアの同定結果をちゃんと周波数を踏まえて、
0:21:17	それらを同列に扱って、横、1本引いたという形になりますから1ヶ月平均数じゃなくてですね。はい。
0:21:32	だからここでリニアとバイリニアはここではいらぬのね。
0:21:38	そうですね現在のイマセです。はい。なんで、そしたらもう、これから先バイリニアが出てきちゃ駄目よ。こここの整理のときに、今有山が答えてるのは、この間ね、うん。
0:21:55	おんなじような話をまた出たんだけど、いや、別にいろんなやり方あるっていうんだよね。結局ね。そうね。途中区切るけどね。
0:22:07	まずね、リニアは向こう違いますでしょ。はい。根井タダバイリニアだってここは関係ないからね。
0:22:15	はもう、ここにいろいろあるデータをね、
0:22:20	どうするんですかっていうのをまず平均とりますと、はい。
0:22:25	ていうことを、
0:22:26	はい。
0:22:27	仮にしたとすると平均だから、1本なんだよね。こいつとこいつが少しずれてるとかね。大分でしょ。バイリニアの曲線があって、ずれてますと。
0:22:38	うん。ずれてるところを、綺麗に直線で最後つなぐんですと。はい。
0:22:45	なんじゃないのかね。だからこの曲線っていうのは、どれ、どれを考えた曲線なのかっていうことだよ。
0:22:53	こんないっぱいあるやつを、もうこいつをどうこれで曲線作ったの。
0:23:01	ね。
0:23:04	で、こいつがわかんないから綺麗に、ここにうまくフィットするように繋いだんですっていうのもあるしね。まず、こいつ、このデータはコンピューターでね。
0:23:14	同じだとみなしたわけだから、平均とりましたと、例えばね、ていうところでこの黒線と直線とこの直線がうまく繋がるように、
0:23:26	こういう回帰しましたとかっていうとか。
0:23:31	何か幾つかあるんだけど、それはどうしてどういう考え方なんですかっていう。
0:23:39	だからここにね、
0:23:41	が結構高ポイントなのよ。うん。なぜ曲線なんだよ。
0:23:52	だから、何て言うと、角谷線が引けたのよ。担当セキのものですけども、これはだから、もうここに今書いてある。
0:23:59	ここに書いた周辺ですとかFの合計の平均にすりつくような、

0:24:05	曲線を設定して、
0:24:07	なんでしょ。はい。ね。だから、基本的にはまず平均なんだよね。はい。
0:24:12	じゃないと、それぞれの平均を結んだとそれぞれの平均っていうのは、ここに平均はないよね。うん。それはもう一つの回帰会議といいますかね。それはだから日本、
0:24:23	バイリニアは個別なんでしょ。それで平均してないね。はい。はい、そうでしょ。だから今この話はしてなくて、ここの話だけしとけばいいわけだから。
0:24:34	僕はやったことはまずね、いっぱいあるやつを、
0:24:38	これ平均とったんでしょ。
0:24:40	なんでしょ。そうですね。
0:24:43	下限とかじゃないんだろこれ上限じゃない、平均とかそれぞれに、そうですねはい。だからこれへとりましたってやつから始まってんじゃないの。
0:24:52	ね。そうですね。
0:24:55	でしょ。
0:24:56	まず平均とりましたから始まって、そうするとね、
0:25:00	こういうものだけがまず存在するわけだよね。
0:25:04	うん。
0:25:05	ね。
0:25:07	まずはS波検層がこういうふうに整理しますと、今度それに次のステップになったときにね、
0:25:16	この平均と、
0:25:18	倍日後、リニアか何かがコウ。
0:25:22	あたりするわけでしょ。
0:25:24	ねえ。うん。でもここ、これも使ってないのね。うん。今ね。
0:25:30	何で使ってないかわかんないけどこっから先はもうじゃこいつ登場しないよね。
0:25:39	こいつとこいつをなぜこうね、
0:25:42	曲線で偉い描いていいんですかっていう問題だよね。うん。なんでね。
0:25:52	局別、ここの左と右をつへとつないだものが、
0:25:58	この議案の5000万円だというような考え方に基づくと、いや、これ、連続はいはい、家田長くつなげていいの違うじゃない。
0:26:09	はい、元オガセですけど持っているところとしては信託区間見たら短周期側へ3件、短周期側での債券層しかいいデータになってないわけなんです。で見た時に、やっぱり

0:26:21	0.1 分のちょうどつなぎのところで稟議より先にそのカナダから、だからこれは実は書き過ぎてんですけど、大きいはずです。はい。
0:26:30	はい。こういうことなってるんだよ。はい。
0:26:32	そうですね。
0:26:33	そうするんですね。うん。
0:26:37	これがちょっとオンダイシイただけだね。
0:26:43	ね。
0:26:43	その次のステップをどういうふうにしてるんですかって、なぜこいつはつないでいいんですか。
0:26:56	こないだお話ししたじゃんさんざんぱら。うん。ね。
0:27:00	根井。
0:27:02	こんなふうになってると。うん。
0:27:05	ていうことでしょ。ここは違うよねと。
0:27:08	ね。そんな時にね、もう 1 個、この辺にこういうね、対処方法があったり、
0:27:16	でね、さらに言うと、ここ、こんなようなやつがあるわけでしょ。ね文献値があつてね、全体的には、こんなね、
0:27:26	傾きを持ったものっていうのがね、あるわけでしょうね。
0:27:33	だから本当はここでバイリニアもう生かしといた方がいい会社、そうですね。
0:27:40	なのでね、もともとこういうふうなことになってるからね、信頼性があるデータをお上手に、
0:27:49	つないだものっていうのがね、それに近いものになるんじゃないかなっていうことなんじゃないの、説明客でした。
0:27:57	OKこないだこれ、この話をずっとやってるんですよ。
0:28:02	なのになぜね。
0:28:04	だから、何か変えたんですかっていうことなんですけども、実際はそうじゃないんだよね。実際はあそこつないでもいいというのが、他のね、だから、
0:28:14	いえるわけでしょ。はい。うん。
0:28:17	ね。
0:28:18	バイリニアもそんなにおかしくないしね。あそこがね、両方重なってるところの情報っていうのもあつてね。
0:28:29	まあね、文献から見ても、この式だと、少しくうね、
0:28:34	カーブを描くようになってくると。なので、この二つを、こういう考えで、
0:28:42	うまくフィットするように、
0:28:45	甲斐希衣をセットしたんじゃないの。うん。
0:28:50	はい。

0:28:51	そうですね。ここが最も重要な理屈付けなんだよね。
0:28:56	ここはだから最重要ね。
0:29:01	で、この結果、
0:29:03	結局、
0:29:05	こんなふうには、これはなりましたと。
0:29:09	ということだよ。
0:29:11	はい。
0:29:14	で、これが結果なんですよ。うん。はい。根井。
0:29:20	違う。そうですね。この次にもう1個ね、ちょっと入れるとしたら、この結果っていうのは、まあね、リニアと梅林の間ぐらいには入ってますよ。
0:29:32	という程度だよ。はい。こいつ入れてもいいんじゃないかと思っただけだよ。
0:29:39	輸送、そういうことじゃないですか。うん。
0:29:43	そう。そう。そうですね。
0:29:46	ちょっとそこでやっぱりそのリニアが下まで延びちゃってるっていうところ、ちょっとあれがあるんですけども。
0:29:51	今言った数採石場の話だね。その連続性っていうのが、他の文献等に担保されてるっていうところですね。それを連続させた曲線でも、今回の減衰というものを取り扱えるということになりますね。なるほどね。ここはもうあんまりいらぬ。
0:30:07	メイン作るとか、環境上の中で、もうね、やっていきましょうっていうところが重要です。その結果こういうのが出てきますと、今度は出てきたら、
0:30:18	ね、これがいかほど結果としていいかっていうのが、伝達関数とのフィッティング名護屋
0:30:26	もともとの伝達関数とのフィッティングだからね。
0:30:30	ここにリニアの結果とかバイリニアの結果が、照合してる自体がもうナンセンスなわけよ。
0:30:38	じゃない。
0:30:39	もともとのやつと比較しないといけないんだよね。
0:30:44	これが全員をじゃないんですが、
0:30:50	でもなんでこういうことになっちゃう。
0:30:52	ちょっとこのところの考え方がちょっとずれてただけで後の方は、おっしゃるように、そういう形です、この話を前回ずっとここ、
0:31:02	皆さんと、
0:31:04	何か確認したんじゃないかと思ったんだけど、気のせいだったね。
0:31:10	あ、いいですか。うん。九州電力の明石でございます。特に41ページ

0:31:16	やってることは今管理官からお話あった通りで前、この前の話も踏まえて、そういうふうに理解しています。
0:31:25	ただ、ちょっとこのページすいません、どちらかというと、私がちょっとコメントして、相当引っ張ったのみたいなのを、もう簡潔にさせちゃったところもあるんですけど、
0:31:35	これだけ先に結論がきちちゃってるんで、そもそもおかしいわけ違うんですね。
0:31:41	このね、三つの
0:31:45	ね、三つのデータと、あとついでに、文献も、ここに入れ込みたいわけでしょうっていうのを使って、一つのね、減衰値を、
0:31:56	推定するわけだよね。
0:32:00	でしょ。でも、この時点ではまた推定過程でしかないわけだよね。
0:32:05	最後一応止めで、伝達関数のピックアップ見てもそんなおかしくないからね、この地盤の。
0:32:14	ね、地下構造の減衰としては、こんな感じですかというそういうことなんじゃないの。
0:32:24	シナリオ的にはですね。
0:32:30	理解は、
0:32:34	そうですね。おっしゃる通りです。それじゃ、何が違う。宮城ですけどもおっしゃる通り我々それを引いた後の検証で43ページ変なところで使ってる、使うところマツオてます。
0:32:48	作る時に検証だって作る時に、
0:32:51	結果を確認するために使うんじゃないくて、作るときに使うというところが、今回出てきた資料の少し違うところ
0:32:58	でそこを理解しましたので、
0:33:02	作るときにこの文献であるとか、アビルアベニイツホソノ全部使っていく。
0:33:06	それ、作った後の、そこでそうずれてませんねっていうところを作ってるこれは間違いだと思う。
0:33:12	理解いたしました。
0:33:13	結論的には41ページの赤線になると思うんですけども、
0:33:18	その設計のプロセスが、山根の三つ名ぐらいから書いてあるんですけど、ここが一番の肝になる。はい。設定として、今言われた43ページ。はい。
0:33:31	その前にそのテストマーケットである課長であって、伝達関数で43ページの既往の傾向、これは直接、
0:33:40	ということで、赤の線が引いてますよと。

0:33:44	さっき管理課言われたのは 40、
0:33:46	4 ページ、伝達関数を比較するっていう方針にあるんですけど、この段階ではもうアカシか。そうですね。あれ、必要ないという感じですね、アトベつ野瀬んだよね。
0:33:59	もともとのね、ターゲットスペクトルというかね。ターゲットとなるね、伝達関数があるんだよね。
0:34:08	ないんですね。
0:34:11	はい、わかりました。記録のデータを、これは、
0:34:16	議事電力の明石です。44 ページの示し方これちょっと私も含めてここは勘違いしてました。
0:34:22	もう、こういう感じであれば、ぜひお話をさせていただきます。
0:34:28	私の頭に残ってたのがそのリニアバイリニア。それで、もうフィッティングすることが確認してるその間に行って、フィッティングアノ入ってればおのずとフィッティングするよねという。ということで、もう前段でこのぶりにバイリニアをフィッティングするってのは、前なんかは赤前にある。
0:34:43	で、あとはリニアマニアの間にあるし、伝達関数を見てもフィッティングするし、まあいいよねということでまとめた、どうだというふうにしちゃってるんですけどちょっとそうじゃないと私が勘違いしたらちょっと今理解しましたんで、
0:34:57	あとね、毎回言うんだけど、
0:35:00	これね最後まで、データの信頼区間がつきまとうんですよ。
0:35:06	それが一切抜けちゃってるんですね。
0:35:09	IP河津 データの信頼区間っていうのは、
0:35:14	トータルで見たとしても、S波検層の収集機体から、これ何 1Hzまでなんだよ。
0:35:29	それ以外のところはデータに信頼区間がない。
0:35:35	なんか伝達関数の比較なんかも含めてみんなないんだよ、これ。
0:35:39	その部分が、はい。湊村瀬です。だからそれをちゃんと明示しないといけなくて、だから、地下構造のモデルの最後の最後までいっても、全部これはつきまとっている。
0:35:58	これがね、ずっとつきますんで、
0:36:10	全体全体像としてはそういうことかな。
0:36:15	はい。
0:36:17	いずれにしろ、
0:36:18	この部分が大事で、あとは別冊関数になると、最後はチェックですよ。
0:36:27	で、伝達関数のあれは、この間ちょっと、
0:36:32	計算で入れる。

0:36:34	入れる、この直線で計算してる。
0:36:40	うん。そうですね。
0:36:43	直線式をそのまま入れたり、
0:36:49	それで、
0:36:53	全体はそんな感じ。
0:37:02	感じですけど、
0:37:04	その基礎資産作つとるまで出すっていう話じゃなかった。
0:37:09	ここまで来ました。
0:37:12	その 47 ページまでが今回、
0:37:18	そうそうそうそう。まだそれでここまでABCDが、これはこれでいいのね。それをまとめが今度 47 の話でね、まだ 47 の話聞いてないんだけどさ。
0:37:33	47 ってそれからまたわかりづらくなってさ、NSとEW断面って余計なのがいっぱいあってね。
0:37:40	これ。
0:37:45	物申ただけでいいじゃん。
0:37:48	むしろね。
0:37:49	三野です。はい。そうですね。場所はもうすでに述べて、グルーピングひっかえした後の話なのでこれがオフィスの情報かといえば、
0:37:59	そうではないということかというふうに思います。
0:38:05	このアシダオクって何。
0:38:13	はい。現在、これはグループに属する建屋を囲むんですが、すみませんここは本当は、あれですよ。周辺とか、同じ地盤でくれる組にちゃんと更新しなきゃいけ
0:38:25	していないという、
0:38:28	何でFAとかまでは広げないといけない、多くなんか要らないんでしょう。
0:38:35	いやだからそれしかさね、図面載ってこないんだから、それしかないですよ、むしろそれが全部載るんですよ。はい。
0:38:44	はい。根井。
0:38:45	それでね、断層なんてもういらなんでしょう。この人たち断層の上に乗っかってないんでしょう。はい。
0:38:51	はい。
0:38:52	そうしないとモデル化に繋がんねえじゃない。
0:38:57	だからもう、この辺はモデルといったところ、あとさ、SHAKEの成層地盤でやっていい問題だって、実際にはさ、ね、厳密に発生するわけですよ。
0:39:10	地下のさ、方の、これ下はさ、ちょっとちっちゃくて見えないけど、

0:39:15	ちょっとどこまでこれ、
0:39:19	こんな
0:39:19	タダちかも全部切ってもいいぐらいなんだよ。そう。途中からそうですね。オオキない。わからない。そうですね。そうですね解放基盤できればいいんじゃない。おっしゃる通り
0:39:30	解放基盤面の部分で、
0:39:34	こういうところをちゃんと見せ方としては多分いらねえものがもう杉尾としていかないと。
0:39:48	これで全部そろろうのこれがC君のデータ。
0:39:52	できればこれで清木できんのかな。
0:39:55	そういう意味で、岩盤部分もしていける話って、層厚看板経由で岩盤のさ非線形ってさ、
0:40:02	だから、さっき最初に言ったのはそこなんですよ。
0:40:07	これ高SHAKEのモデルのときに、岩盤の非線形性っていうのは、最後、これをどうやって捨てにいくのか。
0:40:20	江戸どういう論理ですすでにイクノ、
0:40:26	考慮するの。
0:40:28	はい。野口です。ここ、着地点はもう線形だっていう認識は持っていて、これ実はですねこのステップ5 といいますと4 ポツのところでは設計ととるのかその次の
0:40:42	設計を一番ホンダところで先決とかちょっと悩みながら書いたところではあるんですけども、この間から、うん。
0:40:49	ずっと言って、
0:40:50	出るじゃないですか。
0:40:53	だから、この47 ページが、うんね、解析モデルになるんですけど。
0:41:01	そういう意味では、すみません、Bポツの設計設計はここで、
0:41:06	回答案と、
0:41:08	もしくは4 ポツ、4%であるとか、
0:41:10	別に設計からね、設計で捨てるんですけどっていうのがあったときに、これはもう単純なんでね47 ページで、本当はこいつをリアルに、
0:41:22	表現すれば、
0:41:26	傾きもね、すべてリアルに表現すれば、地下構造をそのままリアルに模擬した解析モデルですってなるでしょ。うん。
0:41:35	なんだけどちょっとリアルじゃないわけだから。
0:41:39	ねっていうだけだよ。
0:41:42	そんな時に、このね、
0:41:46	岩盤の非線形性っていうのが、

0:41:50	どう関与してくるんですかっていうと、
0:41:55	途中で多分捨てといた方がいいのかもしれないし、
0:42:00	ただいずれにしろ、理由は何ですかってことだよな。
0:42:03	捨てる理由。
0:42:06	してる時には、誰か説明して、
0:42:11	はい、元オガセですけどSs地震時のような時においても、そのひずみがそんなに伸びるような感じではなくて、いわゆる剛性低下による応答への影響というのがないのを、4ポツで確認しているからだと。
0:42:27	4ポツのところで、すいません。いやいやあの人、抜けてるんですけどちょっと前に戻ったんですけども、16ページ。
0:42:38	先日この4ポツの中にちゃんと反映しますけども、今回の資料が書いてました。
0:42:44	先日の会合のときに浜崎さんからご指摘いただいた2でやったらどうか。
0:42:49	お話ありましたがそちらの監査こちらの16ページにつけておりましたが、設計条件ニシオカして計上しようが全然、
0:42:57	結果がえられ、
0:42:58	ます。
0:42:59	なんてそれとさ、後がさ、
0:43:02	違うんです。
0:43:04	はい。
0:43:07	とかに対して、
0:43:08	断層が違う。
0:43:10	これ、47条には、ディーゼルとか、
0:43:16	考慮って書いてあるそうなんです、これ4歳では考慮が結論。
0:43:23	はい。
0:43:27	4ポツは影響がないっていう
0:43:30	結論。
0:43:31	でした。はい。はい。でも浜崎さんおっしゃってることです。
0:43:35	だからねいろんなところでさ、布石があるんすよね。だから実際データの的にはこうなってるんだけどもってということだよな。
0:43:45	ね。こんなことは何と確認した結果そんなに大きな影響はないとか。
0:43:52	この程度だとね。うん。
0:43:57	なるほど。なるほど。そういう、そうなんですけど、49データの整備結果としてここは設計で扱えるっていう、
0:44:06	院長。
0:44:11	俺、

0:44:13	ポポツでもいいんだけど、
0:44:14	どちらか値段的には4ポツですね、4ポツでやって、今回の例えばFAがそんなことないっしょ。
0:44:24	まあこれ難しいんだけどな。
0:44:27	周波数とあれとの関係って言ってもね、泉と周波数だから。
0:44:34	やればできちゃったけど、
0:44:36	あんまりやらないほうがいいか。
0:44:49	うまく説明しないといけないところであるということで、
0:44:57	あんまりね、
0:44:58	オオハシさん感覚的に物事をコウダからコウダとかねっていうふうにしちゃいけないのよ。
0:45:07	こういうところをよく、大事なところをよく考えると、
0:45:11	いろんな
0:45:14	説明シナリオの中でね、どれが一番
0:45:19	いいかとかそういう、
0:45:21	考えていくっていうことで、
0:45:23	それが全体的に足りないんだよね。
0:45:28	だから今回もこういうね、何か意味不明な順番なっちゃうけど、
0:45:36	例えば、Steeringチームが考える。
0:45:39	そういうところなんですよ。すいません。はい。
0:45:43	データの、を使った使い方ですね。
0:45:46	ていう部分をどう並べると、一番シンプルで、
0:45:50	ね、自然な説明になるのかっていうで、実際やってることがそういうことになってるはずだ。
0:46:01	置き換えて説明もできるよ。
0:46:04	普通に。
0:46:11	ちょっと、
0:46:13	よっぽど言うてることと、ポツの、
0:46:16	清木セキニツタエビナしてるというか、うん。やっぱ流れをちゃんと保守的にですね。規制庁浜崎です。47ページの先ほど言った話と、45ページで、
0:46:30	3番。
0:46:33	で、これって、
0:46:35	今、建物構築物入力用の設計地震力、設計を地盤モデルの作成には、こういう結論にしますっていう意味ならば、清家清はもう、
0:46:46	こっちでっていうのは結論なんで、

0:46:49	コウダんですね今日午前中も言いましたけども、これからいう所どうだと か、液状化の検討の場合に、
0:46:58	は、同じ周辺でも、非線形性考慮するかもしれないじゃないですか。
0:47:04	実際安定性評価してるわけです。
0:47:07	それだけでございますが、クドウは今ですね、建屋と同じような地盤設 定にしておりますので、線形で申請者の方はですね、ガンマ線系じゃな いかんあるかもしれませんけど、
0:47:23	ダメだから、我々はコミットできない人と、
0:47:29	それはまだ、4月以降、ご説明させないので、そこまで視野に入れた今 回結論なのか、いやこれは設計地盤モデルと、
0:47:41	普通に限ったもんだ。
0:47:43	日本原燃オガセですけど、検証やってる内容からすると、少なくとも1 次元波動論の世界でこれができる範囲では、いわゆる水平成層ってい うところでは言い切れるかなと。ただ、言った方がいいんですね。
0:47:57	金谷。それで、ちょっと違っていて、
0:48:00	ポポツで、ちょっと高級なんだけど、
0:48:04	ポツの段階で書き込むのかなと思っててそれはどういうことかって言っ たら、基本的な地下構造モデルとしては、ひずみ依存性は持っています。
0:48:17	ということなんだよね。はい。はい。
0:48:20	地下構造としては持っていますと。
0:48:23	ただ、Cだよな。
0:48:27	入力地震動の策定においては、
0:48:32	どっかで示したように、そんなに
0:48:37	事業はないことは確認されているので、そこでは考慮の必要はないもの の、
0:48:46	他の
0:48:48	表層に行きより近いところとか、ひずみが大きくなりそうなところは、やっ ぱり10、
0:48:56	注意なり、必要に応じて、
0:49:00	こういう非線形性の考慮は必要かもしれないっていうぐらいが、
0:49:06	頭がいいのかもしれない。
0:49:10	原理そうですね。はい。やるかやらないか。ここだけその場合分けで すと、
0:49:18	そこは今、前段でおっしゃっていただいたようなところと考え合わせると、 ここはもう個別のそれぞれのですねグループでのデータについてど うとらえるかということをお求めていくのだと思いますから、

0:49:32	今おっしゃっていただいたような、これ地下構造としてひずみ造成はあるんだけど、ここについてSSのレベルで影響を出してあることを確認してるというのはこれは、
0:49:42	このAならAAのデータに基づいてそれは述べると、それをもとに、この基準地盤の東京とらえた地下構造モデルの解釈としては、ここは設計として扱えるといったようなそういうまとめ方をですね、果たして扱えるなんていう
0:49:58	扱いじゃないんじゃない。
0:50:02	設計としては使えるわけじゃないんだよ。はい。非線形だけどそんなに影響がないって言ってるんだけどね。うん。うん。
0:50:10	で、
0:50:11	その層を6で言うとして、7の時に設計でチェックし、
0:50:17	いやもうそこはもう完全にそこで無視するわけよ。だからね、4、4の結論をね、もうちょっと変え、
0:50:24	ちょっと齊木はいるんだけど、雰囲気は4ポツ、こうなってるんだけど歩つつうに於いてもちゃんとさっき言ったようなことが、
0:50:35	入力地震動の策定過程っていう意味ではいいんだけど地下構造としては、ある程度の泉ゾーンは持ってるんですよっていう。
0:50:46	ことだけだよな。
0:50:48	ただし、
0:50:50	この程度だと。うん。
0:50:53	26地震動ぐらい。
0:50:54	このレベル感じゃあまり問題は、
0:50:58	なさそうですか。多分もっとひずみが進んでるというケースですかね、説明できない。そうそうそうそう。
0:51:06	阿曾そういうのもあるし、まあね。
0:51:11	ことで、
0:51:12	決定づけないほうがいいんじゃないかなという。
0:51:16	はい。
0:51:17	ていうのは、
0:51:19	ちょっと高級なんだけど、
0:51:22	そこをしっかり説明しておかないと、これ結果だけ見ると、
0:51:27	ここのなっちゃう。
0:51:30	どうするのって。はい。
0:51:32	今を考慮するだよな。
0:51:34	だから4ポツをもうちょっとあれして5ポツも、それぞれちゃんと。
0:51:39	加えて、

0:51:40	ちょっと入れておくっていう。
0:51:42	じゃないかな。
0:51:44	はするけどねそういうこと。
0:51:48	そうですね。はい。はい。
0:51:57	取り扱い。
0:52:00	お話して、47。
0:52:14	運送は当然競争はこれモード指導なので、全体平均。
0:52:19	がイマイ。
0:52:22	もう、4ポツまでの整理から、もう何も変わらずに進めていくという格好になります。
0:52:33	いただいて、
0:52:34	ざっくりはそんな感じ。はい。
0:52:37	このStep5 ですね。
0:52:42	ステップ6 っていうのを言っているの。
0:52:45	で、来週ですか、今周辺でそれ以外、
0:52:52	結局 10、
0:52:54	はい。
0:52:56	それが、同じように示されて、はい。はい。同じっていうか、戸部さんがありますけど。はい。
0:53:02	とりあえず、最終 47 ページなんだそうです。いろいろ変えますよね。はい。
0:53:10	はい。
0:53:11	してる。
0:53:17	50 ページって何。
0:53:22	次はですね先ほどの
0:53:25	その敷地の基盤特徴をとらえた地下構造もしてきたわけです。そこからこの設計用の地盤モデルは、50 ページ。
0:53:35	全体の考え方で言って、
0:53:39	それはなぜですね。いや、はい。ここで言いたいのは、ABについては、さっきのStep5 でやって、そのまんま使えますし、はい。
0:53:51	データか何か。
0:53:53	先ほどの話で、ごめんなさい今変わるんだ、Bは変わりますね。すいません。すいません。そう。
0:53:59	ではだから、まず最初からそう言った方がいいですよ。
0:54:04	はい。その通りですね。はい。設定する設計に用いてしまっている作る時は解析プログラムの技術制限とか、そういう現場通ってない。
0:54:18	すいません、特に

0:54:21	Dだこういうところじゃないけど、これうち国語の問題言ってるわけじゃないんだけど、これちゃんとやっておかないと。
0:54:31	ねえ、全然ねその先が大変なことになるよね。日本ね。
0:54:39	せ更新っていうのは、すべて最後まで引きずるから。うん。ここの言葉遣いっていうのはね。ものすごく慎重に書かないといけない。はい。
0:54:50	入力地震動の算定に対する保守性、保守性って何。
0:54:57	根井。
0:54:58	保守セイノを具体的に言ってみて、
0:55:01	我々考えているのは入力として入力地震動として、保守性を持った入力時の与える詳細モデル自身とってない。
0:55:12	どんどん、そうですね、どのぐらいおつきい。
0:55:16	はい。まず、
0:55:19	カシワギワイカシマ。少なくとも、そのas-isを下回ることがないっていうというのが押田というタダ全然考えてないじゃん。うん。
0:55:29	この言葉がええかと思います。はい。はい。
0:55:33	多分こういうのを、まあね、しっかりさ、何を少しね、方針がないのに方針書いてるじゃん。
0:55:42	だからさ、ね、詰めたら、うん。死んじゃうんですよ。
0:55:47	だから全然詰まってないんだよこれ。
0:55:53	我々の世界の中ではね、
0:55:58	一番大事なところでね一番詰まってないんじゃないか。
0:56:03	当然ちゃう。
0:56:05	いや、同等とかそういうことではないんだよね。
0:56:09	だから、
0:56:10	まあね、ここが、
0:56:13	別にお礼が言う必要性はないけどね。
0:56:18	保守性っていうのは、安易に使うことが本当にいいのだろうかっていうことなんだよね。
0:56:25	だから、
0:56:26	まずさ、僕のところで、
0:56:29	ね、まず、
0:56:31	ここまでっていうのは、ある程度のデータだよ。だからね。
0:56:37	とったデータ、範囲だよ。
0:56:41	ね。での地下構造モデルっていうのが示されてるわけ。
0:56:46	なんだよね。うん。
0:56:48	今度はそれをもとに解析的に入力地震動を算定する程度、値入力プログラムも踏まえるっていうことはね。

0:57:00	言う必要もあるということでそういうのもとか、必ずしも地下構造が大地震に、
0:57:08	ということだよね。
0:57:09	Ssのような大きい地震と対応するかっていうのも、まだ不明確な点はあるわけですよ。うん。今度構造物の設計っていうのが、
0:57:20	あるわけだよね。
0:57:22	そういうのを総合的にちゃんと勘案した、高額で聞いな。ただ、前からずっと言ってるのがね、工学的地盤モデルになるわけだよ。
0:57:35	そうですね。はい。今度はね、解析のね。うん。ていうことなんじゃないの。はい。で、
0:57:40	だから、工学的な地盤モデル、工学的地盤モデルをちゃんと設定をこう後先考えてやりますっていう。
0:57:50	そういうことなんでね。はい。
0:57:52	とれたデータをっていうのをちゃんと理解してっていうことで、すごい簡単に言うとね、理解しね。こっから先のね。
0:58:02	どういう設計をするかっていう、
0:58:06	いうことを、ちゃんとこうこうね、
0:58:10	見て工学的なモデルっていうのをやりますっていうことなんじゃないのだから必ずしも保守的なものかっていうのがよくわからないんですね、実は。
0:58:27	はい。
0:58:29	使うべきものじゃなくて昔からずっと言ってるのは、
0:58:34	工学的判断っていうのでモデル化さしていくしかないよねって言ってたじゃん。うん。
0:58:41	ね。
0:58:45	皆様のご指摘は 20%ぐらい 30%。
0:58:49	保守的っていうのはだからさ、都合のいい時だけしかも姿勢なんか見えないじゃん。
0:58:58	でしょ。保守性って何ですかって答えられないんだよ。
0:59:02	答えられない言葉使ってどうする。
0:59:15	だからね、こういう。
0:59:17	使わない。
0:59:25	こういうところを考えて欲しいんですよ。
0:59:33	そしたらさ、次ね、こんな補修性とかさ、何か使ったらさ、岩盤物性値も保守的にさ、ね物性値せ
0:59:42	できるね。
0:59:44	都市的ってこれどっち。

0:59:46	保守的にすんの。
0:59:49	なっちゃうでしょ。
0:59:52	目的にとらえていけば、Vsっていうのは、もう基本的に地震動が大きくなろうかちっちゃくなろうか。
0:59:59	でしょ。
1:00:00	ね、もうそうも変わらないよねと、誤差範囲ぐらいですかね。
1:00:05	材料というか、そこで決まっちゃうんだからっていうことでしょ。
1:00:10	はい。そんなに大きくずれないからこれ使っちゃいますとかってそういうことなんでしょう。
1:00:15	ね。
1:00:16	違う。
1:00:18	おっしゃる通りだからここで言うべきその個別の要素に対しても保守性を積むっていうような考え方ではなくって、このトータルで見た時にさっきおっしゃったようなこれは工学的に用いる地盤でなのであるから、
1:00:32	それを設定するときに、アウトプットに対して、そのを表してくれないことを確認するとかそういうふうな形で出てくるのかなと思った清木とかそういうことでもないでしょうねはい。はい。そこはさっきわかんないんだよ。うん。
1:00:50	ご指摘だから日吉的っていうのは、そもそもある人は狭い範囲でしかさ、物事言えないのよ。うん。だってもっととれたデータがちっちゃいやつの領域しかないわけだし、地震観測記録だったタカハシ出てるわけだし、
1:01:06	ね。
1:01:07	結局やった範囲。
1:01:11	を考えていくだ形でしょうか。宗田残飯が今度、岩盤がね。
1:01:16	ね、ボポツでセットした。
1:01:20	やつでいい理由っていうのがここに実はいるんだよ。
1:01:25	工学的な判断の結果があるんだよ。うん。これこれこういうことから物性を設定しますっていう方が、
1:01:33	もう本当はいいんだよね。
1:01:35	なんで、これ、何でこれでいい。
1:01:38	ただ、ここにもうでも書かれる話としては、実際にそうでしたものを、それを元に答えてないんだよね。
1:01:48	ね。
1:01:49	なんですね、実験で。
1:01:52	とか出られたデータでいいんですかって。

1:01:57	何でというのがなかなかあれなんですけども今、我々が得ることのできたデータとして、最も早い解決がありました。はい。
1:02:09	軽く叩きつてね、Vs上がりましたね。思いつきりナガエてVSわかりましたっていうベース違う。
1:02:18	うん。
1:02:19	だから、そうか、湯への地震動のレベルによって異なるようなものになる分セキでないことを踏まえといったようなそういうふうな、
1:02:29	考えるべき要因を考えてそれに対して、影響のないということをやりたいということです。サンプルですね。はい。
1:02:36	根井宗です。
1:02:39	ですね、Bはどういうことなんですかって、はい。
1:02:44	次はどういうことなの。
1:02:46	そう考えて、
1:02:48	うん。うん。
1:02:52	今度だからBになってくると、こちらは考える地震動のレベルによって、物量が異なって狂う量になってくるといふかそういう振る舞いをする、非線形性っていうのは、まさにそういうものであると。
1:03:05	いうことになるんだけど、我々が設計で考えるSsの半球を見たときに、ここがどういう振る舞いをするかと、いうことの分析を踏まえ、ここでは設計時をこう扱いますといったようなここは展開するのかなというふうに思いました。
1:03:23	書いてあるんで全然違うことやろうとして、うん。
1:03:27	修正しますね。
1:03:35	ねえ。こういうところが一番大事なところに一番時間食ってないんだよ。はい。
1:03:43	あとは、データがついてくるんだけど、
1:03:49	ベップさん、イシイになってくると、解析。
1:03:52	ね、プログラムの
1:03:55	っていう、もうそこだけだよ。はい。そうですね。はい。根井。
1:03:59	だから、
1:04:00	ね。
1:04:01	あと、どういうことにする。
1:04:04	だから、Cポツに行く、今度は先ほどの設定したですね、意識の一番の特徴をとらえた幾何構造モデルの時には、曲線なり、張り1回の強制として、
1:04:19	設定していたものだけでも、これが実際、はい。
1:04:27	すいません。

1:04:31	これはさね。
1:04:33	の周辺だけは、はい。
1:04:35	1 個しか言えないけど、これ他も全部おんなじじゃん。
1:04:40	全部ややってこれ作ってる。だからいるんだよって言ったじゃん。
1:04:49	これ共通なんですよ。
1:04:51	そうですね。すべてのモデル共通の話なんですよ。方針だからね。うん。そうですね。はい。だからこのCはだから、
1:05:00	他のやんないうちに、
1:05:01	ていう、みんなこれね。
1:05:07	あるよね。
1:05:09	いや、1 個しかないですよ。
1:05:12	うん。
1:05:14	だから、
1:05:16	考えてない。
1:05:21	確か今回、周辺での
1:05:25	結果としてお示しはしてるけれども、質問はないです。はい。質問はここに書いてある山野四つは、他のエリアもこれで問題はないか。
1:05:36	いうことになってるんで、ちゃんと確認してからやらんと。うん。大丈夫。ちゃんと再考してきて、
1:05:44	言う必要があろうかと。ただ、大きくは間違いじゃないんだろうけども、考え方は、破碎部を見てもらうと、1 海田シマウチイイダ宗田れないよう考えております。はい。三野成松です。
1:06:00	ただ、これさ、減衰っていうのはさ、うん。
1:06:04	それぞれ大きくりと、プログラムのあれだよ。こっちの制限がありますと。はい。で、
1:06:13	制限のプログラムで、
1:06:16	やってきてるじゃんってなったよね。うん。
1:06:19	僕は我々も、どのぐらい言うかなんだけど的まずさ、これはさ、
1:06:26	一定の減衰を仮定するんだよね。一旦ね、実際やってることは仮定するわけだよ。
1:06:37	音で仮定したものが、それでいいという。
1:06:42	ところなんだよね。うん。それは何でチェックしていくんですかっていうと、
1:06:47	はい。
1:06:49	はいじゃなくて、答えるところです。はい。それはですね、次の 51 ページからですよ。答えわかってるから。はい。
1:07:00	戻す。

1:07:03	そこはアウトプットとしての応答で判断していきますけれども、そういう判断、そういう大事なところを言葉にしていけないから言葉に書けないんですよ。
1:07:13	だから言ってくださいよって、誰でもいいけどさ。うん。
1:07:19	わかんないからする。
1:07:25	シーン各はい。
1:07:27	一番大事な話を言葉で説明してくださいって言ってるんだよ。うん。
1:07:37	ここでは、設計の方針として、
1:07:41	1点目は、ここ全部直しに行かないといけないわけよこれね。うんそれとかBとか3Cも直しに行かないといけないね。決定的に抜けてるところが今の質問なんだよ。うん。うん。
1:07:56	だから、どこの、
1:07:59	何かする基礎下の、
1:08:02	各グループの違う。
1:08:04	いやだからそっちちゃんと運用しない。
1:08:10	だから建屋の入力地震動として用いることを踏まえタケヤ行力というのとなる地盤の応答の比較によりっていうそういう意味がわからない。
1:08:21	うん。
1:08:23	うん。
1:08:24	意味がよくわからないんです。
1:08:28	だってさ、うん。ここで言葉にもできないと、ある程度ね。うん。ね。
1:08:35	資料作らない。
1:08:37	やったんでしょう。風化してアカシタケシタaヨシダ、合えばいいんですけど、今回、これ、
1:08:45	主任グループの
1:08:48	だからさ、もう何度も同じこと言わせないんでこれ全部の話なのっていう、個別ですね。
1:08:59	だから、全部の話としてどうするんですか。
1:09:04	いや難しい話してない。
1:09:06	実際やってるわけだしさ。うん。
1:09:10	でもさ、ねSteeringチームなりさ、はい。説明できないってさ、我々がわかかっていて、Steeringチームの説明できないとか、最低で、
1:09:20	最低ですね、すいません、えっとですね、5だから応答の比較で、これ判断していくっていうそういうもう非常に単純化した頭私は感じます。
1:09:32	使ってしまったんですが範疇じゃないから言ってるんで、
1:09:39	音損ねえな、なんでそれでいいのって聞くわけですよ。
1:09:46	違ってね。そうっすね。

1:09:50	バス。
1:09:51	だからねはいはいって言うてるけど、理解してないんで心の理解が。
1:09:57	すいません。わかってないすすいません。
1:10:00	何か本当の、だからね、最たるじゃん。52 ページって何やったのこれ。
1:10:08	これワーアノをとにかくやってます。これは、ゴトウの比較っていうのは、何の応答の比較やとかさ、言わないとさ。
1:10:18	うん。何でこれ見てさ、うん。ね、何か決定できるのよ。はい。
1:10:25	いやas-isと日本原燃の間瀬ですけど、as-isの応答っていうものがありますそれに対して僕ら先ほど仮定した一定減衰の応答がありますけども、通ってないっていうところはないですよ。
1:10:37	入力地震動の策定に用いるモデルを作るっていうことなので、当然木曾アノ高久建屋基礎下相当レベルの地盤応答が、最終的には、
1:10:48	グループかもしれない加来立山、はいはい。の基礎下の地盤応答が、どうなっているかっていうところをちゃんとas-isと今回設定したものという。
1:10:58	観点での比較が必要であると、それをやってみたという、はい。
1:11:03	衛藤。
1:11:07	はい。
1:11:10	やってみた再比較してみた比較してみた。そうしたら、いわゆるas-isで設定したものに対して、一定減衰として仮定した、
1:11:21	減衰定数を入れたものというところが、また各建物の基礎下レベルで、どうやって6%とした設定の方がどうやら応答としては大きいものを与えることを確認した。ですので、
1:11:32	全周期一定としては6%っていうところは工学的にですけれども入力地震動を算定する上では、不適なものではない、適切なものであるというふうに判断ができれば、そうそう。絶対考慮した地下構造解析できるじゃん。
1:11:47	江藤。
1:11:48	ここがあれですよ。元のオガセですけども、ここはまさしく今表層と違って非線形性とかを当然見ることになるわけなんですけれども、
1:11:58	そういったときに、今、解析ができないというのが、非線形を考慮してかつその何ていうんでしょう。
1:12:05	周波数依存性を見るという解析ができないわけなのです。ですので、ここでは、地震観測記録を使ってここでは線形領域の話でありますけれども、その条件でのその表層込みでの基本地盤モデルで、
1:12:18	こういう過剰評価をしないよというところを確認
1:12:21	一方でさっきのそこの非線形はどうなのという話は、さっき

1:12:24	Step5 ですかね、で話している通り、Ssと当社のSsレベルでは影響がないので、問題ないことを確認して、これが全部踏まえて、基本の地盤モデルを作ったものはよからうという話。
1:12:38	そういうこと。
1:12:40	言われても、
1:12:42	事業のですけど、基本的にはそのas-isで、我々が設定したものが、ここで言ってるところの一定減衰っていう一つのやり方でやると、同じような、
1:12:53	減衰定数は、
1:12:56	だから我々は背工学的にこの減衰を与え、
1:13:01	るべきと考えて、
1:13:06	キャッシュを九州電力の話です。
1:13:09	私どもっていうのは今言ってる外っていうのはまずはデータ、事実を大事にして、
1:13:15	それを表現できる。
1:13:18	ものを作っていました。大事なところが、まず、
1:13:24	なんて
1:13:27	解析プログラムの制限の話をと。
1:13:31	このさ、この 52 ページ。
1:13:35	52 ページ目でできてっちゃうっていう、思うよね。
1:13:39	はい。プログラム制限って何。
1:13:41	っすね、というそういうところをちゃんとと言わないといけない。うん。
1:13:50	このセキの、先ほど小橋が言ったように、周波数依存とひずみ依存っていうのはですね、もし同時にやるとすると、イタレーションしながらこう重ね合わせていかなきゃ
1:14:01	設計ではですね、もし、この
1:14:03	アノ線形というセンケンなり、イセ
1:14:06	もので周波数依存は取り扱わないっていうのが、それはさ、ポツそういう結果になってるんです。
1:14:21	もう、それになってるんだよね。だから別に、
1:14:23	ここでas-isって関係ない。
1:14:27	宗田セキマシモですけど、個人の家は線形解析。
1:14:33	溝いずみの線結果。うん。話。
1:14:42	現金でよ、だんだんこっちにちゃんとせず、
1:14:46	異なるけど、
1:14:53	そう。
1:14:55	週末移動の解析を同時にやるのが今解析構造上ないので、

1:14:59	さらにプログラムの制限っていうのはそこなんだよね。
1:15:05	でしょ。はい。
1:15:06	はい。
1:15:09	この話とはちょっと違うんじゃないっていうかさ、さっきね、
1:15:15	この辺はちゃんとそれなりに区別しとかなないとまずいけなくて、52 ページの解析って何ですかっていうことだよ。
1:15:25	でも、ここで最終的な減衰の善し悪しをここで決定しちゃってるわけだから、
1:15:33	ね。
1:15:34	これってどういう意味を持つんだろうっていうことだよ。
1:15:38	アカイシキヨウらないですよ。
1:15:46	線形上。
1:15:48	周波数イセ
1:15:56	だから、これもね、結局はさ、
1:15:58	ちっちゃいレベルかってしか見てないんだよね、実はね。
1:16:04	応答的にはね。
1:16:06	ということでしょ。はい。
1:16:08	はい。
1:16:13	だから、でも少なくとも、
1:16:16	を、
1:16:18	いろいろね、
1:16:22	あるレベルではこうだろうという、地下構造のモデルに対して、
1:16:27	解析上の制限が別途あるので、
1:16:31	一律にしたときに、
1:16:35	せざるをえないとね。
1:16:37	言ったときに、
1:16:40	それなりに線形でも、
1:16:45	ね。
1:16:46	本当は非線形の曲線がいたような、周波数依存がかなりあるんだけど、
1:16:52	減衰そんなに大きくは効かないでとかっていうことが入ってるわけですよ。
1:16:58	ねえ。一定にせざるをえないので、仮にセットしてやったところをそんなに悪くないっていうだけだよ。はい。
1:17:07	ということなんだよね。はい。
1:17:09	だから一定にしても、この程度だったら、一定にしても差し支えはないっていうだけなんだよね。

1:17:18	実際模擬してるわけじゃないからさ、差し支えないだけなんだよね。
1:17:24	ということでしょ。
1:17:25	ね。
1:17:26	まずね。
1:17:28	まずね、6%で仮定して、ぐらいでね、他のデータも含めてこれまでのデータを含めて6%ぐらいで仮定してやってみたら、大体そんなにおかしくないですと。
1:17:39	ね、そこそこむしろあっても少ないんだよね。
1:17:43	ね。だから、
1:17:45	少なくともこの範囲でだよ。
1:17:48	ということは、
1:17:51	井清にしても差し支えないなんていうね。
1:17:54	なんだけど、じゃあ何で5%なの。
1:17:58	ここでまた保守性って出てきちゃってんだけど、
1:18:01	ここがまたみそなわけでしょ。
1:18:07	なんで、
1:18:19	だから、
1:18:24	違う。
1:18:25	ない。プロパーで差し支えないんだけど、うん。
1:18:31	いや、JRがどうのこうのなんてそんな最後の最後だよ。
1:18:37	いやだから、これまでずっと言ってきたことがまだあれなんだよね。結局、これ線形で、そんなね、このSSとか工学的な話をしていけないといけないんでしょ。
1:18:48	うん。ねえ。だからね、まだ不確かさとかよくわかんない部分もいっぱいあるけど、
1:18:54	その分1%ぐらい見ときますわぐらいでしかないんでしょ。そう。
1:18:59	ねえ。でも1%がいいのかって言われちゃうとわかんねえだけだよ。
1:19:03	ね。
1:19:04	なんででしょう。
1:19:08	でしょ。
1:19:08	そうですね。
1:19:10	でもっていうことなんでね、一応ね、そのぐらいの工学的に、6%で大体フィットしてて、5%と。
1:19:22	実際は、これこれこういう実際増えなくて、要はで取れたね、やったデータとかこの解析とかそういうふうに踏まえて、
1:19:32	でしょ。それから、今後Ssが入力されるわけだよっていうことなんだよね。でもあともうちょっと踏まえるのがあるんだよね。それは何でしょう。

1:19:50	尾花。
1:19:53	思ってるデータ、最大限活用
1:19:56	これはだから、これまでのね、突出の試験だとか、
1:20:00	だよ、これは助役のそういうさんとかからね、大体分分というのを踏まえて、
1:20:08	ね、上限ではあるけど、向こうにしますぐらいのレベルからしかないんじゃないの。
1:20:15	ね。
1:20:18	まず、
1:20:20	個別の保守性を相当含んでるわけじゃないんだよね、実は。
1:20:25	だから最終的には何とかワンシグマぐらい見るわけでしょ。
1:20:29	さらに、
1:20:31	そこに不確かさの考慮が入って、
1:20:34	あれ。
1:20:35	その話を受けないことはしないけれども、
1:20:42	そのぐらいなんつうの。
1:20:45	かなって。
1:20:50	それ以上言えば、
1:20:53	すみませんちょっと、だからね最終的なSsと今回やったレベル感ってのは、10倍ぐらい違うんだよね。8倍とか10倍ぐらい違うわけだから、
1:21:05	そいつどこに統合工学的に、
1:21:09	盛り込んでいきますかということで、
1:21:13	さあ、
1:21:14	麻生おっしゃる通り総合構想、そうですね、本当は。
1:21:19	ちょっと小さいやつ。
1:21:20	フィッティングする。
1:21:21	安江スミダオオキフクマない。
1:21:24	難しいっていうのはわかんない。
1:21:30	わかんないかもしれないです。
1:21:35	全体。
1:21:38	変わるものと変わらない者がいるんだよね、実はね。
1:21:42	BSみたいなやつはかなり正確に、
1:21:45	拾ってるわけだよね。
1:21:49	一番正確に拾ってるんですよ。これ。
1:21:53	実は技術ってだから結構曖昧さがあるんだけど、
1:21:58	そんなに。
1:21:59	本当にめっちゃめっちゃ。

1:22:01	何かこう、
1:22:03	徳田、
1:22:04	要は眺めてるやつをね、
1:22:06	平たく書いても大してませんよってということですね。そうですね。
1:22:13	実際には応答が大きくなったときに、ひずみ依存が働くわけだよね。ここでね。
1:22:19	多少は今度、
1:22:21	大きく出るかもしれないってことでしょ。
1:22:26	やってないんだな。
1:22:29	いろんな人がこう小さい。
1:22:32	ことを、
1:22:33	を整理して、
1:22:35	並べていって、今、今これ氷山の一角かもしれないよ言ったことはね、今ぱっと思いついてないんで、こうやってそれで、
1:22:45	パッケージとしてやっていくっていうのは、
1:22:50	それが大事なんじゃないか。
1:22:54	聞いている。
1:22:56	はい。聞いて和気砂層もちろん来(1)サンポしか言ってないかもしれないからね。
1:23:05	でもメモしてもしょうがないんだってこういうのって、
1:23:09	はい。
1:23:11	自分で考えなくなっちゃうから、だから考えなくて、うん。ちょっと思いついたものだけ言って。うん。それだけしか書いてないっていうことはそういうことでしょ。はい。
1:23:22	ちょっと思いついたやつだけ言ったけど、ちょっと。
1:23:25	この会話の時間ぐらいで、それぐらいは思いつくっていう名前からね。こういうことなんだろうなと思ってるから。はい。
1:23:35	だからね、いつも言ってるのは、
1:23:39	検討です。
1:23:40	1 からすると、検討してないなんて。うん。
1:23:43	詰め詰めてないんだよ。
1:23:45	全然。
1:23:50	ちょっとちょこちょこいろんなことをね、言ってるでしょ。ですね。
1:23:54	そういうのをさ、自分のものになってないから、これを詰めるということですよ。そういうところは詰まってないから。
1:24:03	トラップしてさ。
1:24:08	なんじゃない。

1:24:10	今後大事なところですよ。はい。
1:24:18	だから、専門家のさ、人達がこういうところで活躍するところなんです。
1:24:27	そうずっと麻生さん。
1:24:33	私引っかかるのやっぱり一定減衰の周波数一定減衰するときに、
1:24:37	結論をSHAKE使うから、
1:24:40	もう、
1:24:41	の矢田衛藤泉俊蓮井のを同時に考慮する。
1:24:47	できないって言うのかどうかと、今、研究ベースよりは全然。
1:24:52	プログラムみたいな、あることはあります。
1:24:55	ただそれはもう、
1:24:57	申請案件からってというのは一つの、あと、今回表層の非線形性を考慮しなきゃいけないってことなんですけど、例えば表層、
1:25:09	まず、SHAKEで落とすとして、
1:25:11	10日後、収束校正出しておいて、その上で、まだ周波数依存の減衰、
1:25:20	の
1:25:22	プログラムで入力を求める方法だってないわけじゃないと思うんですよ。で、いやそういういろいろ幾つかの選択肢があるんだけど、やはりSHAKEを、
1:25:31	これじゃない延長だからって話じゃないかもしれん
1:25:35	やはりそこにもう少し説明をですね、しっかりガードしておかないとというのが一つ。
1:25:41	ありますね。うん。
1:25:43	全く今すぐここは私はないんですよ。できないことなんですよ。
1:25:48	それともう一つは、
1:25:50	例えばさっき52ページの、
1:25:52	これ入力の梅崎でも5000件という話だったんです。
1:25:57	これ、
1:25:59	これは、
1:26:02	観測は、
1:26:08	で、入力の資格という観点でわあ、この一定減衰と、7月1トン。
1:26:16	来週関係って、
1:26:19	例えば波が変わって本当はないの。
1:26:24	言う。
1:26:25	次。
1:26:26	おのずと例えば伝達関数がいいのかなと思うんですけど、発想としてね。
1:26:31	いう補強も、

1:26:34	必要な、
1:26:38	ちょっと今の段階、これ今日の段階の資料なんですけども、もう少しでこ入れが必要な、
1:26:49	それができた話ではないと。
1:26:53	結局、もともとはSHAKEでやりたいよな。別の言い方をすると、
1:27:02	本当に落とし込むのか。
1:27:03	社長。
1:27:14	さっきその数字が 52 ページ、5 っって言ってますけど、いらっしゃってますけど、さっきの話じゃないですけど、
1:27:19	他のグループも含めて、うん。
1:27:22	いいですか。
1:27:24	議論。
1:27:25	11 月 3 日、
1:27:28	あそこは日本ですね。
1:27:31	5 ニシヅルと、そこでクラタ小村。
1:27:34	次で出す時も含めて、
1:27:38	見直しできます。あとね、54 は、
1:27:42	14 というのが最後のまとめかも。
1:27:45	これってさ、
1:27:48	解析モデルじゃないよね。
1:27:51	いやだからもうSHAKEの。
1:27:54	ね、入力状態にしないとイケない。これ。はい。はい。はい。僕も成層地盤でこうしてね、カッチコウしてっていう
1:28:03	それで出さないと、これでもね。
1:28:07	基本地盤モデルって、これ、解析モデルだよねもうね。
1:28:12	なんじゃないの。これでやりますっていうことなんじゃない。
1:28:16	基本基盤モデルはそういう位置付けのところだけ、
1:28:20	どうもウダと、斜めの地層とか入れないね。そう。そう。ここのSHAKEのね、イメージ図で書くわけよ。
1:28:33	そうですね。よくわかんないでしょ。よくあるでしょ。はい。すみません。データはデータはこれですっていう、もうインプット上、
1:28:45	これ紙 1 枚渡さればね、やる人はSHAKEでモデルつくれるっていうレベルで持ってくればいいんじゃない。はい。
1:29:00	競争規制庁阿部です。要素もそうすると今後初期条件ということで
1:29:06	吉井具志堅。

1:29:08	西来です。元オガセ下のグラフにすいません入ってはいたんですがちょっともうちよいちゃんと独自のグラフ言わなくて、そういう、こういうのがいなくなっちゃうわけですよ。だからモデルの絵と、
1:29:21	ね、そのパラメーターデータセット。
1:29:25	を書いた方が、
1:29:27	いいよね。
1:29:33	そしたら、あとは、じゃ、これで計算してみそうっていうだけなんでしょ。
1:29:39	いうふうにちゃんと繋がってくるじゃない。
1:29:45	ざっくりじゃ、これだからそういう。
1:29:50	そうなんじゃないかなと。
1:29:52	思います。
1:29:55	ざっくりしか。
1:29:58	國西'全員が、
1:30:00	オザワ多分大体、
1:30:06	井清ちゃうんですそうするとステップ6の最後、54ページ。
1:30:12	ということですけども、ステップ6の段階で、さっきうち14回りっていうのは、
1:30:18	できる。
1:30:21	日本原燃まして、そこをちょっとすいません先ほどから議論やってる、ちゃんと全体を踏まえて話を、
1:30:29	今50ページのところでちょっと白四角で書いてますが、ちょっと今日段階ではホールドしていきます。
1:30:36	ただあの、はい。はい。
1:30:57	規制庁。
1:30:59	50ページ。
1:31:01	今
1:31:06	はい。
1:31:07	はい。
1:31:08	横井。
1:31:09	どうぞ。
1:31:11	今回、実は、
1:31:13	基盤までうちは全部出てこないんじゃないかって、この間の話。
1:31:18	いえ。はい。基本的モデルまでは全部お出しするつもりで今進めてます。
1:31:27	3月末時点で、
1:31:30	7日周辺とベップとして、波は一部しか出せない。
1:31:35	という、

1:31:36	のがもうゴールするね。
1:31:38	はい。
1:31:39	並木グループ長
1:31:41	そのためには今回やっておかない。
1:31:44	飯塚ダイウト所。
1:31:49	て規制庁ですけど、今 54 でAだと、別ー5%。
1:31:55	そうですねはい。
1:31:56	他の項目とG14 を見たって、
1:32:00	結局こう、
1:32:03	そうかこういう人バラバラになったんだよ、そうはいっても原則そういうことだという認識はしております。はい。
1:32:15	おそらく絵姿としては、そう。
1:32:17	はい。
1:32:21	ステップ 5 まではいろいろあったけど、
1:32:25	ここに来ると。
1:32:26	一緒に。
1:32:31	そういうイメージ。
1:32:37	捨てブロックのところ
1:32:40	あとはその、
1:32:41	置かなければ次、
1:32:43	57 ページ。
1:32:45	ここまでの話セキ、
1:32:52	やります。
1:32:55	一部、
1:32:58	どういうところが一部だよな。
1:33:01	七三出してない。
1:33:05	モデルまでできてるは、この先順次、
1:33:10	次回会合以降、順次、全数出していきます。はい。
1:33:15	はい。次回会合以降か、以降、はい。はい。
1:33:19	こうやったら、
1:33:22	加地でキタナカを全部仮にできたらですし、はい。
1:33:26	倉崎だってモデルまでさ、
1:33:30	全体的にさ、確認ができれば、あと、もう力技ですってだけだから、あと、規制庁ばらつきを、お金はなし。
1:33:41	次にそういうのがあります。はい。はい。
1:33:46	だから入力地震動だけじゃなくて、そいつの異なるポートスペクトルみたいだし、田内さん、イセ宗田ねと、何と何がっていのを、

1:33:58	ちゃんとさ、こうなんていうの、1個のあれでいいからさ、全部のさ、イメージの出し方が、
1:34:05	理解ですね、まずそれをちゃんとここに書けるぐらいに、
1:34:10	ね。
1:34:11	決めてそうすると×でしょ。
1:34:14	根井。はい。
1:34:16	もうちょっとちゃんとこういうものを、
1:34:19	並みのは形を標準で、
1:34:21	それだってCSなんかあんだよとかさ。そうですね。こういう話もあるし、だから物量感とかいろいろあるんじゃないんですね。だから全然そういうのを詰めてる。
1:34:35	江本さん。
1:34:37	これもだからね。
1:34:40	結局やるべきことも詰まってねえじゃありません。
1:34:44	本当なんで遊佐発注とかさ、いろんな他に注文できるよね。
1:34:56	12月としては答えまでわかってないといけないんですけど。
1:35:02	そうすると注文がいいかわかんないじゃない、何か頼んだけどっていうと、何か北山怒ってそれ食べてるだけでしょう。
1:35:12	すみませんちょっとここにはアウトプットとして何をしようとするなりですね、そういうのって言ってみて、刀禰、すみません、私今空で言いますと、
1:35:30	各建屋の、ここに書いて、はい、よろしいですか。はい。
1:35:36	言ったと思う。
1:35:38	だよ。
1:35:40	時刻歴
1:35:43	で書いてある以上、別にその
1:35:46	持ちかけ方など、
1:35:48	文字絵に書くべきであって、
1:35:51	そういう言葉を出していけばいいじゃん。はい、わかりました。
1:36:00	そんないっぱい書かない制限ありますという、賛成でありますという言葉で出せばいいじゃんね。賛成彦坂理事目的ですよ。いやそうじゃないだろう。だから、これさ、Ss何%だよ。そうです。まずワンセット
1:36:19	と帰ってやるってということで今、オガセナカイと申します。
1:36:28	これは、
1:36:31	休憩操作 93%、いやいやそれはそれは、
1:36:37	Cチームの世界では別に 13 とはならない。

1:36:40	Cクノ世界ではない。だから、つまり、いや、同時に壊れないできたものをあくまで、
1:36:46	ためにどう入れるか時に体験する話がありました。すいません。
1:36:53	すごい書き方にしないでください。
1:36:57	山上セガワんです。同じです。
1:36:59	あとだからさ。
1:37:01	はっきり言ってどこはっていう、
1:37:03	ちょっと聞きたいですね。はい。ていうところどこですか。
1:37:07	ですね。
1:37:09	どこなのか。
1:37:11	設計として、例えばタケヤですか。例えば、建物構築物、全部で30ぐらいですね88個じゃない。
1:37:30	うん。いやそうそういう差が全然違う。だから欠点だよ。そう。それは全部、
1:37:41	全部作ること前提で、それが前回の時に、建屋ごとじゃないのお話をさせていただいたんだと思うんですけどそんなことまず言ってないよね。だから、
1:37:54	だって基礎下レベルが一緒ぐらいだったなっていうのは、
1:38:01	優秀だそうです。
1:38:03	寄贈したんやから、一緒の方だからね、なんていうか埋め込み深さっていうかさ、レベルが一緒だったらそれは別に、でもまあいいとか、カワセカネダ層そういうので見たってさ、工数これで決まるんでしょ。うん。
1:38:24	いやだから、
1:38:25	書けないんじゃない。
1:38:28	開けないというのはないので、ずっと決めTROIと。
1:38:32	これ、こんなこと言ってさ、はい。
1:38:34	9番ミラウオクって話しながらさ、こっちに向けて言ってるのに、いやだから今書けないんじゃないかって、だからそういうのをちゃんと詰めて、
1:38:43	今何個とか、
1:38:46	できそうにない。
1:38:51	これは全部できるのかって何か、床下にイソダナカアラカワかったから、いやいやねそもそも左舷の中だって全数建屋全数30幾つだよ、26でしょとかって会話してて、
1:39:05	ね、それ全部やるんですかって言ったら、いやそうだって言う人もいるしそうじゃねえ指導等もありますよっていう人もいるしね。うん。は別に、町としてのレベルが一緒だったらまあ、
1:39:17	そのぐらいでまずはいいのかとかさ。

1:39:20	あれ。
1:39:21	ていうだからそういう段階がこうあるじゃん。はい。最終的にはみんなそれぞれね。はい。あるし、結局ね、うわものの重要なんかも効いてきちゃうね。うん。世界もあるんだからさ。はい。
1:39:37	ていうのがあって、だからどこでね、3月でこのぐらいね4月、5月って、そうやってですね、全体の中ではコウっていうのがそういう中から、こうね、決まってくるんでしょ。
1:39:53	そうですね。それを放ってね。
1:39:56	なんだけど丸投げしてるから、わかんないんだよ。そうですね。はい。
1:40:00	はい。
1:40:01	割り掛けしてるんでしょ。
1:40:05	そうですね。はい。
1:40:09	いやだからさ、何もSteeringチーム勝ち取ってねえってことだよ。はい。
1:40:15	そういうことになる。はい。やってもらって、これ、だから、だからね言い訳にしたものなんかもいいですかね。詰まってないんだよ、いろんなことが。はい。
1:40:28	音倒れからすりゃもう丸投げなんだよ。
1:40:32	だから、詰まってないからチェックできないってことよ。うん。
1:40:37	はい。
1:40:38	だからね。うん。言葉を保守的って書いてあったんだよとかってきつめないんでしょ。
1:40:45	はい。
1:40:47	だから、
1:40:49	あれだけ大田スペクトルで何、
1:40:53	うん、それぞれに今まで足りないよね。
1:40:57	さっき言ったじゃん。
1:41:00	不確かさどうすんだアトベです。
1:41:09	強い不確かさっていうのはさ、ばらつきっていうのはさねそこにある応答スペクトルのばらつきじゃなくて、モデルに戻ってくるんだよ。わかりますから。
1:41:21	これは基本
1:41:24	同じ施設は好きでも、
1:41:34	のぶっちゃけスタートが違うんだよ。はい。
1:41:40	ただSHAKEのモデルとばらつきを加えてくるのがいるんだろう。
1:41:45	ね。
1:41:51	SHAKEのモデルにばらつきを、
1:41:54	加えたものっていうのがいるわけだよ。

1:41:58	それをずっと我々地方的な話です。
1:42:04	ええ。
1:42:06	はい。
1:42:13	うん。あれを、規制庁アベですあれは、今メニューとしてこう出ると、全部アウトプットだ。
1:42:22	どこまで3月に出すんで、ばらつきの係数の関係もスペックというものは出すんですか。それも全部だけじゃない。
1:42:29	すいません日本原発ですけど、全建屋かどうかはすいませんちょっと埋め込み深さが同等ならまとめるとかっていう検討はすいません、今までちょっとできてないので、そこはまず、大体各グループ、
1:42:40	代表立山ニワSEそうですね、はい。
1:42:44	ばらつきに関しても、
1:42:48	全部開けて、
1:42:50	それはすごいですよね。はい。
1:42:57	でもそれが今、周辺が入ってるグループについて、
1:43:02	この前期を出すイメージであるからこそ、周辺だけしか無理かなみたいな話が始まっていたんだという理解をしています。まだですね規制庁が多いですけど、ばらつきについては、
1:43:15	次回まで違うんですけど、こういうまずばらつきを考慮するとこういうモデルになりますと、いうのも、今、54ページ、これ基本ケースですから、こういう考えをしております。
1:43:26	これがいいのか。
1:43:29	うん。そうすること。順番が、
1:43:50	どっかばらついても、
1:43:52	すみません、だからそれは極端な話、どうしてもやりました。
1:44:00	久慈さん、どこですか。
1:44:05	とらわれる日
1:44:06	じゃない。
1:44:10	センターの範囲。
1:44:12	として、このぐらいしかもともとないですと。
1:44:15	ていうのがあるでしょう。はい。
1:44:17	そういう中でどうするかって言うのが、っていうのはあるんだと思うけどね。
1:44:24	ワンシングマってどの範囲なんであつてもとの5ポツぐらい実は戻る。
1:44:31	使えます。
1:44:33	そこの話なんで、クボとのお話そうそうそうそう。
1:44:41	あと規制庁ハマダ技術、例えば47ページで、

1:44:46	今回減衰型の
1:44:48	5%、これ申請時と同じなんですよね。
1:44:53	岩種によらず、人によるすべて3%。
1:44:56	いや、例えば一般、
1:44:59	でも実際は、1釜のところにあるように、岩種によってこのHって違ってくる。
1:45:05	ですよね。
1:45:07	で、例えば今5%。
1:45:10	この仙波コウ引かれるような、泉、
1:45:13	クリタ1.5%と考える。
1:45:15	なりますという、それ岩種によってですね、5%っていうのはどういうレベルなんだかっていう説明を、自治会なのか、それ以降何かこれ説明が必要だと思ってますので、
1:45:30	ここは準備して、日本原燃合わせ、
1:45:34	しました、ウエダのどこまでのひずみからいわゆる散乱ごみの減衰が卓越してこのぐらい超えると、ちょっと材料減衰、
1:45:42	先見性が結構ハタケする領域になるよね。ちゃんとわかるようにすべきだというのは理解し、
1:45:47	そうですね。時間かもしれない
1:45:51	ちょっと確認。
1:45:53	監修やってる5%。
1:45:55	今ミヤモトやよくちゃんとね、考えた方がいい。うん。はい。
1:46:06	考えます。はい。どのか岩木をつけないといけないんだけど、今ので、そんな感じですよってそんな感じだよってなったとしても、それ以外のことをね、もうその時点でそれだけあればいいんだと思う。
1:46:20	てるんだよ、いつもね。
1:46:21	そうではないからね。
1:46:24	はい、わかりました。
1:46:25	様々なことをちゃんと考える。その一つのね、最もわかりやすい事例を言ってるだけかもしれない。
1:46:40	そもそも何でそういうのがいるんだっていうところにちゃんと立ち返ったときに、これもあるよねとか、これもあるよねっていっぱい出すわけよ。関連するやつ。
1:46:54	です。この絵だけじゃなくって、他にも、
1:47:00	減衰については材料源泉地
1:47:02	それも
1:47:04	意味合いはちゃんと確認。

1:47:12	もう、
1:47:13	南波支店と、
1:47:16	うん。
1:47:17	作っています。
1:47:19	いうだけですか。
1:47:21	特にます。今日の進め方でもはい。お話いただきましたように、この出てきた地震力の、今後の設計への適用のやり方についての、
1:47:36	我々の考え方の議論を始めさせていただく。
1:47:41	必要が、
1:47:42	あると、いうことなんだと思っておりますけれども、3 末時点で、どこまでちょっとお示ししようかっていうのは、これはね、次回以降でどう考えるか。
1:47:55	うん。どう考えたって無理じゃん。3 月。
1:47:58	ていうかそこまでもかけないような、全然使ってないもんね。うん。
1:48:06	だからもう、今、最後のまとめのところに書くのは、入力地震動の策定のところまでしかもう書かなくていいから、
1:48:16	はい、はい、しょうがねえか、処理しました。
1:48:23	その見積もりぐらいですねそれがあとね、何か、何ヶ月ぐらいかかっていますとかさ。
1:48:30	全部それをやり切るまでに、このぐらいかかりますぐらいの。
1:48:34	で、3 月はその一部のこの辺までは出てます端部の位置ですとか、
1:48:40	そういうことだよな。
1:48:46	ぐらいでいいよ。
1:48:48	無理だよ。
1:48:51	はい。
1:48:54	ふわっとして、ずっとせてるんです。
1:48:59	いや、こっから先言っても、緻密にいかないとき、本当に、
1:49:04	もう絶対後戻りできない。
1:49:12	うん。はい、規制庁じゃあ。
1:49:16	滑つ呉、時刻歴とスペクトルが出てきたけど、
1:49:20	今現状申請されてるものと、波との対処関係みたいなの思ったら、
1:49:26	自分で一生懸命、
1:49:27	授業をめぐって、
1:49:29	エミ、
1:49:31	倉野セキヤマセンナソヤそういう状況になる。
1:49:47	は、今後の対応のところ、何かありますか。
1:49:56	と規制庁からです。

1:49:58	あと残るのは前半でそのコメント対応みたいなところ
1:50:04	どうですか、一旦休憩かどうかなんですけど。
1:50:09	規制庁側で、
1:50:10	確認したいことが全然ないんだったらさっと思っちゃうんですけど、
1:50:16	そうですね、規制庁の土岐ですけども、これ昼前。
1:50:20	申しわけない行政が変わるし、カワセも河津。
1:50:29	いやでも、個別のパートナーがチェックできるんじゃないかっていうと、ちょっとその辺はカナイ、これは鹿島さんも言ってあるやつまた再度ちょっとブラッシュアップしながら、
1:50:40	所々、若干ちょっと、はい。
1:50:42	とりあえずそんなにたくさん設計する形で一旦、
1:50:46	休憩いいですか。いいですか。
1:50:50	はい。
1:50:50	集計いたしました。これ次回、次回、
1:50:56	次回、
0:00:00	録音佐伯、
0:00:03	スズエ、
0:00:05	では
0:00:09	飛ばしました。
0:00:14	一応、国交確認。
0:00:19	触っていければなと思ひまして、
0:00:22	まず、9ページの
0:00:25	もう話で、
0:00:29	規制庁バックアップ説明しておきたい。
0:00:31	もしくは、
0:00:35	はい。
0:00:36	9ページこれは中央に関しては、
0:00:39	衛藤。
0:00:41	これ、
0:00:42	建設というか、昔の板叩きのときの崖があったという、それを、
0:00:48	分析したという理解なんですか。これは調達本部でございます派遣があったわけじゃなくてですね、報告書に、はい。これらの図が載ってたもので、それを、
0:00:59	今使ってちょっと分析をしたという、ところですね。
0:01:03	フーリエしかなかった。
0:01:05	フリー。これフリースペクトルを入れない。はい。
0:01:09	スプレッドにも繋がってそれで、中央地盤に関しては

0:01:15	性状がよかったとか。
0:01:17	狭いんですけど、現状ですけど、周期は狭いなりに、ここ自体は形がちゃんと下まで波が伝わってるのが見えたんです。狭いなり、
0:01:25	しちゃうんですね。
0:01:26	それで、そう、ちょっとこれに関連するのは、
0:01:30	先ほど
0:01:33	今回の石油地盤を設定する時に、今回のサー検層に既往のこの結果も確か、
0:01:42	採算とった。
0:01:43	もう結局この、
0:01:45	既往の、
0:01:47	エザワ検層のデータも、
0:01:49	平均化というか、睨んで使っているわけではない。はい。日本原燃オガセ今、ハバサキさんがおっしゃった通り、そういういわゆる
0:01:58	つなぐような線を引くときには見ていません。それに対してできた後にちょっと参考としてみて、どれ、どういう比較になるかというところを見るための参考としての扱いにしていると。
0:02:10	はい。はい。はい。そうずっと、41 ページ。はい。ここ 5041 ページの、
0:02:19	右下のね。
0:02:21	この
0:02:22	アノダテの趣旨っていうね。
0:02:27	あの、この時に見るのかアノニワケットクですけども、この時にこれからこの平均化するときには、この、はい。これだけで平均化、ここにいる方じゃない、いつです。はい。
0:02:40	5 年サンポタダエンドウオガセですけど、一応、文章では一番下の矢羽根がそうなんですけども、できた 1000 に対して見てるだけですよっていうのは、あくまでさ。
0:02:50	と書いてますが、この図に入れるとはいそいですね。何かさっきの位置付け踏まえると作る時に判断に使ってわかったんですよ。
0:02:59	そう。
0:03:01	ちょっとそういう規制庁浜辺です。誤解を生むもので、ここのデータ学科については、うん。
0:03:06	はい。日本原燃恥ずかしく思いました。イトウにあったよ。
0:03:12	はい、喜多和気です。あと、引き続いて、10 ページ 11 ページ。
0:03:18	ごめんなさい。10 ページかな。
0:03:20	ページに関しては
0:03:23	柳下イシカワに関してはフリースペクトルの、

0:03:27	30センチぐらいのところろの傾向が、まず上が良くなって、結果的にこれが谷を、
0:03:39	うん。
0:03:40	飛田稲本ですね、谷が原因。
0:03:43	いうことで、これは、
0:03:46	計測誤差。
0:03:48	日本原燃のオガセです正直、ここの原因特定は結構難しいと。
0:03:55	て言いますあの誤差ではないと思ってますというのも、やっぱこの谷自体は、全部の深さで出ている。
0:04:01	その浅いところでも、もう、でも出てる一番浅いところに出てるってことは、
0:04:06	起振したたいたときの揺れ自体がそうだったかもしくはこの16メートルの深さなんですけど、いわゆる表層終わって岩盤入ってからの波なんですけどもしくは表層のところこういう波の形にシフトしてる。
0:04:18	かもしれないということは考えられるんですがちょっとそこを特定までするのはちょっと、
0:04:23	難しいなというのは、はい。
0:04:25	1点。
0:04:26	はい。規制庁、青井ですいずれにしてもですね、今回の、去年行ったアノシカワについては、会議の中で指摘をさせていただきましたけれども、
0:04:36	建設時の時のそういった傾向は、直接、
0:04:42	指摘の内容とはちょっとさらに、
0:04:48	先の話っていいですかですね、それに関与する話であって、そこに対してもしっかりと分析をされていると、いうふうに理解してますので、この、
0:04:57	内容に関しては、理解しましたし、ただ、扱いとしてですね、
0:05:03	あまり公然という。
0:05:09	注意して、
0:05:12	私の規制庁私の方から11ページまでは以上。
0:05:21	規制、
0:05:24	10ページはサンポだっていうんだったら、何のサンポでした。
0:05:29	何もしないんですね。いえ、何もしない。
0:05:38	S波を取れた。
0:05:40	台数の話。
0:05:43	ぐらいだとすると、41ページは、
0:05:46	もう、

0:05:53	傾向がある。
0:05:57	で、
0:05:58	さらに 11 ページは、サンポにもしません。入ってますね。はい。
0:06:06	元に合わせておっしゃる通りこれはもう離れてるから、もうこれは、
0:06:10	どっかの建屋内、
0:06:11	使うデータにはちょっと、
0:06:13	ちなみにちょっとばらつきももともと大きいですし、というのはすいません、これは参考カセ
0:06:23	井清。
0:06:30	いつか来てないですけど私この 9 から 11 ページって、耐震性の 8 の、
0:06:36	防空扱い程度でいいかなと思ってたそうです。
0:06:42	あえて会合で説明いただかなくてもいいかなと私は、
0:06:47	それは、
0:06:49	日の全体はい。
0:06:51	ですね、ここちょっと気になっていただいたコメント全部拾ってる脳は、前回の会合で、コメントをちょっとやっぱり取った形でお示ししないという、
0:07:04	ないのかなと。
0:07:05	いう思いで、これ全部拾ってますんであんまり、そういう意味では、おっしゃる定義を考えないと、
0:07:12	そうじゃない。それはどちらもちょっと去年実施してあげた西側に、やっぱりこう、
0:07:20	そこの形があったんで、その時に指摘のときに、いや、
0:07:25	旧のものでも結構 RC とは言いましたけども、
0:07:31	今回、
0:07:32	そういう意味では、
0:07:34	去年実施されたり市側のそこを打つような傾向っていうのは、
0:07:39	減衰の設定のところで、えさ検層サノ、減衰の設定のところで、リニアではなくて若干
0:07:47	多分つけさせている。多分、上げてますよね。そういったところで反映されてるといふふうに見てたんで、
0:07:59	うん。
0:08:00	あんまり壊れない。特に必要性がそんなにない。企業、
0:08:07	先ほどの結果に対しては
0:08:11	回答は、
0:08:12	今、甲斐権藤の回答は、
0:08:18	内野課長。

0:08:21	ゼロは反映するといたしまして、今介護のパワーポイントでは、一応コメントリスト的なものを頭につけようとしてる。
0:08:31	ですけども、ここからは、
0:08:37	18 で、08 年かというだけだと何か答えないんじゃないですよ。
0:08:43	そうですね。すみません。会話での質問に対する回答という位置付けなんですけど、西郷の質問は、はい。2 月 5 日の会議をしていきたいです。はい、そうです。
0:08:53	私がまずうちに聞いて、管理課から、
0:08:57	ゲットしてる。
0:08:59	うん。いうことについて、
0:09:02	それぞれのことですね。はい。
0:09:06	小崎さんが言われても、ハウジョウ地区で、
0:09:09	はい。私はもう認識なんですけど、イセちゃんですけども、たださっきも言ったように、
0:09:17	前回の会合で、
0:09:19	費用の 3. 草木のヒットキーについて、
0:09:24	言及した覚えはない。
0:09:28	あくまでも、今回、実質 1 度イシタえさ検査をニシナ付けて、
0:09:34	アンケート作成とか、多分河崎さん。
0:09:37	ずれてる。
0:09:39	この間の会合だと最初に記者さんの話をした。
0:09:43	既往の、
0:09:44	S 波の話の今、回答を受けていて、そのあと浜崎さんが聞いたところの回答はここには、してしまうわけです。
0:09:54	石田さん、私、管理官から言ったことに対する回答だと、ハバノ、現在同じです。佐々木さんのご指摘、6 番、
0:10:10	ニツタの基本費用じゃないやそういうデータに見られるような傾きとかちょっと谷みたいなのはなかなか結構踏まえて、どういうふうに減衰を整理していくかっていうところをきちんと整理、丁寧にやることっていうご指摘いただいているそのこと。
0:10:23	はい。どちらかというとそうですね。
0:10:27	すみませんそうすると、
0:10:29	私が例えばこういう話が、
0:10:33	19 ページから 10 ページ。
0:10:39	外す必要はない。
0:10:43	今後、言い換えはセンター集約とか、
0:10:47	ちょっと整理はとりあえず日本で受けてください。

0:10:52	特に9ページ10ページのこの参考データと扱うというのは、どんな参考なのか、扱うのか扱わないのか含めて分析はこうだと思んですけども、どういう扱いするのかっていうのをちょっと少しもう少し
0:11:03	内部で検討して、反映させていただきたいと思います。
0:11:11	もしくは話しますが、についての右下の、
0:11:14	左側の
0:11:15	はい。
0:11:17	高沢、これ。
0:11:19	20、
0:11:21	日本原燃のオガセ06、
0:11:26	荒常務から聞いてて、ごめんなさい、日本原燃、これ、すみません、Bの図が多分、すみません右左切れてました116118120のはずです。すみませんこれちょっと表記が、
0:11:39	はい。聞いちゃいました。はい。
0:11:50	11ページは、
0:11:52	同じ。
0:11:54	具体的に宿泊、
0:11:56	野瀬1、
0:12:00	場所が遠いから、
0:12:03	言いながら、
0:12:06	でも場所遠いにして、
0:12:07	場所っぼいんだっつんす。
0:12:10	そのあと何もしなきゃいけない。
0:12:12	ふうには書いてない。
0:12:15	5番、はい。
0:12:20	使い方を考える前に、
0:12:23	話。
0:12:28	先ほどの先ほどの、
0:12:31	西中央西と同じ。
0:12:34	同じどう扱うのかどうか、もう一度考えて書いて、
0:12:39	はい。
0:12:42	五味です。
0:12:44	続けてよければ、12ページの、
0:12:49	2番ですか。
0:12:53	これはあれですか、一応抜いたデータでやってみて、それでも見た目的にはそんなに変わらないでしょう。

0:13:03	はい。当然設計のものでございます。前回のご指摘です、このW案とNo.8 が近くにあつて、これ同一のコウダとすると、ここで近江がつくんじやないかというふうな、
0:13:16	お話をですね患者さんの方から、
0:13:19	コメントいただきまして、我々もちょっとその点は最初からちょっと気にしててですね、ただ、もうこの範囲でいいですかこの 12 ページの左側に書いてある上の水色のところでですね、
0:13:32	もうすぐに年内にですね観測できるのが、
0:13:36	この 2 行しかない、我々が欲しい値をとるのが 2 行しかないということで、
0:13:41	やりました。まず、結果としては、32 校っていうのは、
0:13:47	この絵と、
0:13:49	右側の絵の一番左側、これはですね大体、それで基本的には、どちらを抜いてもですね、
0:13:58	ほとんど会期が変わらない。
0:14:01	駅に若干玉アオヤマがですね。はい。大丈夫です。
0:14:09	なんで、W2 が入ったことがかなり大きくてってことですかね。
0:14:16	同じ県のものでございます。ダブリが入ったことで、新藤小依存が、
0:14:21	アノか、この深さ方向で確認できたということになります。
0:14:26	平均。
0:14:28	はい。
0:14:29	規制庁。
0:14:29	とりあえずわかりました。はい。あとは、
0:14:32	細かいところを見て何かあれば、
0:14:35	はい。
0:14:39	次、13 ページ。
0:14:42	ソネ。
0:14:44	あたりで何か、
0:14:50	が、
0:14:52	文章の 0 点で、
0:14:57	各管内、来週踏まえた設定をしているんですけど、導入 1、
0:15:04	はい。はい。日本原燃のオガセでございます。これ一の意図しているところについては、いわゆるおんなじ足のダーツとみなせるような、
0:15:14	話があるわけなんですけれども、そういうものをこの間の会合でのやりとりもあつた通り慣習が違っても速度が一緒ならば、平均化しますということをやっています。だけれども、その時に、いわゆる

0:15:27	四つ例えばコウがあったとして、三つの項では、もうとあるAの岩種が全部ある。Dの岩種とあるAとBっていう漢字がまじっているというところであれば、そこは速度構造に影響ないのであれば、もうそこはもうBの話としてはもう無視してしまって、というところを、重みがもう、
0:15:44	大きいものとして、代表して監修1個設定してあげるというようなそういうことをやってますという、
0:15:52	判断して、はい、日本原燃のオガセです深さに占める割合だと思っていただければと思いますちょっとイメージを見ていただきたいのが下のカラフルな、左下の図ございますけれども、
0:16:03	これが0メートルから-40メートルぐらいの層をご覧いただきたいんですが、ここって、
0:16:11	左からピンクオレンジの岩盤、次もうピンクオレンジのが、次はほぼほぼピンクで、4番目は黄色ピンクのがんっていうふうに分かれているんですがこれのいわゆる層厚の支配率的なところでいくとピンクが一番、
0:16:24	多いですのでここはもうピンクの版として最後平均化後には入れてますというような、そういう意味で、重みをつけて、一番支配的な岩種を設定してあげてますというよりは、
0:16:33	村長。はい。
0:16:34	今、0から40メートル着目したそうです、着目する深度書いちゃうとまた事業評価、
0:16:40	今の考え方って、
0:16:42	すみません、誰がどう見てもそう判断っていう考え方です。そうですか。日本原燃おかしいです一つ補足させてください。あくまで、ここで今私適当に今0から40と言ったわけではないです。いわゆる速度境界があるそうで、平均化をするというまず速度ありきで層境界決めてるんですけども、
0:16:59	何でその同じ速度とみなせる層の中で、
0:17:02	岩種が支配的などれだっというのを確認してるってそういう意味でございます。
0:17:07	はい。清町長とりあえず、
0:17:16	規制庁か。
0:17:18	この右下のグラフのところに友好センターのひずみの範囲とか、
0:17:23	マークしてますけど、これって何、何が言いたい。
0:17:26	はい。日本原燃のオガセでございます。これご指摘いただいたときの趣旨がこれだと思ってるんですけど先ほど私申し上げた通り、結構岩種が結構まじっているさっきのオレンジとピンクと黄色の層がまじっていると

	ころ、ピンクでこうまとめ上げてしまっていますとっておりますけれども、
0:17:42	じゃあ、仮にこの黄色のがんがんをちゃんと宗田のちゃんとじゃないなその黄色の願を仮にここに考慮したとしても、この程度の我々の我々じゃないなこの岩盤のひずみレベル 0.3 とか 0.02%とかのところだったら、
0:17:56	仮にどの岩種を置いたとしても、全部ひずみ依存の剛性低下率ですか、は変わらないレベルになってますよという、だからどんな話を、この辺にいるものを入れても、そんなに変わらないのでここで代表として、ピンクの間で代表したということは問題なかろうとそういうことを説明しています。
0:18:13	はい、規制庁さん。
0:18:16	いうのもちゃんと書いてねっていう圧すると思うよ、もっと。
0:18:23	はい。
0:18:25	まずは図の番号とかを入れなきゃいけないし、あとはそれで、
0:18:31	図の、
0:18:33	何で示すようにこういうことですよっていうふうには、
0:18:37	一応知っというて欲しい。
0:18:41	減圧言っってあんまりごちゃごちゃになっても、4 キロちやうし、ちょっとサンプルにも、場合によっては図になんか吹き出しつけるとかのほうがわかりやすければそうしますね。はい。趣旨、
0:18:55	はい、規制庁から 3 番よろしいですかね。
0:18:58	よければ、次 14 ページの、
0:19:05	全くと思います。
0:19:09	そういう基準です。
0:19:14	左下の図面ですね、赤いもので、
0:19:18	有井さん。
0:19:20	上盤側データとして選定ってあるんです。
0:19:26	Bなり、
0:19:29	一番下の一番とか一番X通行ですね。はい。これも断層が途中では 3 本のデータが、
0:19:40	3%、なるほど。
0:19:48	はい。日本原燃の間瀬です。これいわゆる断層の影響確認というところで、建屋の東西南北たんで、何かしらのモデルを決めてあげましょうという時の決め方の話をしています。

0:20:00	そういったときに、直下の一番エックスバー通行ってところなんですけどそこってとある深さで切り替わってしまっているところをもうすでに宇和版とした場がまざってしまっているようなところですので、
0:20:13	いわゆるじゃそれをじゃあ、そのデータに基づいて、なんでしょうかね。建屋の端っことかのところに持っていくっていうのは何なんでしょうすでにもう上側下盤まじってしまってるデータをピュアのババに、
0:20:25	切り換え読みかえるみたいですよごくちょっと不自然だと思ひまして、やっぱりデータとしてピュアな版として出てるデータと、データとしてピュアなアシダ版として出てるデータを合体させてその
0:20:35	何でしょうかね、場所場所のその切替わりの状況を判断、評価してあげるのが、この評価上は正しかろうということで、そういう精神手当、
0:20:43	です。
0:20:46	では、G10、
0:20:49	3、
0:20:50	分担のモデルをどう仮定するかということで、例えばから離れた部分が、要は、
0:20:59	建物の東端、かなり近いところにかけて市南ちやうっていう気はないため、
0:21:07	現状、両方あまりサンポに近い。
0:21:13	はい。日本原燃のオガセです実際、おっしゃる通りでしてちょっとここはいわゆるまぜこぜのモデルを作るとごめんなさい。
0:21:23	やはり
0:21:24	何ですかね、アノの東端。
0:21:27	東西南北丹野モデルを作るときは、コウダとこういうふうにしてますというふうにしてますが、実際に応答の比較をしている前回の4ポツのところの、
0:21:37	自重用のデータの整理のところでお示しておりましたけれども、その時には、いわゆる市場X通行に基づく地盤の応答も比較対象として上げているところがございますので、
0:21:47	当然その直下のデータを全部棄却してるところではなくて何かその直下の物性を使ったら、じゃあその今のピュア岩級アシダババから出てきた漏れの欄に対してどれぐらいの比較になるかという考察をしておりますので、
0:22:00	何でしょう、こういう層境界をいじくるような、なんていうんすかね。
0:22:04	作業には使わないけども、音の比較対象としては当然、エントリーはしているという、そういうような位置付けになってます。

0:22:10	ですねこれって多分すいません今回4ポツ、ちゃんと古宇バージョンとか刊本的なもので作り直しますけれどもそうすると何かその辺の位置付けがちょっとわかりやすく見えるのかな。
0:22:26	議論
0:22:28	はい。日本原電の方が、
0:22:31	俗っぽくて申し訳ないです。
0:22:35	本田ジンノ委員ちゃんと使う、離れたところ、これはどうなのっていう質問に対してとして、簡単になんぼ。
0:22:45	いつもこっちでも比較してますっていうふうになってる。
0:22:49	日本原燃オガセです。了解いたしました。そう。そうなりますと、いわゆる
0:22:56	はい。はい。いわゆるR5-9 参考っていうところの指導区分、
0:23:01	を見てみると、いわゆるG14 の西の端っこと同じ指導区分になっていて、もう、いわゆる同じ地盤とみなしてもよからうというところの判断だと思ってますこの、
0:23:13	24-28 とこのR593 はだからそのデータを使うには問題ない。当然それは岩種の深さ分布とかを見た上で判断しているという、
0:23:22	3% ^⑬ はこれしかないんで、確かにそうかなと思うんですけど、そのババ rod、旧与儀家解釈だけ言って何とか1のところ見せない質問です。
0:23:34	わかりました。了解ですごめんなさい。うん。そうですね。日本原燃のオガセです。R5-9、ごめんなさい違う。一番Xコウっていうのがですね、実際どこを通ってるかっていうと、
0:23:46	ちょうどこの真ん中のG14 のEW断面の図の、
0:23:51	どの辺って言えば大体コウタテヤノ、真ん中よりちょっと右側ぐらい、上盤側の坂野字ぐらいのところの、だから、一番、
0:24:02	その状態充実どうぞっていう文字のある辺りじゃないか。そうですそうです。だから、このナカ発生時って、近いところにあったんじゃないかなと私は、
0:24:13	はい。はい。日本原燃オガセサノ近いところという意味ではおっしゃる通りですタダ下盤側の地盤がちょっと下で出ている。
0:24:21	コウになっています。はい。
0:24:24	カットインして申し訳ありません。
0:24:29	直近のものを何で使わないのっていうお話だと思ってるんですけども、ここで江藤御説明する東西南北丹の
0:24:40	推定のやり方を一般論として、もちろんここではお答えしてるわけですがけれども、一般ところを東西南北丹野、地質構造を、

0:24:51	決める時の統一的な考え方として、ヨリキバババが、支配的なところ下盤側基本的なところを、それを
0:25:01	できるだけ持ってきて、その2点で、その直下の東西南北段の実構造を推定してやりましょうというのが基本的な考え方ですというのをまず述べています。
0:25:15	この考え方に基づいて、ここのに重要なところをやろうとすると、そういう、より良いは坂の三野仁木買い物したもののみに近いものを、
0:25:27	持ってくるとこの2点になって、その考え方に基づいて設定したらこういう風になりますということを言っていて、実際にですね、東西南北たんでの応答とそれから、その直下としての、もちろんこれは或いはこのですね、ボーリングありますから、
0:25:46	これに基づく凹凸はもちろん比較して、厳しいところを、休職といいますか影響を見ていくという考え方になりますけれども、許可は、もちろんその直下のもの、
0:25:57	で、影響評価自由度は当然、ナカハタをこういう考え方でとりますということをこれ説明しているということなんで、その他のものが登場しないって、ちょっとすみません的外れたすみませんけど、ちょっとそういうことかというふうに理解してます。
0:26:13	はい。
0:26:15	そうですね。あとですね、東西の北端とこの道なんかは後日、
0:26:24	現地のアンテナを使うよりも、東端の方が本当は大きいです。
0:26:29	東端については、
0:26:31	野原れた人を使うので、間違いなかったという現象があったんですね。
0:26:37	1点だけですね、東端のほうが大きかったと、というような大きかったから小さかったからいいということではなくて、
0:26:45	東端は東端で、そのピュアバンクや下盤のデータをもとに、ここの東端のところの下ですねエキスコードに相当する、
0:26:55	構造っていうのを設定してやって、その東西南北それぞれで応答は見るわけですが、
0:27:06	それで影響が大きければまだあと設計の時にも確認する暇小さければ、そういうことだねということで理解するというのがそういうふうな格好になっていて、
0:27:16	だから後のセキのときに、確認せねばならんことをここでは、頭出ししてるっていう格好になってます。
0:27:24	はい。何となくわかってきましたです。
0:27:28	結果、

0:27:29	前回の審査会合の説明だったんです。もうその時点と比較したら、一男とか、
0:27:39	人口優秀で、必ずしも大きくないとか、他の地点が大きくなる場合があるので、はい。設計地盤モデル設定においてそのことに配慮しますって言って終わってる。そうですね。そうですね。だから、
0:27:54	結局、ここどの使うデータを使うのがいいかっていう結論を先送りしてって、
0:28:02	最終的に設定地盤モデルの段階で反映します。はい。そういう説明に繋がるその途中過程です。
0:28:09	そうです。
0:28:11	はい、わかりました。じゃ、
0:28:13	それを受けて、今回どうなってるか。
0:28:15	うちのページで出てきますんで、そのとき、
0:28:18	関連してしまいました。
0:28:19	このページをすると、
0:28:23	規制庁さんですか。
0:28:26	ミイ。
0:28:27	支援者として来ていただいている。
0:28:31	明石さんたちは、
0:28:33	もう細かい話しかないんで、あれだったら時間大丈夫だと思います。
0:28:40	お任せしますか。
0:28:42	あまり、
0:28:43	前半の方でちょっと、
0:28:53	平井です。
0:29:02	次、続けて、10 ページですかね。5 番でいきます。
0:29:09	規制庁青井です。16 ページのちょうど真ん中ですね。ミイ。
0:29:14	はい。
0:29:16	2 は、表層とC層の
0:29:20	まずモデルとしてはこの一番左のモデルのその表層の中層の、
0:29:27	海外におけるミイを書いていただいて、
0:29:31	いうことでよろしいですか。はい。
0:29:33	はい。
0:29:34	そうです。はい。ちょっと、そういう状況を書いていただければ、というのと、
0:29:39	あとこの
0:29:41	グループの代表、

0:29:44	この程度だというのがわかりましたので、はい。これはこれで結構です。かしこまりました。そういう比較 1 とかの条件の話と他のグループの
0:29:52	17 ページにするとか、
0:29:55	はい。
0:29:59	これは全部はいらないんでしょうか。
0:30:04	もし東中央ぐらいあれば、正直それ。
0:30:08	あんまり。ただちょっとそうであれば、あれですね。
0:30:13	ここはそれだけ書いてあって、08 で、
0:30:17	禁止するというような格好になってなるのかな。
0:30:22	清長官もそれでいいと思いますし、いずれ 8 は介護マニュアルで、
0:30:27	良いっていうのがあればそれはまた介護に入れてもらうって話ですから、はい、そうです。はい。
0:30:35	基本
0:30:36	1、
0:30:37	回答一部 1 枚が遺贈はそうですね。
0:30:43	ちょっとこういう言い方じゃないんですけども、後ろに付録としてちょっと付けるっていう形で、この中で完結させていただくっていうのもちょっと違うかなと思いますんで我々の中でちょっとさしていただければというふうに思います。はい。
0:30:59	はい。
0:31:03	次。
0:31:08	次、18 ページですね、要は坂委員
0:31:12	もう、
0:31:15	当然、
0:31:18	これは、そうすると、元のオガセすみませんアリマでしょうかね、これ結局今、前やった 4 ぽつ全体を復活させてやるのでまずその反映っていう形になるんじゃないか。
0:31:28	QAみたいにコウ徳田する形にもならないですか。はい。それだけです。はい。
0:31:36	はい。引き続いて、都築委員が 20 ページですね。
0:31:42	回答が 21 ページにありますよう各グループの状況を、10 番目、予測状況。
0:31:50	表層地盤の状況ですね。
0:31:53	タテ中の状況を、
0:31:56	正確に説明してくださいということで、今回グループが追加させていると思っておりますんで、
0:32:03	これも、

0:32:06	介護資料としてはこれだけでいいかなという、ただ私、その下のCBのところだったんで、はい。
0:32:13	CDのところだけ、まず回答いただければという。はい。はい。マエネオガセisアノスミエすみません今回周辺でむしろ統一したんですが、むしろコメント回答のこういうパートでは、CDOの塩田佐瀬ハダ方がいいかもしれません。
0:32:29	他のグループに関しても同様なやってるっていうふうに作ってます。
0:32:34	ちなみに 21 ページの右側の断面で、これ、
0:32:37	オレンジがウメダです。
0:32:40	はい。日本原燃はおっしゃる通り、オレンジが、
0:32:44	できればそうなんです。はい。日本原燃オガセおっしゃる通りですね右左側の図と色を合わせる。
0:32:53	はい。はい。逸見前村君、それぞれで結構です。それと竹山があるんでわかるんですけどオリエンテーションですね。
0:33:02	耳が来たとか、そういう話も、
0:33:05	できたら、断面図で、はい。
0:33:07	上、
0:33:09	N-S断面は、A、Bがない。
0:33:15	左がキタニない。日本岩瀬申し訳ありませんがこれはちょっと抜けては、はい。法学わかります。
0:33:25	はい、お願いします。はい。
0:33:30	はい。来てた方がいいです。20、20 ページまで。
0:33:34	一応、
0:33:39	はい。まだ、いや、
0:33:42	はい。
0:33:45	23、4、
0:33:51	24、これはさ、再掲する。
0:33:57	冒頭、萩野です。冒頭のお話ですねアノにコサクジンプつ再掲で、ユリするということになりましたからそこにこれは吸収されていく形になるかなという。
0:34:12	はい。
0:34:16	を、
0:34:18	前回でいうと、
0:34:21	宮地 14-
0:34:25	当てはめのところですかね。
0:34:27	下水道するって話が一応最初話しました。
0:34:32	あれもリストとしては、

0:34:36	8 ページかな。
0:34:38	には一応入れておいて、1 から 7 まではほぼ一対一で紙資料です。
0:34:47	順番だけ。
0:34:48	8 は、
0:34:50	エスペック、
0:34:53	のところで、
0:34:56	説明しますっていうのが 8 ページに書いてあって、あとは、
0:35:01	具体のところでは前回通しまして、
0:35:04	湯浅さんが、
0:35:05	考えましようとかさっき言っていたみたいに、
0:35:08	一番、
0:35:11	構造を見て、それぞれの当てはまりそうなものでやっています。
0:35:16	もしみたいで、
0:35:19	会合で、はい。
0:35:21	説明して、
0:35:27	しました。
0:35:28	はい。
0:35:30	一応一通り遊びましたけど、あの話、
0:35:34	また副長さんも何かあるんでしょうけど、サンポII
0:35:37	うん。
0:35:48	全国の事業。
0:35:55	先ほどのお話と、前回の会合での説明からすると、授業のモデルを組むボーリングで、
0:36:04	先送りという、
0:36:06	基本事項の設定の際に、没水の設定なんかも考えますって言って結論付けて、
0:36:11	うん。
0:36:13	ここで一番使う結論。
0:36:17	ないですか。日本原燃オガセです確かにここで何かこう断言してこれだけに決まりましたっていうわけでは、すいませんここではないので、記載きちんと記載が適正化されるべきだと。
0:36:27	先ほど申し上げた通り断層の影響みたいなのもちゃんとやって、どれがおっきいかなのかなそういうふうな検討をして、最後どういうモデルにするかというのはまだここで宿題残った状態のもので、ちょっとここは北井がこういう断定的な、
0:36:41	ちょっとするのは早いところでしたので、

0:36:47	それはもう、後段でっていう、
0:36:49	そのコウダの説明、今回の資料の説明、原燃の岩瀬です。これちょっと先ほど堀田の質問でもあった。
0:36:59	50 ページのところで、
0:37:02	今後生まれることになるんですが、ちょっと今日はちょっと、
0:37:06	一時、
0:37:07	50 ページのところで、ポツのところの口断層による岩種分布の違いが、及ぼす影響の確認はちょっと今後、ここで追記させていただきます。
0:37:16	いただくということで、今ちょっと押しているところです。
0:37:22	開会后、
0:37:24	2 月末で説明するの、来週以降、
0:37:32	すいません。
0:37:44	中については、オオキの、
0:37:49	当然ドクターはどこへちょっと落ちてても比較する上で決め決める条件としてはPRはしたものですから、説明はなかった。
0:38:00	G16 という施設に対する、
0:38:03	自信を一番持って計算する。
0:38:07	の話だと思います。
0:38:09	多分違っちゃう。
0:38:12	そうですか。うん。先ほどと同じになりますけど、特に 1 何とかっていうのは、この施設、すごくキムラあるのに、
0:38:18	うん、うんだけでしょ。
0:38:28	アノこって、つまりは同じ地盤とみなせるところで、ワーク苦しいもし同じ地盤とみなさなければ分けるというところに、すべて立脚しているところですので、
0:38:40	近いとはいえ、16 と 14 のところでの地盤が違う。なので見るべきデータも分かれるというふうなところの考えでやってますので今は、はい。
0:38:48	分けるのかなと。
0:38:50	ところも整理しております。
0:38:53	制定の話は、金峰に断層があるときに、清野同じような検討しなくて良いのかねっていうことではなくて、
0:39:02	ツツミサノ。
0:39:05	わけないの考え方には、戸部木曾分けるとしてですね、ノジリ 16 に対応する地盤モデル、R24 だけ。
0:39:16	ごく近傍に 1 入って、
0:39:19	(20)にありますけど、

0:39:24	いわばニワないけど、ババ分データがやられているはずなので、その分のデータを加味して、G10の物性値って、
0:39:33	できると思うんですけども、少し、
0:39:41	原燃のオガセの距離の観点では、おっしゃる通りだと。
0:39:44	思います。今はあくまでもう、いわゆる、すいません。ピュアなババのところの地盤としてのデータで整理する、切り分けるのがよからうということでしたが、今おっしゃってる距離的なところでは本当に十分に近いところですのでちょっと再検討の余地があると。
0:39:59	ちょっと認識いたしました。ちょっと次回の時14のところのデータ等も込みで出しますけれどもその時にちょっともっかい、
0:40:06	どういう整理するかちょっと考えさせて、
0:40:23	サンポ。
0:40:26	細かいところ。
0:40:34	どうぞ。
0:40:38	規制庁のハセガワですけども、ちょっとね、戻ってもらって、
0:40:43	18ページ。
0:40:51	真ん中ぐらいに、
0:40:54	これはさあ地震観測記録に合わせた同定結果なわけですよ。
0:40:59	そうですねはい。なんだけれども、
0:41:02	地震観測記録と概ね同等またはを上回るから適切に同定されている。
0:41:08	上回ったら適切じゃなくなるんだよね。
0:41:12	だったら、上回るんだったらね、1日のやつだって上回ってたから、残せるみたいな、これ上回らない。
0:41:21	上回ることは、
0:41:24	理由じゃないんでしょじゃない。そうですね、おっしゃる通りです。よくよく説明しております。
0:41:29	他の行為の、はい。
0:41:31	だから、なんかねおかしいんだよ。はい。
0:41:34	保守的とかさ、何かね。うん。上回るとか、なんかそういうのって、どうでもいいんだよ。はい。はい。はい。
0:41:41	こういうところでも、
0:41:43	言葉とあれが合っていないんだよ、予定してたんですよ、何しに行ったの。
0:41:48	新宅。はい、どっちのアップ。
0:41:50	そうですね。はい。
0:41:53	こちら甲乙つけがたいわけでしょ。そうです。はい。
0:42:01	他のちゃ

0:42:03	木内さん。
0:42:22	うーん。
0:42:26	それがあるんで、もし外すんですよ。
0:42:32	文章の一番下に、
0:42:36	新しいです。
0:42:40	うん。そうですね。はい。信頼区間産業です。
0:42:49	No.15。
0:42:50	チョウシン。
0:42:53	あんまりできない。
0:42:56	データブックの中で示されている。
0:43:02	はい。日本原燃のオガセです。これについてはすいません事実関係だけ言いましたどこで合ってるかだけを言いました。ただ、この傾きがもうあまりちょっと信頼性がなさそうだぞという話があるので、これも全部が
0:43:17	何なんですかね、このデータを見たときにどの辺が合ってるかなというだけの観点で見ましたんで、先ほどのこの既往データの位置付けの話を踏まえますと、参考で見ているとはいえ、なんでしょうね、ここの作ってるときの、
0:43:29	線との比較というところではちょっとあまり比較としての意味がちょっとずれて、
0:43:34	ところもありましたので、ちょっと高校で登場させる意味があまりないと思っておりますのでその位置付けをちょっと見直して、はい。
0:43:41	見直すのでこちらもちょうと消させていただくことになる。
0:43:46	はい、野瀬ニシナ。
0:43:50	規制庁、野瀬がですね、その話に関連すると、さっき、
0:43:55	ここの部分っていうのは何か平均化するわけですよ。はい。
0:43:59	だから平均化するときに、
0:44:02	そのデータを使うのか使わない問題だよ。そうね。それをこの間言ったのが2ポツの信頼性の中でですね、何かね。
0:44:12	布石を打ってるわけだよ。
0:44:16	だからそうやってつなげていくっていうか、もともとそういうふうになってるんだけどさ。
0:44:23	人たちが気づいてないんだよな。
0:44:25	ということになるんじゃない。
0:44:28	そうですね。
0:44:33	つけ足しでしたら、比木
0:44:42	あ、
0:44:47	うん。

0:44:59	チャンスです。
0:45:01	グロス影響が小さいものについては、
0:45:07	まず影響も小さくない。
0:45:09	須藤さん。
0:45:16	検討します。
0:45:23	それについての説明、今回ない、まだ入ってない。
0:45:28	三野です。今ここに代入してないというのが事実関係でございます。
0:45:34	これも説明します。これも今回の会、2月の会議ですね。
0:45:42	これ、
0:45:43	何か入って、
0:45:44	考えて、
0:45:45	関係なのです。ここ明確化する必要があるというふう認識でございます。はい。
0:45:54	はい。規制庁亀井です。全般、
0:45:57	通して何かありますか。
0:46:02	はい、じゃあ、特になければ、
0:46:05	簡単に書いていただいて、あとスケジュールの話をしてしましようか。はい。
0:46:12	それでは振り返りでございます。
0:46:18	うん。
0:46:20	全体といたしますとまず冒頭にいただきましたのが、この34ページのところですね、この
0:46:30	データ共有する班というところですけどこれはBaby2番負荷構造として取り扱って、できれば資料の頭の方からこんな感じにしますっていうので、
0:46:40	はい。
0:46:42	そうですね、確かに。はい。
0:46:49	遅
0:46:50	コウ海田とQ&A。
0:46:54	江藤全体の
0:46:58	構成からですけども、前回会合の資料の2ポツのポツ6ポツ、この構成を生かしてですね今回そのリバイスアップといいますか、修正版と、
0:47:11	いったような形で、方向的するという構成に見直しというふうにご検討しております。それに伴いまして、セキコウ会等は1ポツの章の中にちょっと押し込めるような、
0:47:25	構成といたしたく存じます。
0:47:27	えーっとですね、Q&Aのところからでございますと、

0:47:35	9 ページ 10 ページ、11 ページのところですけども、こちらはすみませんちょっと三つ目のデータなんかは修正させていただくいたしまして一旦これは機械はここで置いて置かしていただくと。
0:47:51	いうところでございます、ここ手法するところでありましたけど、オオヒガシに位置付けて、
0:48:00	制度ヒガシだけじゃなくて要は参考データとして扱うんですよ。何のための参考なんですか。はい。はい。
0:48:08	ちょっと待ってください。そうですね。参考として扱うということではい。
0:48:12	先週ですか
0:48:15	その位置付けを踏まえて後ろの方で出す場合もちゃんと
0:48:20	はい。そうですね。はい。
0:48:28	それから 13 ページのところですけども、会社の重みという記載がありますけれどもここはどんなことかちょっとわかるようにということとそれから野津坂と説明、
0:48:41	あわせて図版も含め、言ってることがちょっとわかるように、記載を見直すことというのをいただいております。
0:48:49	という、
0:48:54	次の 16 ページは、これは底の 2 画っていう、うん。そうですね。はい。
0:49:04	うん。
0:49:10	はいはいはい。
0:49:12	18 ページでございますけど、
0:49:15	ここの概ね相当また上回るここは上回るという文章につきまして、こうしていきたいところアノオオキササキ精査をして参りたいというふうに思います。
0:49:27	で、21 ページの御説明ですけどもここのQ&A自体はこれは日比について、まとめるということで、等でちょっと他のグループの記載、
0:49:40	いいまして、これちょっとどういうふうな形で、塗布ニイツクノカナイにするのかちょっとそういうような構成は考えたいと思います。ここの記載にですね、
0:49:50	このえ一つとですね梅本指導等の委員のですね、こんな議論について、これちょっと適切に見直したいというふうに考えてございます。
0:50:02	で、
0:50:11	関先生が、
0:50:22	はい。
0:50:26	うん。
0:50:29	28 日。
0:50:31	これか。

0:50:36	28 ページですけれども、こちらの別の割り振りですね 2 番小園です。はい。
0:50:48	無線が悪く、これだけ。
0:50:52	あれ。
0:50:53	アベ。
0:50:58	こっちの話。
0:51:02	そう。カッチの話。
0:51:08	今回の話ですよね。46 のですね、ゴコウ呉の数十セキアノ案五級参考を使う使ってることにつきまして、
0:51:23	これ直近のですね、藤駅前、1 松原 2 コウを参照する必要はないのかというコメントをいただきましてここ、少し検討するということでお答えさせていただいたところでございます。
0:51:38	はい。
0:51:40	26 日。
0:51:42	はい。一番。
0:51:44	使わない。
0:51:47	ん。
0:51:48	結んでおりましたのが出てる。
0:51:54	三瀬。
0:51:55	吉川監察事件も含まれる。
0:52:02	今まではいい。はい。
0:52:04	というような、ちらっとさっきからですね、いや、P&バンドウいいなということ考えたときにイシタの影響が出ているとかそういったことも、あるんだ。
0:52:14	うん。そういったことも踏まえ、
0:52:16	そういったことも入って、
0:52:18	うん。
0:52:25	えっと、今までですね、ここは 4 章ですけど、院長って、前の 4 章ですけども、ご説明、ご説明していたのは次 16 のですねこれ直下を聞いたときに、方法 5 番が支配的なところにあることを踏まえて、
0:52:39	右腕で使えますとこういうような言い方をしていたわけなんですけれども、ただ上盤側アノを優先だと言いながらこれ、
0:52:47	駅前ブスパーにこうのデータを参照した時にじゃあどうなのかというところの考察までは、通していなかったところであるのでそれちょっと作業しながらどういうふうな解釈になるのかというのをおそらく付け加える必要があるんだろうなというふうに、
0:53:04	私は今認識しておりました。

0:53:09	すいません。はい。浅田。
0:53:19	であると 34 ページ、ここを、同じ坂野を比較をして取り扱うということで表現をちゃんと適正化したいというふうに思います。
0:53:29	ですね。
0:53:37	38 ページ以降ですけれども、38 ページではこれ全体の方針を書いている、その次にですね、さっきウエキ以降を記載する時にここでは全体的な方針に対する、ここの地盤に対する
0:53:53	結果を述べていくということでここAポツの管板部の物性値町やBぽつの岩盤部の剛性非線形性等につきましても、進ませずに、これ結果を入れるような形で説明を、
0:54:06	ちゃんと組むことということで、いただいております。それと同様にですね全体方針の話と、個別の説明の話はこれは分けて記載することと、
0:54:17	いうことで、いただいております、全体の 38 ページのですね 39 ページからは個別の形で、を記載する形になるというふうに認識しております。
0:54:28	それから、次に、41 ページですけれども、41 ページ、42 ページ 43 ページのこのですね、並び、40 ページまでかな。
0:54:40	ここまでの減衰のですね
0:54:45	ステップ 5 といいますか 4 ポツでの、
0:54:48	作り方についてこれちょっと考え方我々ですね、
0:54:52	機材の順序が違うということで、認識いたしまして、まずはそのOSは検層と、それから観測力に基づく同定結果連鎖検層の平均を取ったグラフとそれから数、
0:55:07	基づく、同定結果これをまず、それぞれですね、並べた形を見たときに、影響知見等を踏まえてこれを、
0:55:19	つなぐというのはどういう、どうやってこれ繋いだらいいのかというのは、これは既往知見をもとに、設定していく話であると。それを見ながらつなげて、それを基にして、伝達関数で、この妥当性を見ていくと。
0:55:34	こういう順序で組みかえるということで、理解いたしました。
0:55:38	で、
0:55:39	これ、
0:55:45	そういう意味でいくと、44 ページのですね、すいません。はい。市長。はい。41 ページは、結局どういう、
0:55:54	次。
0:55:55	あんまり、
0:55:57	41 ページでまず、記載すべきは、えさ検層の平均。

0:56:05	が、これであるという話とそれから観測記録の同定結果これだけそれぞれの信頼区間をもとにすればこうなるというそうですねはい。その二つが、
0:56:15	夏、
0:56:16	クラブ、
0:56:18	1枚する。
0:56:21	だから、どこをどこまで重ねたかですよ。ちょっと検討したいと思えますけれども、まずはそれがあって、
0:56:29	次にアノ期オオキ、この二つをオオキ清木ですけど、それ、今、うん。
0:56:38	帰って検討したってしょうがなくて。うん。今ここで話しちゃったほうがいいと思うんですけど。うん。
0:56:45	現年オガセです私のイメージを見ます。まずエザワ原則だけの個別のデータをどう扱うか。
0:56:53	っていう、
0:56:55	気がついていく。
0:56:58	そのあとで、
0:57:01	指差してあれですけど、ああいうどういうところ。
0:57:04	発注ないタナベと、そういう状況です。1枚目って感じじゃ一番やと。
0:57:12	はい。1枚目は、私はS波検層を、どう扱うかつまり平均化するんでしょうけれどもそういうのをどうかっていう線。
0:57:21	ターンが来ると思ってます図1。
0:57:24	支店長。
0:57:25	どう扱うっていうんですよ。プロフェッショナルっていうのは、S波検層のプロットはある。
0:57:32	ですけど、はい。はい。それ以外に何かそういう。
0:57:36	答えを言ってしまうと平均化した選択。
0:57:40	はい、規制庁、それを平均化した直線があり、それが、
0:57:46	周期で言うと0.1秒で終わってるような線が、まずないんでしょう。ですが、次は、
0:57:54	2枚目は何。
0:57:56	はい。2枚目については、その平均化したSR検層野瀬、あと、リニアの同定結果、バイリニアの同定結果っていうものが重なって、
0:58:07	その背景に、真木の知見、
0:58:09	の千賀草間。
0:58:11	タテなんで、核データを押しなべてこう進めてみると既往のセンターのところに結構いて、何となく成長マーケットなんていう右アノセットバイアス、はい。

0:58:24	あとは、あとは費用をつけ、
0:58:27	順番が違うかな。でもそこで投票ですよ。はい。43 ページの危険の、
0:58:35	出た、このカナダがそこに出て、
0:58:38	普通はですね、具体的にさ、今のスタッフなし。
0:58:43	さあ、
0:58:47	セントフィッティングさせたの。
0:58:51	リニアの線。うん。そうです。林ヤノ線と、S波検層の線を、
0:58:56	フィッティングさせてます。
0:59:00	後のデータは、それに参考みたいな話で、
0:59:04	くっついて、
0:59:07	梅林チェーン。
0:59:14	現在のオガセですけど、バイリニアで触れてくるのっていうのが、0.1 秒より短周期側のところ、
0:59:20	ここでは、いわゆるその 0.1 秒 1 秒の特徴をもっと表すものとしてリニアを選んだっていう数字ではありますが、今日の踏まえると、
0:59:28	あまりそこっていうのは差別化すべきじゃなくて、バイリニアちゃんと横並びで一緒に入れるべきだなと。はい。
0:59:33	次、引き直す。
0:59:41	今あるか。
0:59:43	いや、だからさ、
0:59:47	今の話で引き直す。
0:59:50	見直さないんでしょ。うん。
0:59:53	いや、もうどっち使ったイシカワないんですね、引きなおさない。
0:59:58	これ今のところちゃんと詰めていかないと。
1:00:01	使うデータっていうのは二つ。
1:00:06	多分、
1:00:07	まずさっき言った平均したSRの平均がありますよね。
1:00:11	リニアって梅林がありますよね。だから、結局ね、三つがまた綺麗にあるだけでね。
1:00:19	でしょ。はい。リニアとバイリニアどっち使うんですか？ かつたら、よりフィッティングが高いリニア使いますみたいにしちゃうんだろうね。
1:00:31	残しといてもね。うん。うん。
1:00:36	ていうふうに、リニアのこの範囲を使いましたよね。それに今度自身は干渉コウっていうのがあって、この三つを使いますっていうのが、うん。まずいるんだろうね。
1:00:49	直線さん。
1:00:52	なのか、直線三分みたいな、これ日本でいいんだな。

1:00:56	ね。
1:00:57	自身は開発情報っていうのはデータとして使わないわけだから、
1:01:01	地震は干渉法のデータと、文献データっていうのは結局同じ扱いになるんだよね。
1:01:08	レベル感がね。はい。この二つを、だからそのね、
1:01:13	だけの線が出てくるわけ。
1:01:15	ですよ。
1:01:16	これを、
1:01:17	どういうふうに、
1:01:20	しましようかっていう問題が次にあるんでしょ。うん。そうやって区別するんじゃないの。うん。
1:01:27	ね。はい。で、次にこの四つの四つ、四つなり五つな文献が幾つあるかわかんないけど、
1:01:35	その2本のセット、
1:01:38	地震は干渉法と、
1:01:40	非常に設計課を並べて、
1:01:42	そういうのを見ると、ここを滑らかにつなぐっていうのが、
1:01:50	よろしかろうと仮定するわけだよね。
1:01:54	ということなんだよねこれ過程だよね。はい。
1:01:57	うん。
1:02:00	です。
1:02:01	で、仮定すると、フィッティングさせるとこんなイメージに最後になりますよね。
1:02:08	ていうのが1本だけ野瀬が、
1:02:11	一応それを伝達カセに当てはめて、そんなおかしくないことは確認しましたっていうのはそういうことなんじゃない。
1:02:21	ロジック的には、
1:02:26	規制庁感染。
1:02:28	だからそれ順番に言ったら、はい。はい。
1:02:32	神野も日数的にはどうなんだよ。
1:02:39	一つ一つ五十嵐まず参考の色を変えてですね。
1:02:43	ふうんや自動製品化するだけなんで、3-3-相神ですけど、
1:02:50	これ、
1:02:51	全部呉じゃなくてまたもう1回挟むと思うんですね、とりあえず大学でその時に、なるべくまとめるんじゃないで、まとめちゃったら発しにくいからバラバラで、ちょっと多くなってもつけてもらって、こういうところは重ね、

1:03:07	られるよねっていう話ができるようにちょっとバラバラ目を出してもらって、次。
1:03:13	この部分がね。
1:03:14	パーツで火曜日を持ってくんでしょ。はい。はい。
1:03:18	根井。
1:03:24	その下、紙ベースは1枚、S波検層のデータと平均が1万円でえさケース平均と、このリニアの同定結果を、
1:03:37	重ねられたものが、2枚目、その次には、はい。
1:03:41	そういうケースはケースリニア売りにあって、メディアとか、メディアとバイリニアだけでもそういうそれぐらいの刻み方で、
1:03:49	うんはい。
1:03:51	ミヤドウbarrier宗田ミヤマリニアだけで、もう1万年で次が、そこではですね、トリリニアを選びますと言ったら、Surfaceハットリアビル寺崎ってた。
1:04:04	聞いてた。いや、おっしゃってるところで出たつもりですか。使わないんでしょう。そうです。
1:04:11	なんかバイリニアもさっき言った。
1:04:14	使わないけどもサンゴカネダからさっき言った地震は干渉と文献と同じレベル感になってくるんでしょ、使うデータと参照してどんな形になりそうか、データベースですね。そうですね。
1:04:29	それもだから、交渉の1個なんですよ。
1:04:32	それでもフィティングもできてるし、うん。干渉法は両方跨いだ直線ぐらいなんですし、フラットになってるし、文献的にもそんな形になってるから、この辺を、
1:04:43	滑らかにつないってというのが、うん。最善じゃないかっていう。だからそこが重要なんだよね。うん。
1:04:52	つなぐ。
1:04:53	つなぐ根拠だよね。
1:04:56	これが、このすところでもっと重要なものだからね。
1:05:05	はい。続きます。さあ、をプロットしてさりげ傾斜付けが聞かれていますね。次は平均した線と、
1:05:15	2アベとかあって、そお互いそこ周期でくられちゃうからなかなか下がりますね。
1:05:22	ねえ。はい。それを見た瞬間に、じゃあ次にかてもねっていて、気をつけるだったり、場合によって、
1:05:30	方、

1:05:32	にあり、だったら何かつなげられそうだねって言ってつないだ線がもう1工夫する。
1:05:39	はい。
1:05:44	それでまた話が、
1:05:52	コウノですね、計算するとき、そんでタケナカ区間の協議というのはこれは抜かさないということで、技術整理していくということかというふうには思っており、
1:06:04	で、トヨタになって、
1:06:07	の、
1:06:09	はい。
1:06:10	不要なところは削除ということで、それと、ここの規格のあれですね、ズームは適正化したいというふうに考えてございます。
1:06:23	で、頑張り設計でございますけれども、こちらは5ポツのところ、このですね、今のありようというのを書き込むということで、
1:06:36	地下構造としてひずみ依存性はあると、いうことを言いつつ、非線形が本来なんだけれども直アノをこのひずみ境界泉の
1:06:46	レベル感では影響ないとちょっとそこまで書き込むような形で、ただしここでは決定づけないというのがここの記載ということで、表現を改めたいというふうがいいと思っております。
1:06:57	で、50ページの方針の
1:07:01	記載ですけれどもちょっと全体に
1:07:05	ちょっと記載がですね、きちんと考えられてないというお話はありまして、ちゃんと考えたいとは思っております、えーとですね、ところで書いてある解析プログラムです。
1:07:18	解析プログラム2における制限等って言うてることの何を言いたいのかといったようなことですか保守性を踏まえた設定といったような記載があるところの、
1:07:30	これですね、適正化というのでいただいているというところでございますんでちょっと違う
1:07:40	言葉をそのままやっちゃうと、非常に結局、今日、ある時議論した意味がないんだよね。
1:07:48	詰めてください。適正化じゃないんだよね。そうですね。はい。はい。
1:07:54	で、鳥羽CTO、方針をね、中で議論してもらってしっかり整理、詰めた整理。
1:08:03	初めて検討して整理してくださいねっていう。
1:08:08	茎直しなわけですよ。はい。そうですね。はい。
1:08:11	なんかもう、全然何かまとめた。

1:08:14	この方針になってない。うん。
1:08:17	適正化が減ってくる前発だよ。
1:08:22	失礼。
1:08:23	ここ確かに書き直しということで建屋の入力考えて、工学的基盤をモデルを設定するというのも踏まえて今後ですね、全部を考えて設定するんだという考え方に基づいて、
1:08:37	きちんとした方針に書き直すべきということでいただいているんだというふうに認識するように、例えばただけだから、自分たちで考えて、何でも言ってるんじゃない。
1:08:53	おっしゃる通り、はい。
1:08:59	プラム会議もするんでしょう。この辺のさっきの方針とか、共通の、
1:09:05	うん。
1:09:06	になっている方針ね、方針、2ヶ所ぐらいあったけどね。
1:09:10	そうですね。as-isのところは、
1:09:15	そういうこと。それに、
1:09:17	会議に持ってくるんですか。
1:09:19	はい。
1:09:28	はい。それから、
1:09:30	よろしいですか。はい。
1:09:33	すいません大戸ですね 50、
1:09:38	ページからですね、設計基盤モデルでの下水設定のところですけども、ですねここ全体のストーリーといたしまして、
1:09:48	このですね 6%の過程でこの範囲で設定する減衰であるというようなことも踏まえて、これはレベル感、この建設課のレベル感についても考慮する。それから、
1:10:05	そうですね。ここの減衰を設定するときに、設計として考慮すべきことをちょっと我々の中でも、よくすべてピックアップした上で、
1:10:15	考慮するほど列挙した上で、最後に、なお規約等も考慮に入れながらアノ%といったような、ちょっとここをきちんと書き下すべきということで、いただいているんだというふうに思っています。
1:10:31	で、
1:10:43	であと 52 ページですねこのところでは、伝達関数での比較がいるんじゃないかと、地震動が変わったときにどうなんだということに対しての答えを準備する必要があるよねと。
1:10:58	いうことでいただいていると思っています。
1:11:02	で、54 ページですけども接点を切るモデルとしての表現としての、当庫記載。

1:11:13	そして適正化すべきということで、これですね、セキモデルを記載して、それに対するホテルの設定といった
1:11:24	書き方にここは変えたいというふうに思いますし表層地盤のところもですね、積雪式と、
1:11:31	要は回帰式ということで、ここは定義するというものはここで書くべきことだと思いますんでそういう形で記載したいというふうに考えてございます。
1:11:42	で、これすいませんちょっと戻りまして費用発生現場になって、
1:11:48	47 ページのところですね、5%の
1:11:56	あそこですね、5%の減衰といったようなことをやる時に、岩種によって5%がどのレベルかというのは、説明する必要があるということでコメントいただいていたところということであります。ちょっとバラバラしまして、
1:12:10	あとは、
1:12:25	すいません、後ですかね、50 ページのところ、東岸部分の先生ここ、まだ全部書ききれてないんだよねという個別最後希硝酸いただきましてイエスというふうにお答えしております。次に、
1:12:39	TOEFLでご回答するということになるというふうに思っております。
1:12:45	以上ではございますけれども、ちょっと本日のいただきました米等踏まえまして、
1:12:56	ですねちょっと追加で恐縮ですが、2月20日が最近にちょっと資料提出させていただいて、その日の午後ですねちょっと遅い時間になって恐縮ですがグローブボックスのヒアリングの後にですねこれちょっと、
1:13:09	ご確認いただく機会をいただけないかというふうに考えているところでございます。以上でございます。
1:13:17	7は何もないんですよ。
1:13:23	宗田。
1:13:26	57 ページですね。ここでご定義すべきアウトプットのイメージをきちんと記載するというのが端的に言うと、
1:13:38	いただきました話だというふうに思っております。以上です。規制庁ですけれども、すごい端的過ぎて、はい。
1:13:45	まずはどんだけ物量感があるのか。はい。野口さん。
1:13:50	はい。
1:13:51	理解をしてもらって、ナカノさんで、はい。
1:13:55	最終的にやんなきゃいけないとあと会合レベルだと木曾主査と同じぐらいついていう、的場カトウ向けが創通とかっていう、
1:14:05	いう話とかをちゃんと踏まえた上で、3月名倉イソベコウ

1:14:10	東っていう、
1:14:11	肯定感をちょっと注意してくださいました。
1:14:15	はい。
1:14:16	はい。
1:14:18	あとスケジュールの前に、振り返りの中身で規制庁がわからないんですけど、
1:14:25	はい、規制庁甲斐です。特になければ何か今回の資料のブラッシュアップ様。
1:14:32	全グループじゃないんだけど、とりあえず周辺の例として、こんな感じでありますっていう。
1:14:39	の物のブラッシュアップが火曜日。
1:14:42	火曜日の朝にお出しすると思います。
1:14:47	ちょっと言いたいことがないことちやいます。ちょっと待って。
1:14:52	はい。
1:14:55	はい。
1:14:56	ええ。
1:14:59	火曜日の朝出てきて、ヒアリングは、その日の午後の最後、
1:15:05	あ、そうですねはい、申し訳ありません。
1:15:08	はい、規制庁です。
1:15:10	それで、じゃあ、
1:15:13	はい。
1:15:15	これはもうないですよ。
1:15:20	いや、店長のヒアリング学校で終わりますんで。はい。はい。
1:15:25	秋月。
1:15:26	8 ページお願いします。